



令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会
胃がん部会

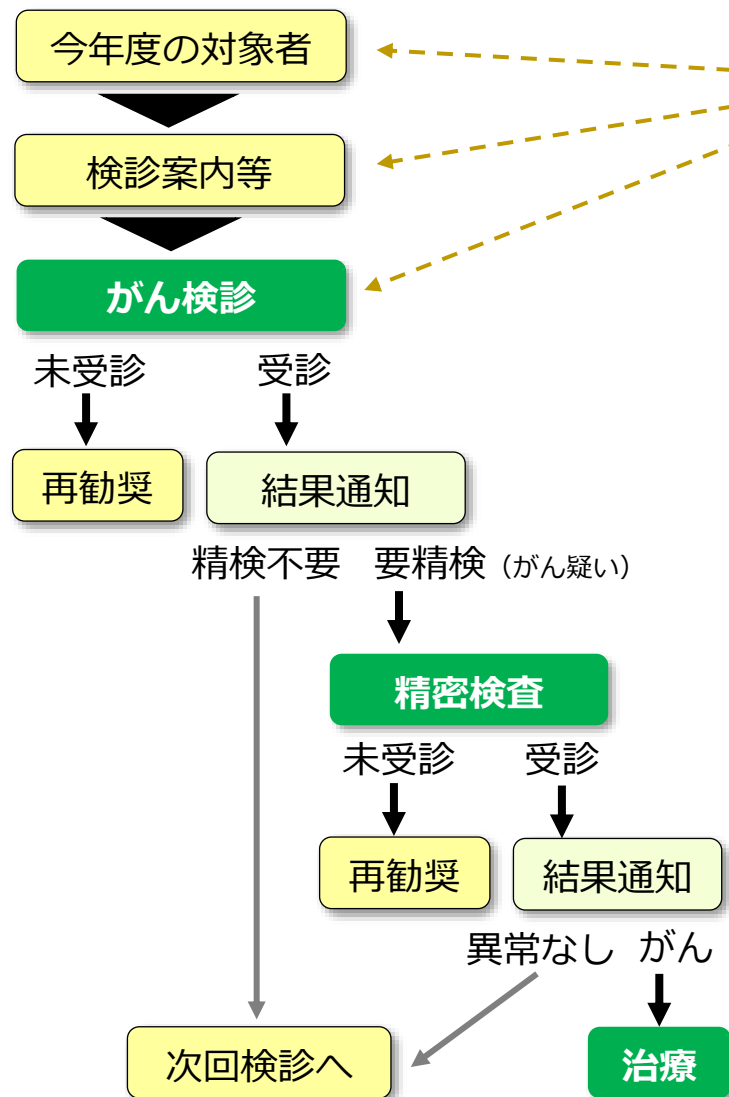
胃がん検診の精度管理結果について



- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

概要調査の内容

がん検診の流れ



①概要調査

国の指針で定める検診内容



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(厚生労働省)

- (1) 検診の対象年齢（下限）
- (2) 検診項目
- (3) 検診の委託を契約している
検診実施機関

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 概要調査については、本年度の県独自の調査結果から評価

(参考) 国の指針で定めるがん検診の内容

検診種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、 胃部エックス線検査 又は 胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法 ※ 実施体制が整った自治体で選択可能		5年に1回 ※ 罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※ 喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者(喫煙指数600以上の者)のみ	年1回
乳がん	質問(問診)及び 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※ 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

概要調査結果（2025（R7）年度 胃がん検診）

1 胃がん検診の対象年齢 50歳以上

指針に基づく対象年齢で検診を実施したか

	実施したと回答した市区町村割合
宮城県（2025（R7））	0 %
全 国（2024（R6））	7.3 %



平成28年2月の指針改定に伴い、胃がん検診では、それまで対象年齢が「40歳以上、上限制限なし」であったが、「50歳以上、上限制限なし（ただし、胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上の者としても差し支えない。）」に変更された。
よって、平成29年度調査以降は、胃がん検診の対象年齢は、「50歳以上、上限制限なし」と回答した場合のみに指針に基づくものとして集計している。

宮城県	下限年齢	市町村数	備考
	20歳以上	1	多賀城市
	30歳以上	7	R6から1減（亘理町）
	35歳以上	12	
	40歳以上	15	R6から1増（亘理町）
	50歳以上	0	国の指針どおり（50歳以上）

概要調査結果（2025（R7）年度 胃がん検診）

2 検診項目

宮城県	項 目	市町村数
	問診、胃部エックス線検査	35
	うち) 問診、胃部エックス線検査（禁忌事項該当者のみ胃内視鏡検査）	5
	うち) 問診、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査の選択	13

内視鏡検査：県内計 18 市町村で実施

3 検診の委託を契約している検診実施機関

（胃部エックス線検査のみ）

宮城県	項 目	市町村数	委託検診機関
	集団検診 (全市町村)	30	宮城県対がん協会
		5	宮城県塩釜医師会（→ 宮城県対がん協会へ再委託）
		(1)	網小医院（石巻市）
	個別検診 (2市のみ)	1	医療法人啓仁会石巻ロイヤル病院（石巻市）
		1	宮城県成人病予防協会（栗原市）：人間ドック

各市町村の実施状況①（2025（R7）年度 胃がん検診）

	指針よりも対象年齢を広げている場合の理由		内視鏡検査の選択	
	年齢区分		年齢区分	
仙台市	35歳	若い世代のがんの早期発見、早期治療のため	50歳以上	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
石巻市	30歳	平成17年4月1日市6町の合併に伴い、対象年齢の下限を構成市町の最年少に統一し、30歳以上とした。（合併前の下限設定については、経過不明）		
塩竈市	30歳	受診機会の拡充のため		
気仙沼市	40歳			
白石市	40歳		50～68歳 偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
名取市	40歳		60～68歳 偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
角田市	40歳		50～68歳 偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択（禁忌事項該当者のみ40歳以上でも胃内視鏡検査可）
多賀城市	20歳	受診機会の提供・がんの早期発見		
岩沼市	40歳		60歳代の 偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
登米市	35歳	若年世代のがんの早期発見のため		
栗原市	30歳	30代は市の独自業として実施		
東松島市	40歳			
大崎市	40歳			
富谷市	30歳	受診機会確保のため		（禁忌事項該当者のみ30歳以上でも胃内視鏡検査可）

各市町村の実施状況②（2025（R7）年度 胃がん検診）

	指針よりも対象年齢を広げている場合の理由		内視鏡検査の選択	
	年齢区分		年齢区分	
蔵王町	35歳	国保加入者は人間ドックを受ける機会がないため	60歳代の偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
七ヶ宿町	30歳	胃がんは40代から増加することから年齢を引き下げ実施	50歳以上の偶数年齢	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択（禁忌事項該当者のみ30歳以上でも胃内視鏡検査可）
大河原町	40歳			（禁忌事項該当者のみ40歳以上でも胃内視鏡検査可）
村田町	40歳		50～69歳	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
柴田町	40歳		40歳以上	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
川崎町	40歳		50歳以上	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
丸森町	40歳			（禁忌事項該当者のみ40歳以上でも胃内視鏡検査可）
亘理町	40歳		55・57・59・61・63・65歳	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
山元町	35歳	若年者の疾患の早期発見と予防の普及啓発	51-73歳の奇数、74歳	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択（禁忌事項該当者のみ35歳以上でも胃内視鏡検査可）
松島町	30歳	がんの早期発見・早期治療につなげるため。		
七ヶ浜町	35歳	当町の胃がん罹患率が高いため、早期発見を促すため		
利府町	35歳	町民から要望があったため		
大和町	35歳	胃がんの早期発見に繋げるため		

各市町村の実施状況③（2025（R7）年度 胃がん検診）

	指針よりも対象年齢を広げている場合の理由		内視鏡検査の選択	
	年齢区分		年齢区分	
大郷町	35歳	内視鏡検査については指針通り。X線検査は40歳以上とされているが、若年性胃がんは進行が速いことから、早期発見・早期治療のため35歳から実施している。		（禁忌事項該当者のみ35歳以上でも胃内視鏡検査可）
大衡村	35歳	胃部X線検査：若年者のがん検診啓発普及のため	50歳以上	問診、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査の選択
色麻町	35歳	がんの早期発見・早期治療につなげるため		
加美町	35歳	職場の検診機会の少ない世代に、早い時期から健康管理の意識づけの機会とする為		
涌谷町	40歳			
美里町	35歳	罹患率・死亡率が高いがんであることから、若年層への検診啓発のため		
女川町	40歳			（禁忌事項該当者のみ40歳以上でも胃内視鏡検査可）
南三陸町	30歳	検診受診啓発と早期発見のため		

（参考）令和7年度から新たに内視鏡検査実施の市町村数


内視鏡検査	市町村数	市町村名
令和7年度	12	白石市、角田市、岩沼市、柴田町、蔵王町、大河原町、丸森町、亘理町、山元町、大郷町、女川町、富谷市（禁忌事項該当者のみを行っている市町村含む）

県内計 18 市町村

指針に定められた対象年齢外（40歳未満）の住民に対して胃がん検診を行っている市町村がある。

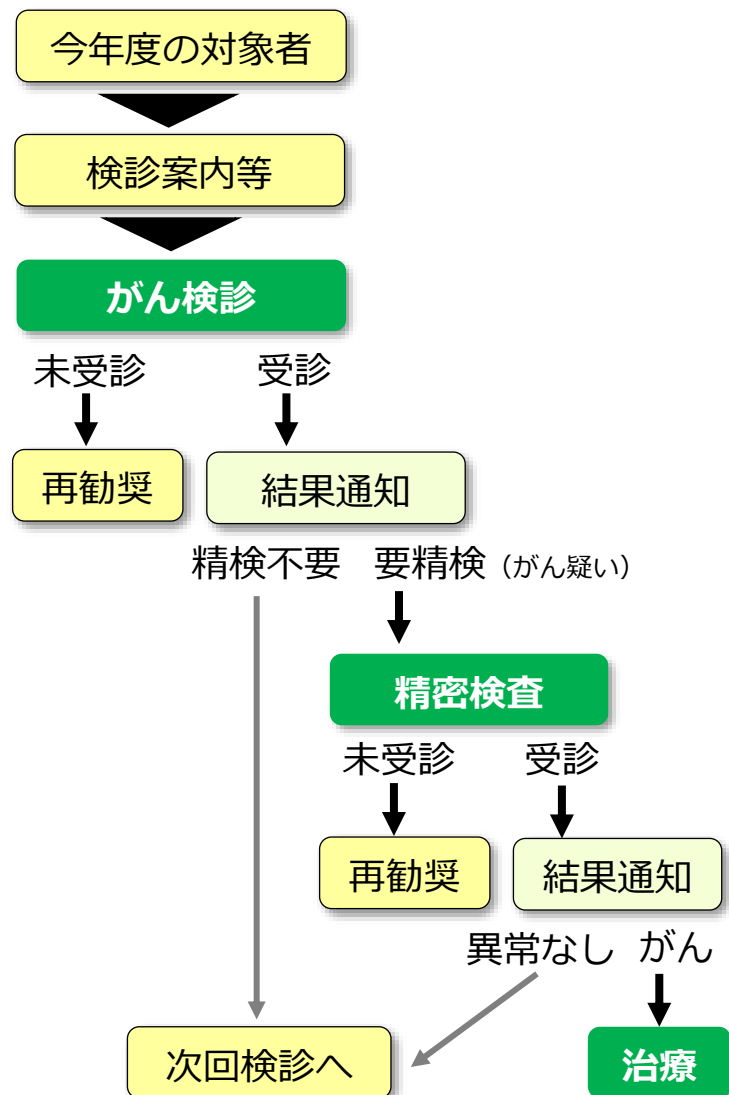
- 対象となる市町村への指導
（対象年齢の見直し、実施する場合には、利益・不利益の説明を行うこと）

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
-  2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

チェックリスト遵守状況調査

がん検診の流れ



一連の流れ

技術・体制指標

- ・国が作成（全国一律）
- ・推奨する最低限の検診体制を実施しているか

②チェックリスト遵守状況調査

市町村用

事業評価のためのチェックリスト

集団検診用

個別検診用

実施体制の評価

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

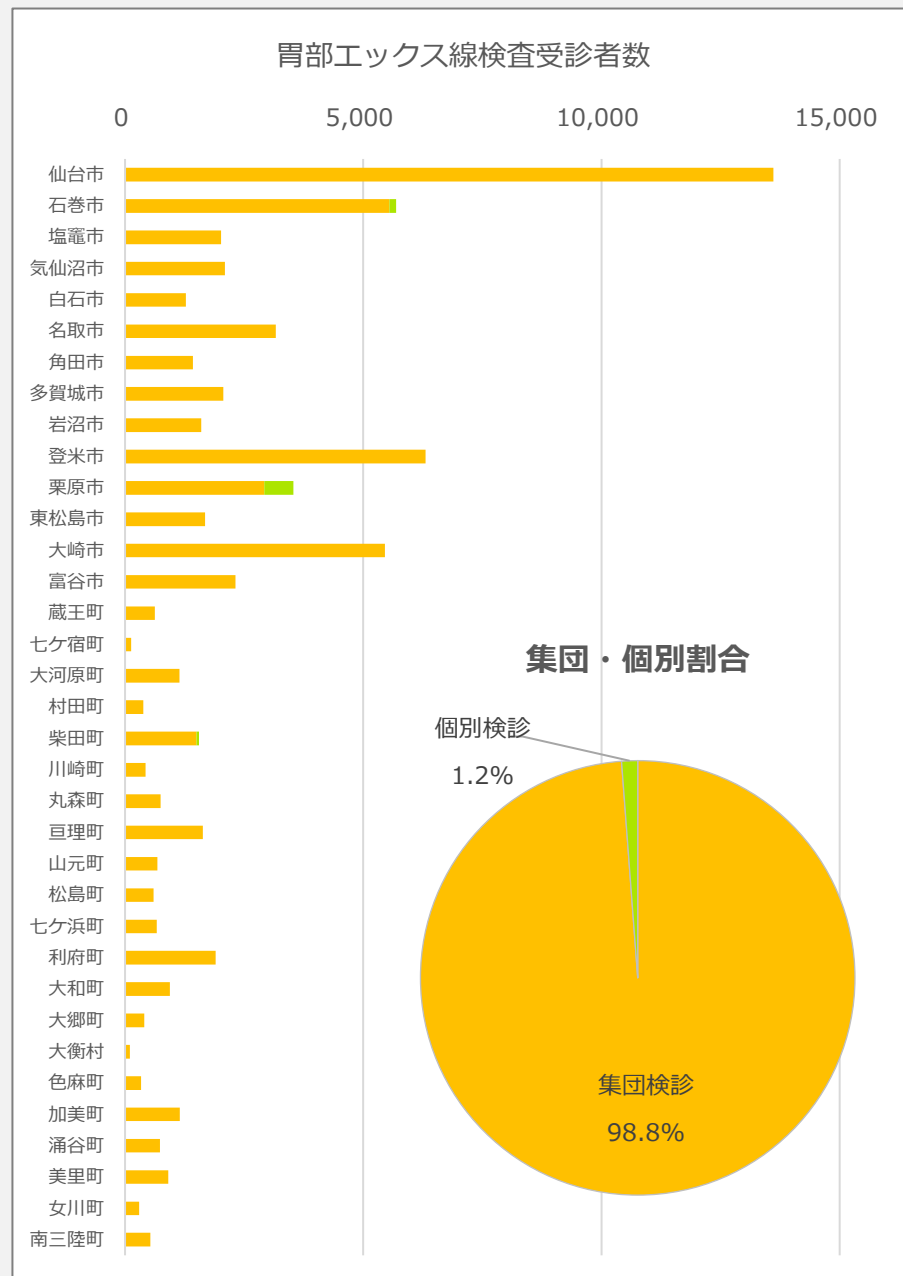
市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（2024（R6）年度）

△：本年度（2025（R7）年度）の状況は、現在、市町村で入力中

市町村の検診受診者 集団・個別割合 2024（R6）

胃 部 エ ク ス 線 検 査	2024（R6）年度 受診者数		
	40-74歳 総計	集団検診	個別検診
仙台市	13,612	13,612	0
石巻市	5,692	5,548	144
塩竈市	2,019	2,019	0
気仙沼市	2,098	2,098	0
白石市	1,279	1,279	0
名取市	3,167	3,167	0
角田市	1,423	1,423	0
多賀城市	2,065	2,065	0
岩沼市	1,596	1,596	0
登米市	6,309	6,309	0
栗原市	3,532	2,920	612
東松島市	1,679	1,679	0
大崎市	5,457	5,457	0
富谷市	2,317	2,317	0
蔵王町	626	626	0
七ヶ宿町	130	130	0
大河原町	1,144	1,144	0
村田町	385	385	0
柴田町	1,553	1,500	53
川崎町	429	429	0
丸森町	745	745	0
亘理町	1,634	1,634	0
山元町	681	681	0
松島町	596	596	0
七ヶ浜町	664	664	0
利府町	1,904	1,904	0
大和町	942	942	0
大郷町	407	407	0
大衡村	99	99	0
色麻町	339	339	0
加美町	1,146	1,146	0
涌谷町	733	733	0
美里町	907	907	0
女川町	296	296	0
南三陸町	534	534	0
県総計	68,139	67,330	809



チェックリストの項目

市区町村用

がん検診のためのチェックリスト 集団検診・個別検診 (全がん共通、一部異なる項目あり)

項目	項目数
1. 検診対象者の情報管理	4
2. 受診者の情報管理	2
3. 対象者への説明、及び要精検者への説明	3
4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	6
5. 地域保健・健康増進事業報告	5
6. 検診機関（医療機関）の質の担保	7
7. 受診率(受診者数)の集計	4
8. 【肺がん】肺がん検診受診者中の高危険群割合ほか（肺がんのみ）	(4)
9. 要精検率の集計	4
10. 精検受診率・精検未受診率の集計	5
11. がん発見率の集計	4
12. 陽性反応適中度の集計	4
13. 早期がん割合（肺がん：臨床病期 0～I 期の割合）の集計	4
14. 【胃がん、大腸がん、乳がん】 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	(1)
15. 【子宮頸がん】上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	(8)

(チェックリスト項目数 計52～65問)

(参考) チェックリスト内容

令和6年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

調査1	検診実施体制整備に関する調査(令和6年度実施体制)②
<p>【回答方法】</p> <p>■ 令和6年度の検診実施体制について、下記の基準にそってご回答ください。</p> <p>別ワークシート「調査1①」の質問1で「未実施」を選択した検診については回答入力は不要です。</p> <p>○:今年度は既に実施済みである</p> <p>×:今年度は実施しない</p> <p>△:今年度実施する予定だが、現時点(回答入力時)ではまだ実施していない</p> <p>実際に実施したものに○と回答してください。また、実施予定があってもまだ実施していないものについては実施後に回答してください。調査期間中にはまだ実施しない項目については「△(実施予定)」と回答してください。</p> <p>【回答前にお読みください】</p> <p>■ 貴自治体が単独で把握できない項目については、外部機関(委託先検診機関、医師会、都道府県、都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等)に確認して回答してください。</p> <p>■ 本調査での「検診機関」とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します(例○○クリニック、○○病院など)。</p> <p>・検診機関(医療機関)に関する質問では、すべての検診機関(医療機関)で実施できている場合に○と回答してください。</p> <p>・医師会等が地域の体制を完全に統一している場合は医師会等を「医療機関」とみなし、医師会等を確認して回答してください。</p> <p>ただし、医療機関によっては医師会の方針に準じていない場合も考えられますので、医師会への確認だけでなく、別途検診機関チェックリスト調査を行い、直接個々の医療機関の体制を把握することが重要です。</p>	

問1. 検診対象者の情報管理

- ・貴自治体以外が実施している場合は、その内容を確認して回答してください。
- ・検診を複数の施設に委託している場合は、すべての施設で行われている場合のみ○と回答してください。

【問1-1】 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
○	○										

下記①②③のいずれかに該当する場合のみ○です。

それ以外(例えば、貴自治体で設定する対象者のうち、前年度受診者や希望者のみを名簿化している場合など)はすべて×と回答してください。

- ① 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者名簿(電子ファイルや紙)を作成している
- ② 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者を保健(健康)管理システム等で管理している(抽出が可能である)
- ③ 国民健康保険加入者を全員名簿化している

【問1-2】 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
○	×										

貴自治体で設定する対象者全員に対し、個人毎に手紙・電話・訪問等で、検診の通知(希望調査も可)等の受診勧奨を行っている場合のみ○です。

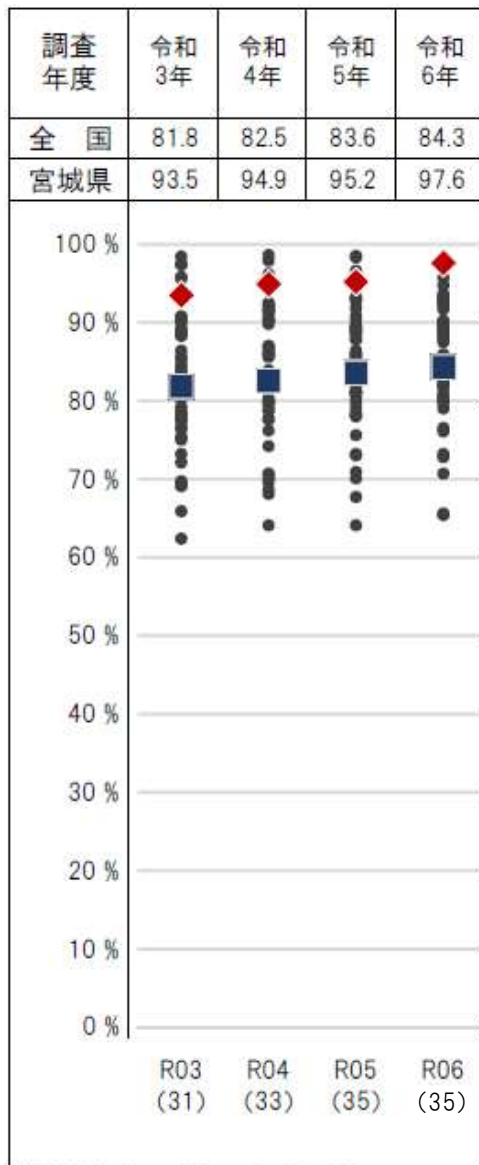
- ・世帯宛に検診の通知や希望調査等を送付している場合でも、世帯の中の対象者全員の名前が記載されていなければ×です。
- ・対象者のうち例えばクーポン事業対象者など、一部を限定して受診勧奨を行っている場合は×です。
(ただし、高齢者への検診の不利益を考慮し受診勧奨の年齢上限を設定している場合においては、厚労省の受診率算定年齢に基づき年齢上限を69歳とすれば○でかまいません。)
- ・広報、チラシ、ポスター、イベント等による周知は×です。

市町村が回答する
チェックリスト例

○・×で回答
(オンライン入力)

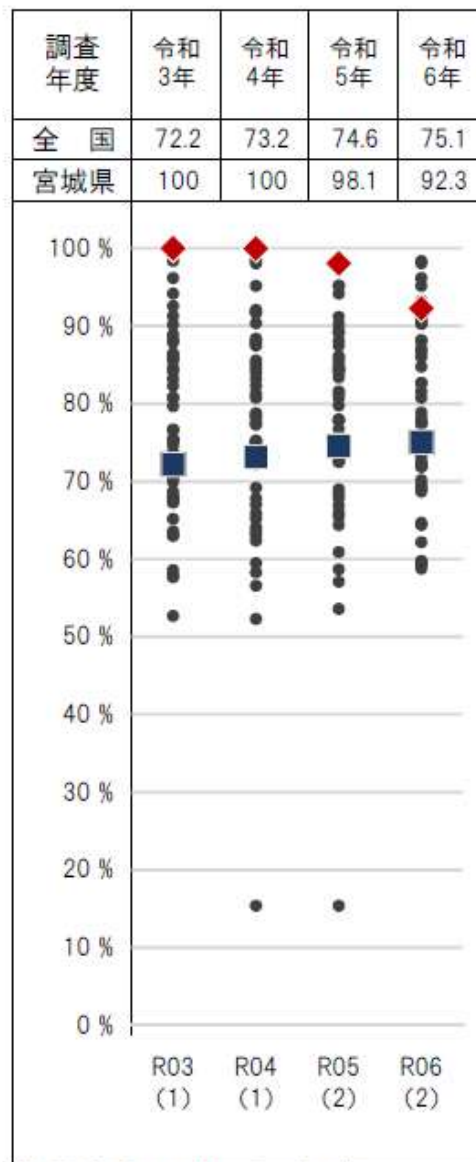
チェックリスト市町村遵守率の推移 年次推移

集団検診



集計対象市区町村：（）内記載

個別検診



集計対象市区町村：（）内記載

チェックリスト 遵守状況調査

胃がん（エックス線） 52項目 全項目実施率(%)推移

凡例：

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県

【チェックリスト実施率の算出方法】

「○」※の合計数／集計対象市区町村数×
質問項目数× 100（％）

※ 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」
「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。

当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。

【出典】

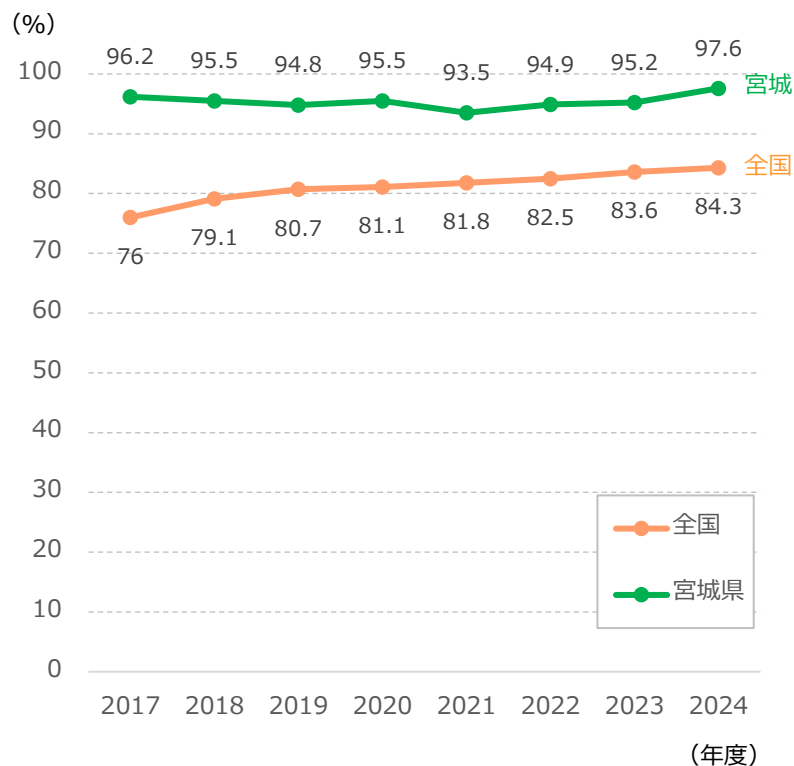
令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告
（国立がん研究センター がん対策研究所検診研究部 検診実施管理研究室）

チェックリスト遵守率の年次推移（全国・宮城県）

胃がん検診（エックス線）

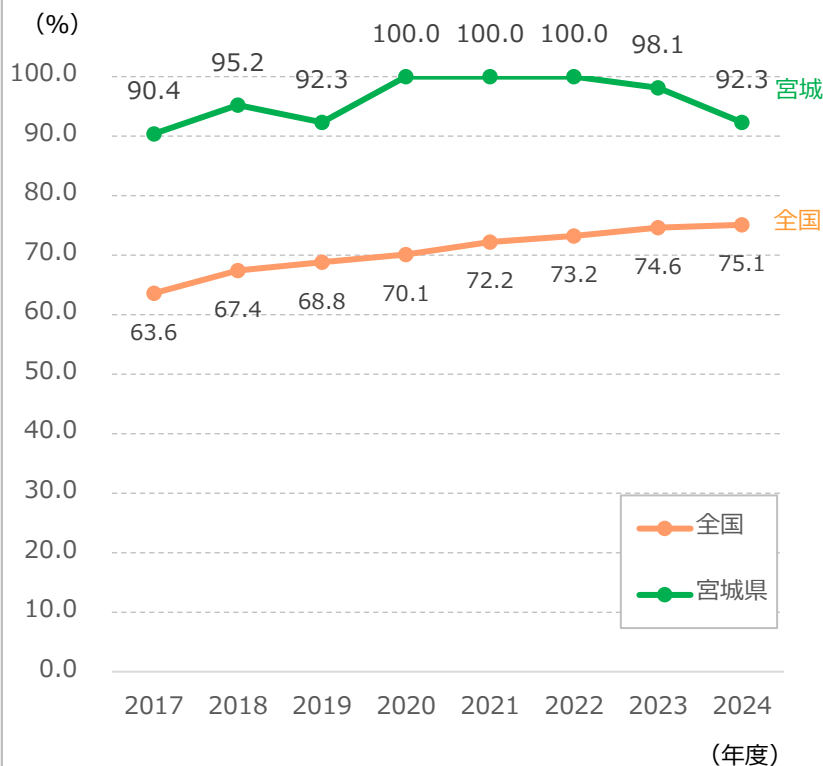
集団検診

チェックリスト遵守率の推移（集団）



個別検診

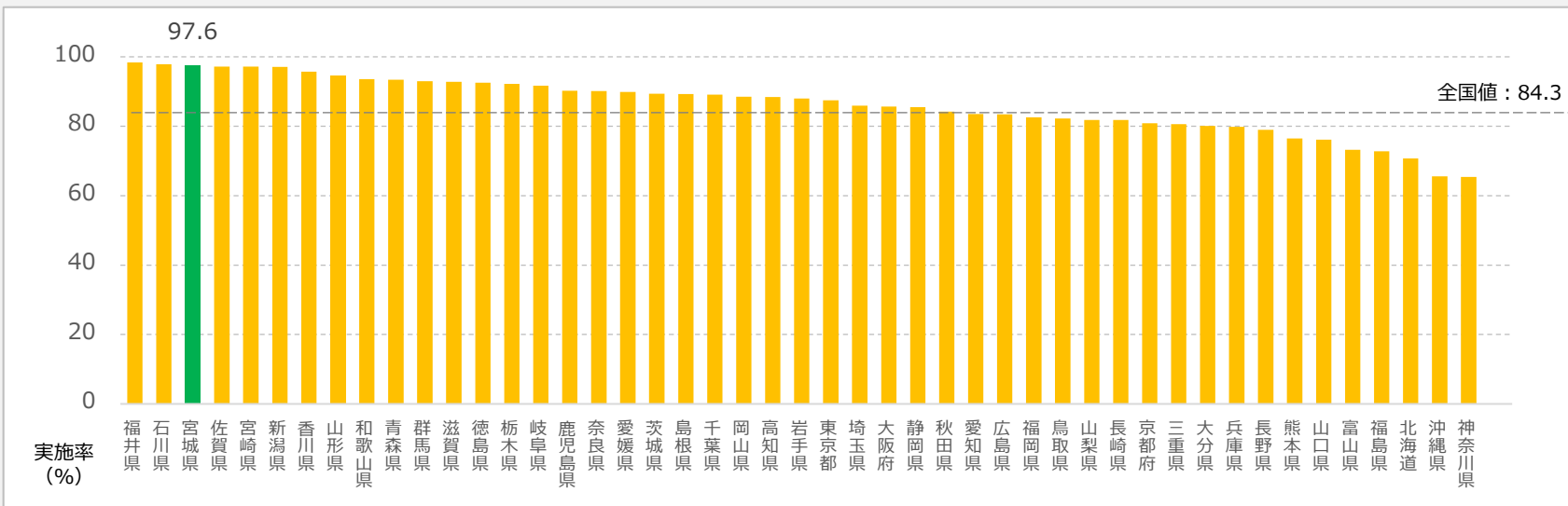
チェックリスト遵守率の推移（個別）



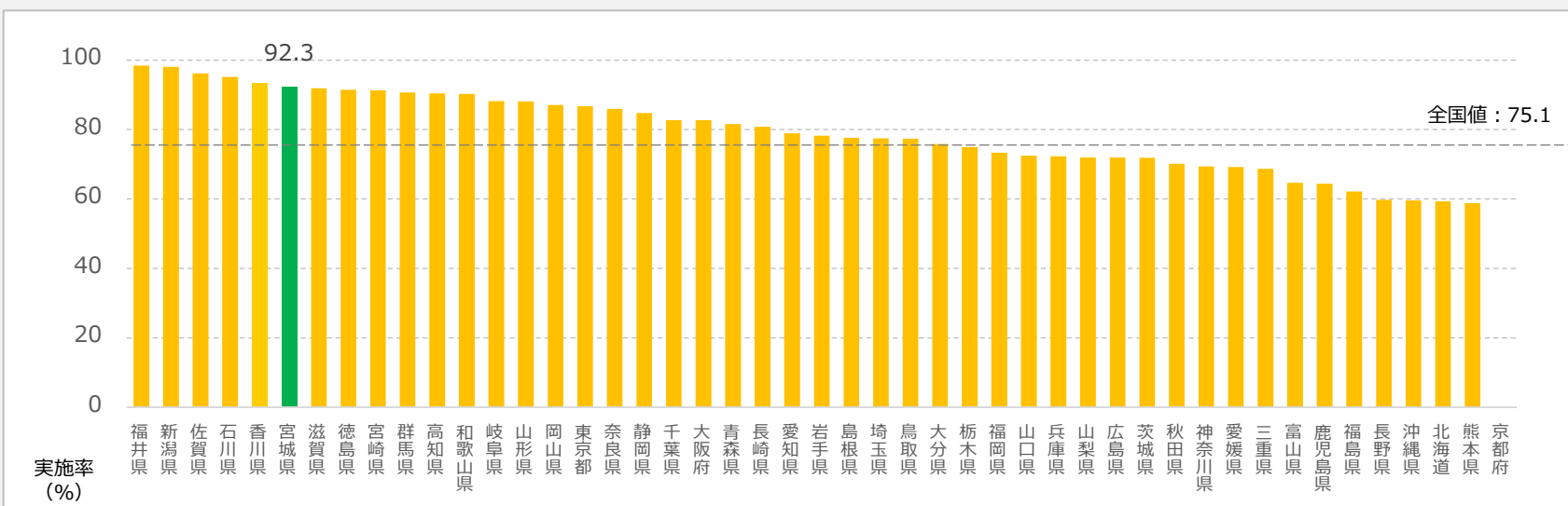
チェックリスト市町村遵守率（都道府県別）

胃がん検診（全国順位）2024（R6）年度 全項目

集団検診



個別検診



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」からグラフ化

(余 白)

チェックリスト集計結果（集団①）

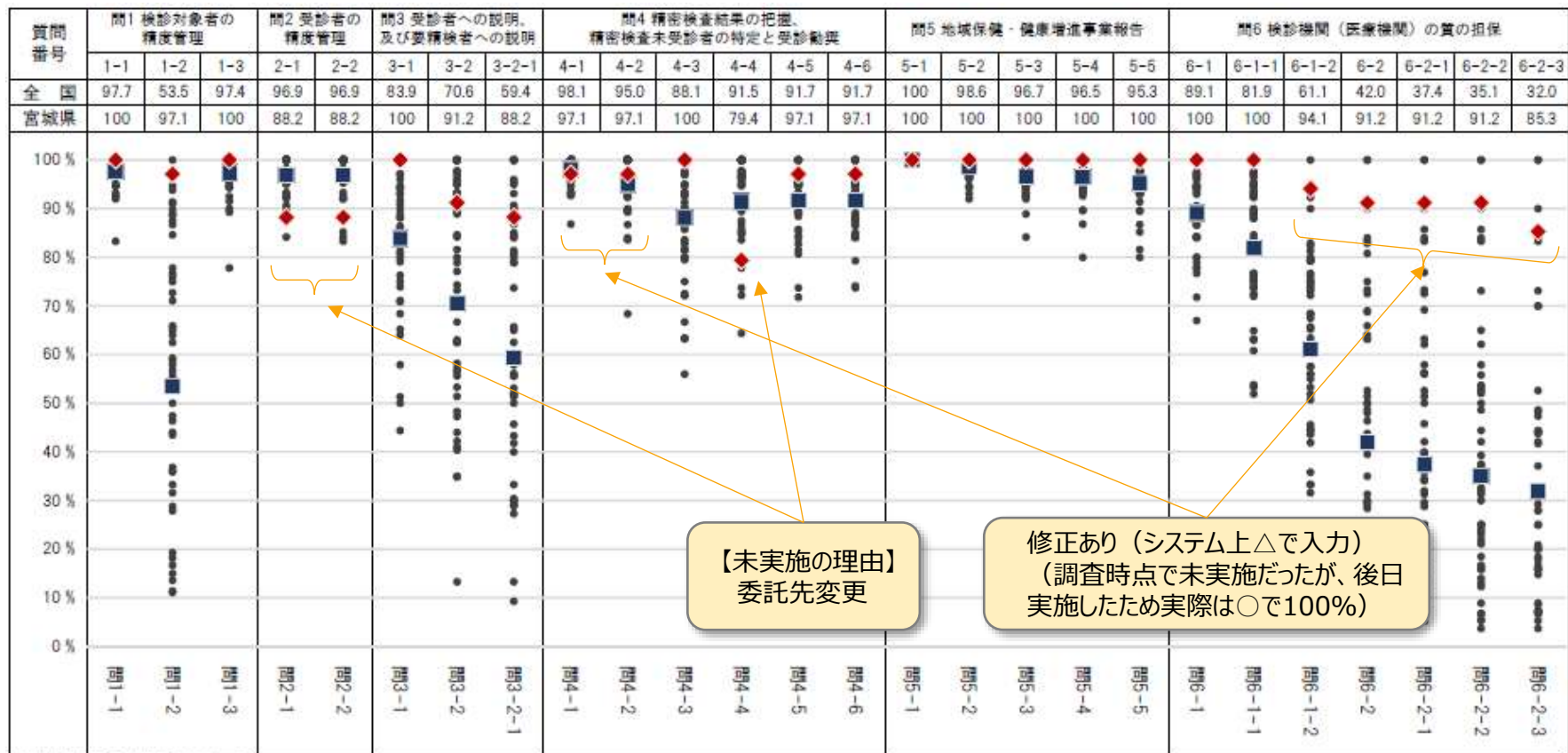
集団検診（2024（R6）年度）

胃がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

凡例：

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：34

問1-2-1は、事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）の項目ではなく、本調査で独自に追加した設問です。
また、全体的に実施率が低かったことなどもあり、「都道府県別がん検診事業評価結果」のグラフには掲載しておりません。

チェックリスト集計結果（個別①）

個別検診（2024（R6）年度）

胃がん（全国比較）

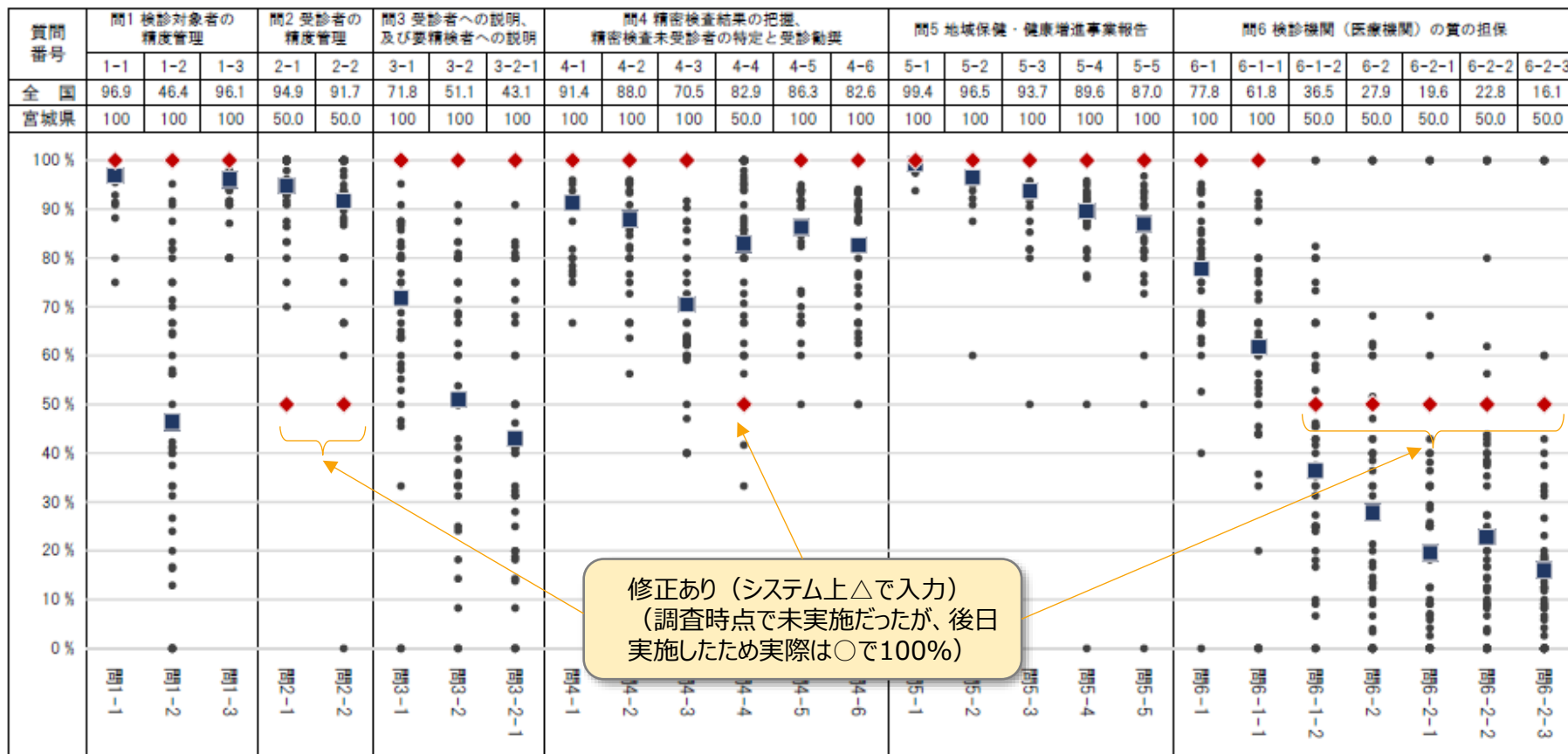
調査1 項目別遵守率(%)

凡例：

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：2

問1-2-1は、事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）の項目ではなく、本調査で独自に追加した設問です。
また、全体的に実施率が低かったことなどもあり、「都道府県別がん検診事業評価結果」のグラフには掲載しておりません。

チェックリストの内容（①ー1）

【1】 検診対象者	
問 1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか
問 1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか
問 1-3	対象者数（推計でも可）を把握したか
【2】 受診者の情報管理	
問 2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか
問 2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか
【3】 受診者への説明、及び要精検者への説明	
問 3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか
問 3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示したか
問 3-2-1	上記（3-2）の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか
【4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	
問 4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握したか
問 4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認したか
問 4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有したか
問 4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録しているか
問 4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか
問 4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行ったか

チェックリストの内容（①ー2）

【5】地域保健・健康増進事業報告	
問 5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和5年度地域保健・健康増進事業報告）を行ったか
問 5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めたか
問 5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
問 5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めたか
問 5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
【6】検診機関（医療機関）の質の担保	
問 6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定したか
問 6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか
問 6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認したか
問 6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしたか
問 6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか
問 6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか
問 6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしたか

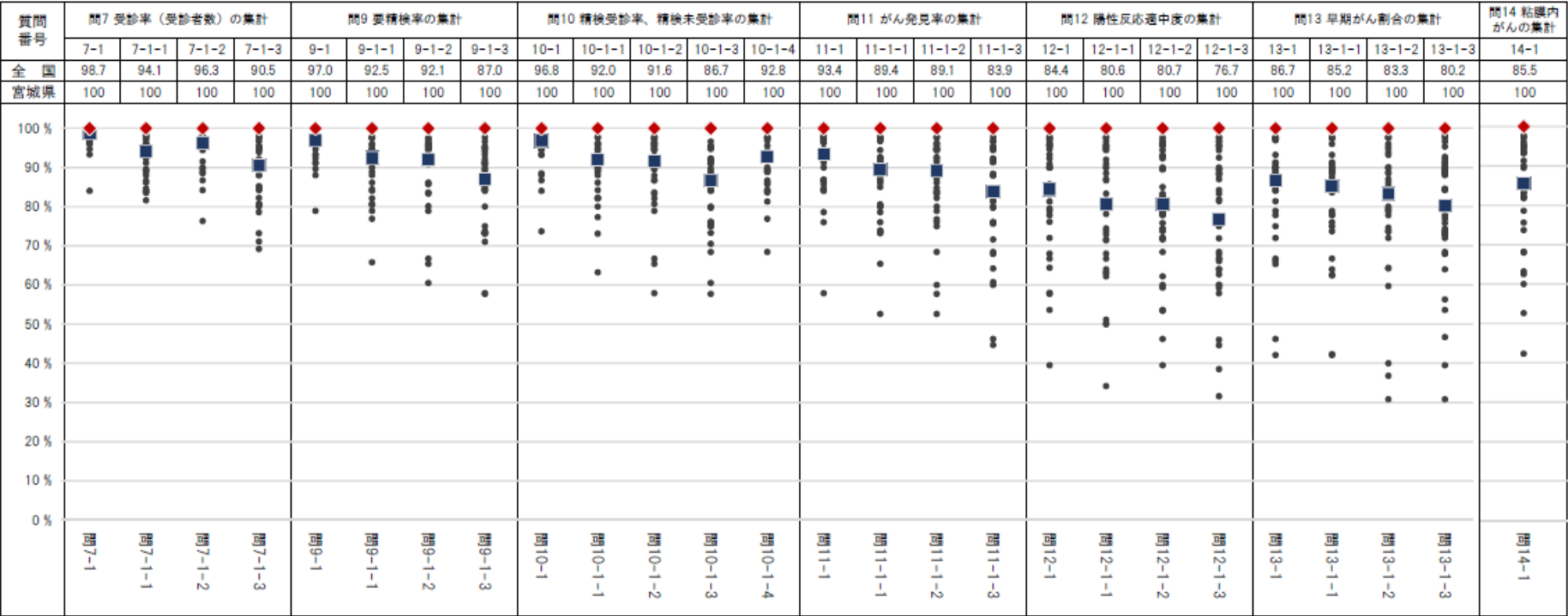
チェックリスト集計結果（集団②）

集団検診（2024（R6）年度）

胃がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



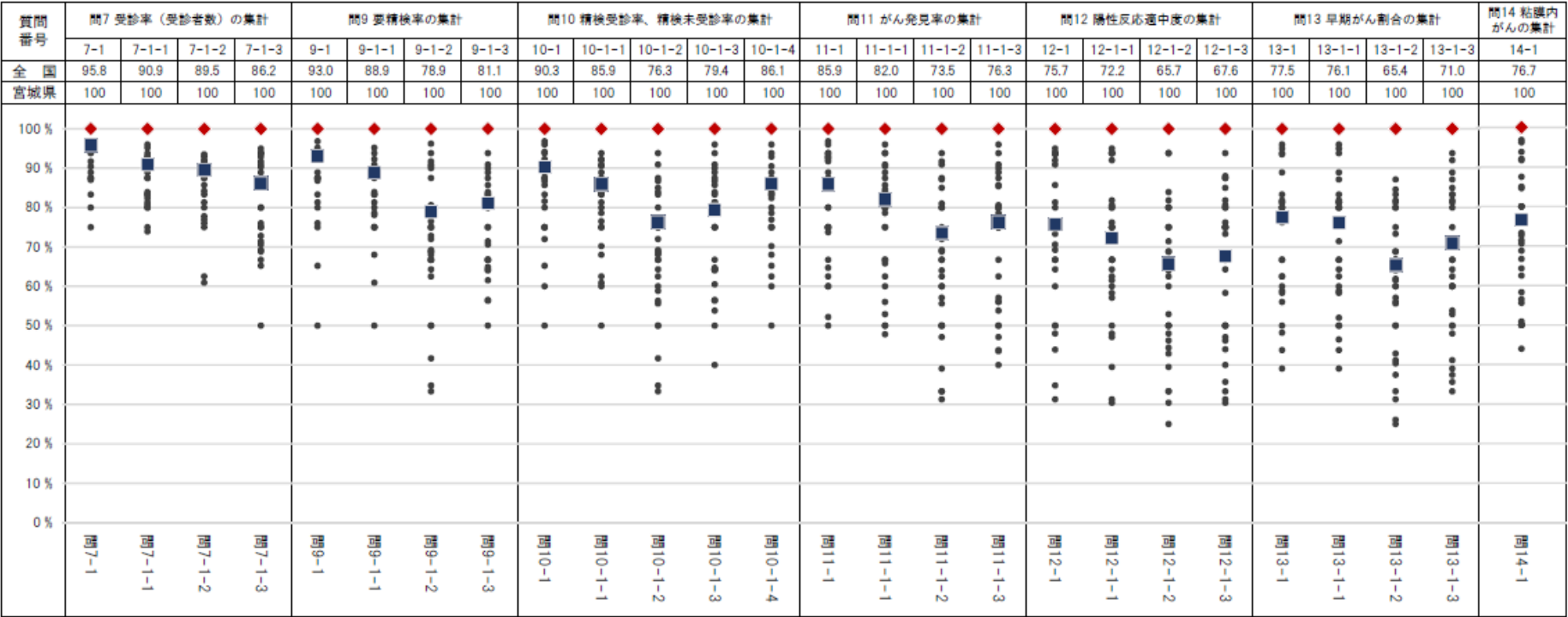
チェックリスト集計結果（個別②）

個別検診（2024（R6）年度）

胃がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



出典：令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告
（国立がん研究センター がん対策研究所検診実施管理研究室（令和7年4月作成）

チェックリストの内容（②ー1）

【7】 受診率（受診者数）の集計	
問 7-1	受診率を集計したか
問 7-1-1	受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 7-1-2	受診者数を検診機関別に集計したか
問 7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計したか
【9】 要精検率の集計	
問 9-1	要精検率を集計したか
問 9-1-1	要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか
問 9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計したか
【問10】 精検受診率・未受診率の集計	
問 10-1	精検受診率を集計したか
問 10-1-1	精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計したか
問 10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計したか
問 10-1-4	精検未受診率を集計したか

チェックリストの内容（②ー2）

【11】がん発見率の集計	
問 11-1	がん発見率を集計したか
問 11-1-1	がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計したか
問 11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計したか
【12】陽性反応適中度の集計	
問 12-1	陽性反応適中度を集計したか
問 12-1-1	陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 12-1-2	陽性反応適中度を検診機関別に集計したか
問 12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計したか
【13】早期がん割合の集計	
問 13-1	早期がん割合を集計したか
問 13-1-1	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 13-1-2	早期がん割合を検診機関別に集計したか
問 13-1-3	早期がん割合を検診受診歴別に集計したか
【14】粘膜内がん、非浸潤がんの集計	
問14-1	粘膜内がんを集計したか

市町村別 チェックリスト集計結果（集団検診①）【X線】

×（未実施）の市町村（問1～問3-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度も×でR6年度×であったもの

胃がん （集団検診） 【X線検査】		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙台市	石巻市	塩竈市	気仙沼市	白石市	名取市	角田市	多賀城市	岩沼市	富谷市	登米市	栗原市	東松島市	大崎市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	巨理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	女川町	南三陸町
問1. 検診対象者の 情報管理	問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
問2. 受診者の 情報管理	問2-1	個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	問2-2	過去5年間の受診歴を記録していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
問3. 受診者への説明、及び要精検者への説明	問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	問3-2-1	上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村別 チェックリスト集計結果（集団検診②）【X線】

× (未実施) の市町村 (問 4-4)

R5年度は×だったがR6年度○になったもの

☐ R5年度は○だったが
R6年度△ or ×になったもの

R5年度も×でR6年度×であったもの


胃がん （集団検診） 【X線検査】		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙台市	石巻市	塩竈市	気仙沼市	白石市	名取市	角田市	多賀城市	岩沼市	富谷市	登米市	栗原市	東松島市	大崎市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	女川町	南三陸町
問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

チェックリスト遵守状況調査結果のまとめ

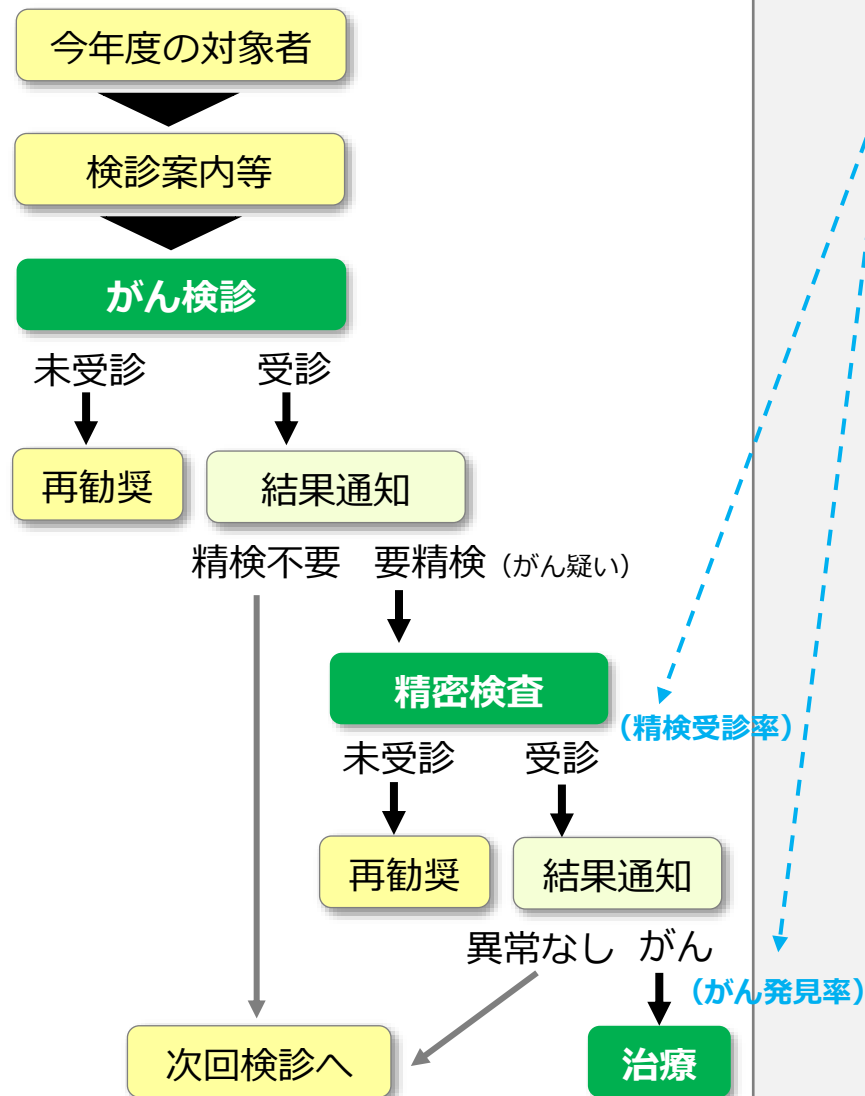
- ほぼすべての項目において、全国より遵守率が高いが、一部、全国より低い項目があるため、引き続き改善が必要。

→ **令和6年度から改善された市町村は多いが、改善されていない市町村については、項目ごとに、市町村個別に指導することを検討。**

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
-  3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

プロセス指標（精密検査等の結果）

がん検診の流れ



プロセス指標

がん検診精密検査

事業評価指標

精検受診率

精検未把握率

精検未受診率

要精検率

がん発見率

陽性反応適中度

都道府県ごとに評価

各プロセスが適切に行われているかを評価する指標

各がんの推奨年齢から**74歳まで**の結果
（職域検診や人間ドックなどは含まれない）

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
				精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○	○			

実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（2022（R4）年度）

△：2023（R5）年度の結果は、現在、市町村で入力中

プロセス指標（事業評価指標）の意味

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】	各指標値の評価
①精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{精検受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率を適切に評価できない)
②要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【 $\text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$ 】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
③精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{未受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
④精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか 【 $\text{未把握者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
⑤がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【 $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
⑥陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標） 【 $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：がん検診事業のあり方について（厚生労働省：がん検診のあり方に関する検討会（R6.7）の資料より抜粋）

※ 基準値は、がん種毎、年齢別にあり。

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上		90% 以上		
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度

注) 主な変更点

- ・ 許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・ 基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・ 胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

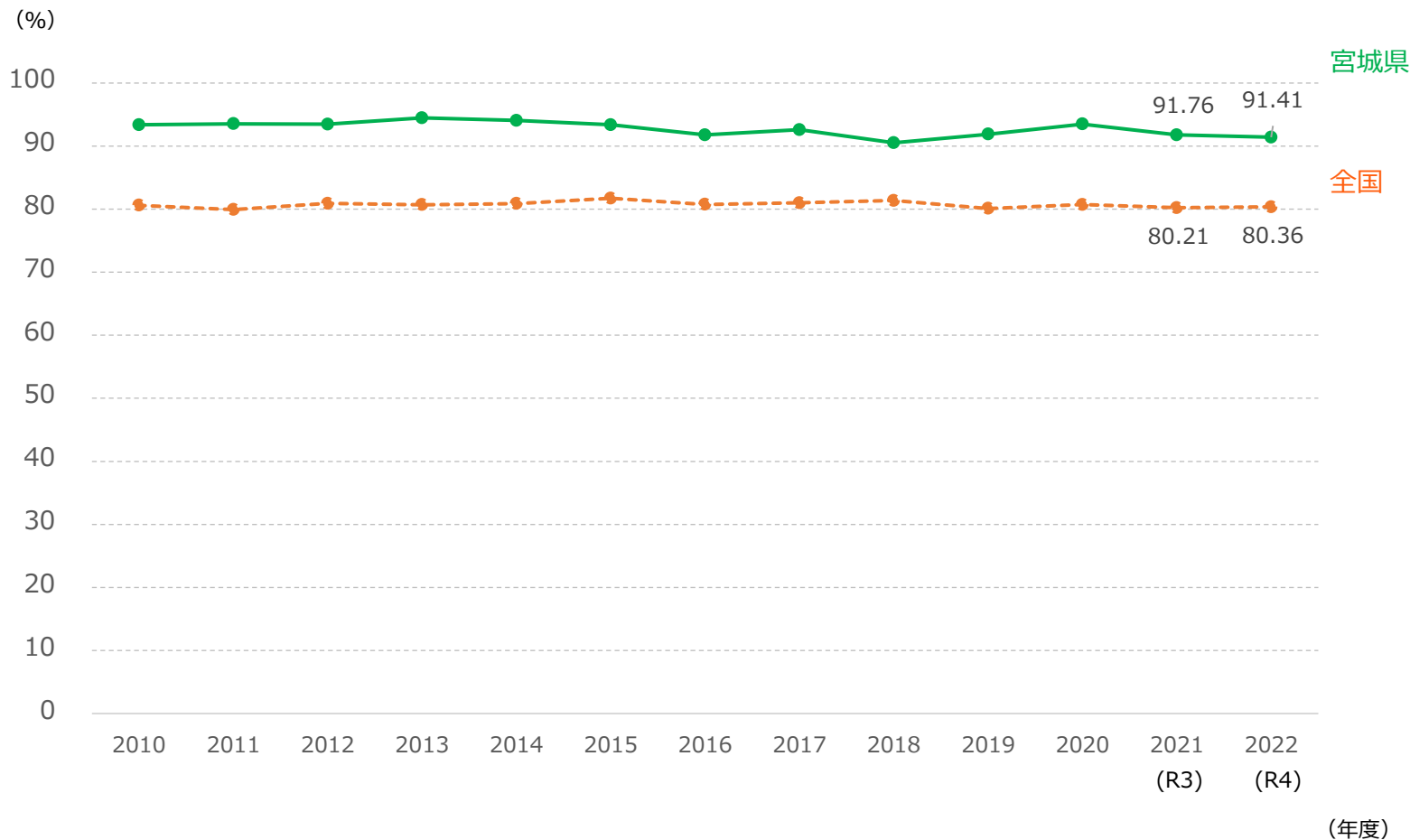
(余 白)

胃部X線検査 プロセス指標①（精検受診率） 年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【精検受診者数／要精検者数×100】

【注意】
市町村実施の
住民検診のみ

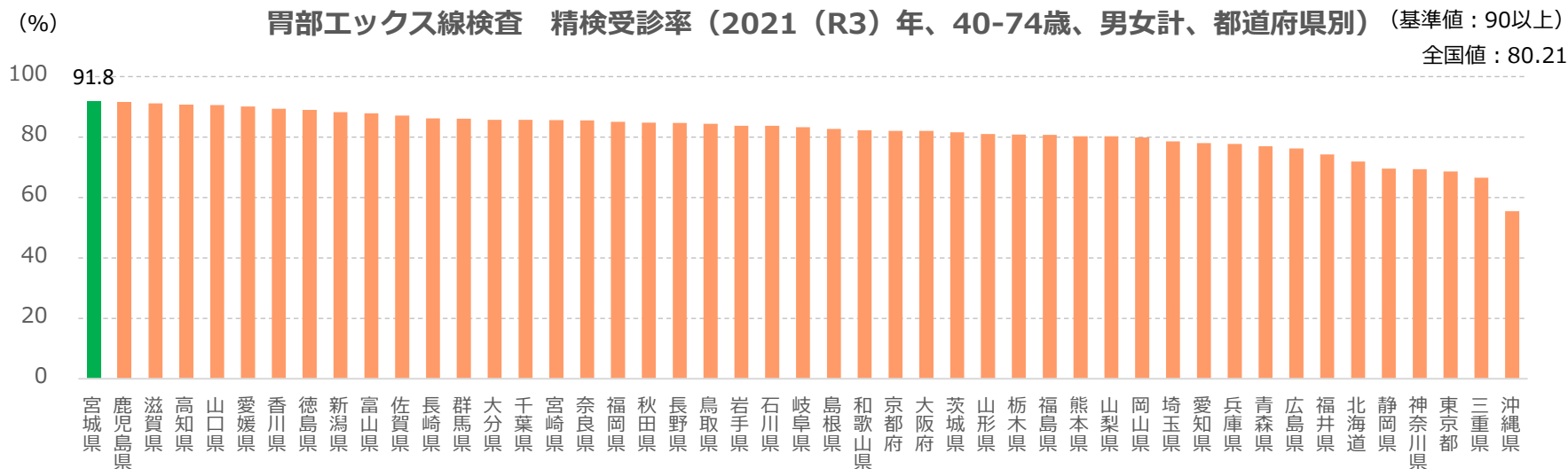
胃部エックス線検査 精検受診率（2010-2022、40-74歳、男女計、全国・宮城県）



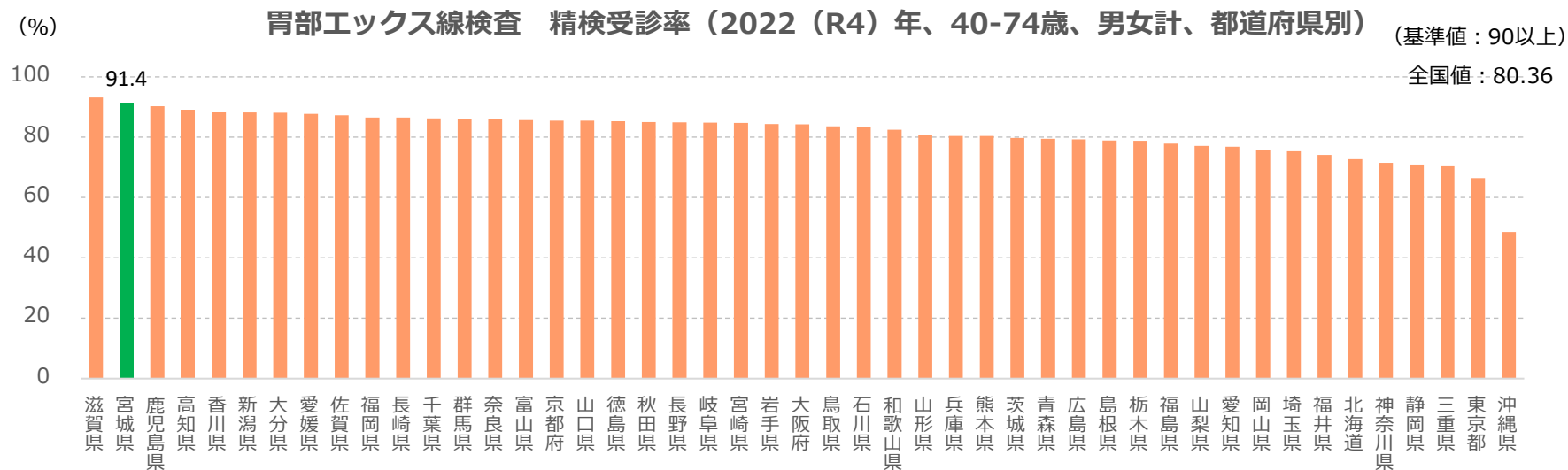
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）

胃部X線検査 プロセス指標①（精検受診率） 全国順位

2021
(R3)



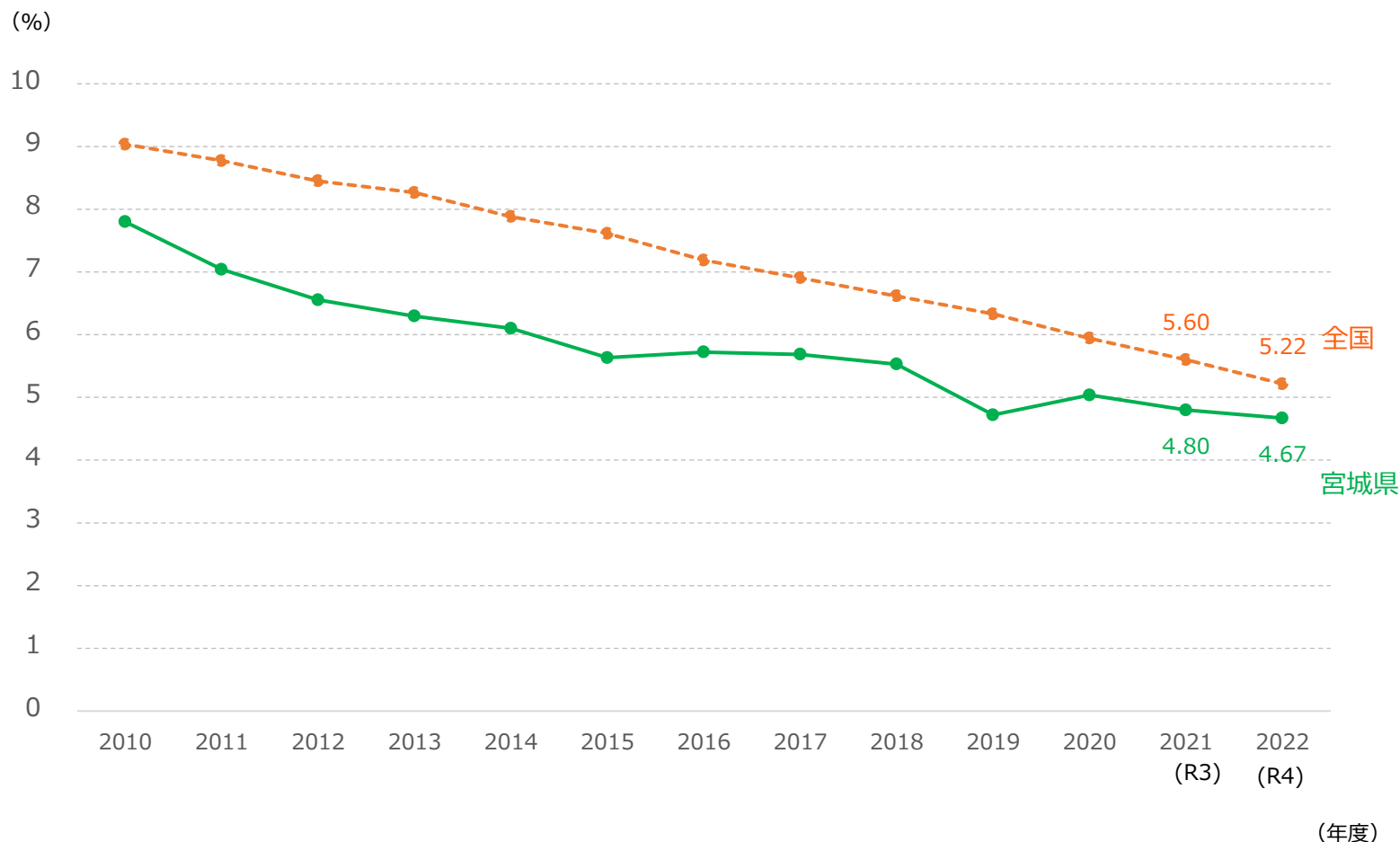
2022
(R4)



胃部X線検査 プロセス指標②（要精検率） 年次推移

検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか【要精検者数／受診者数×100】

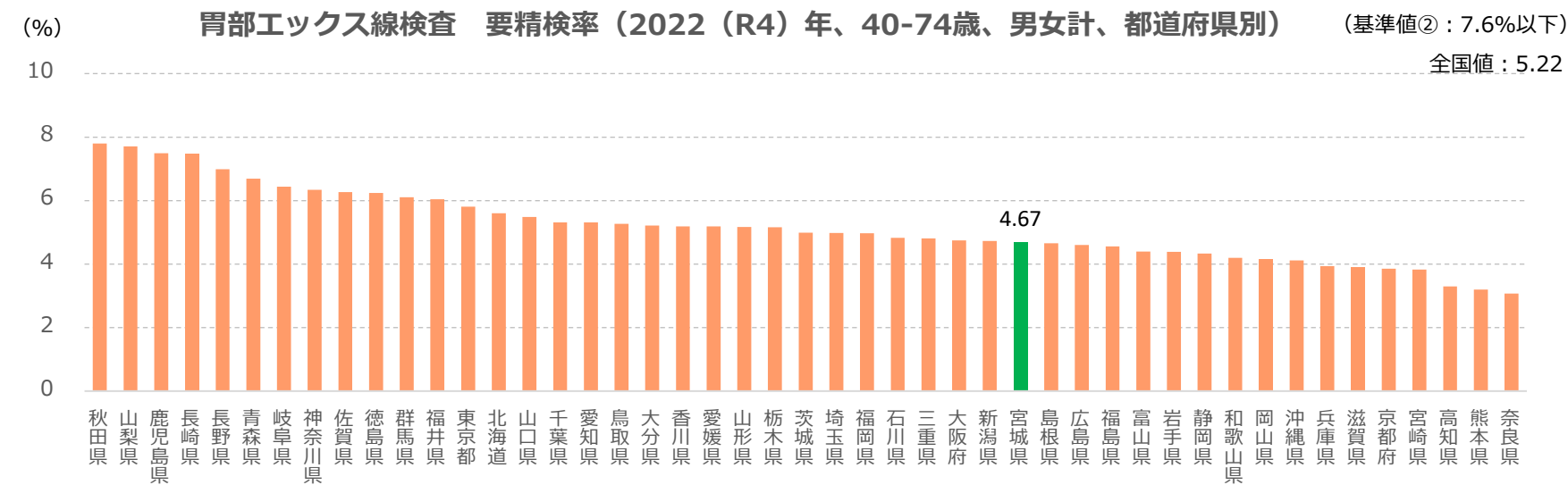
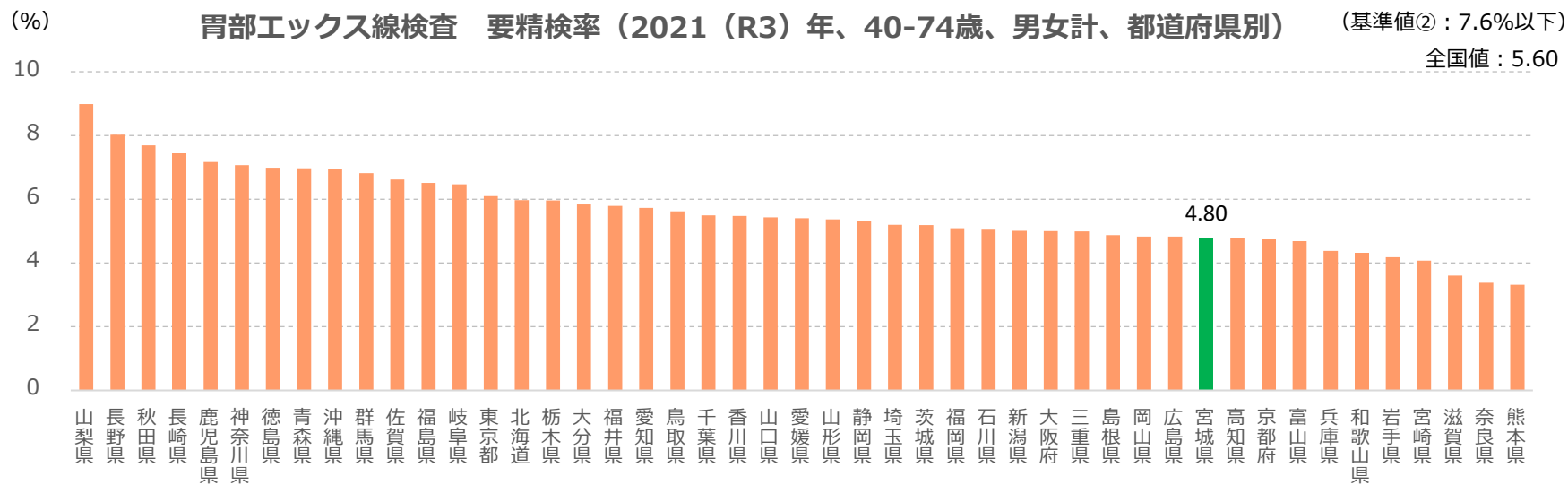
胃部エックス線検査 要精検率（2010-2022、40-74歳、男女計、全国・宮城県）



対象集団に応じて適切な範囲があり、
極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

胃部X線検査 プロセス指標②（要精検率）全国順位

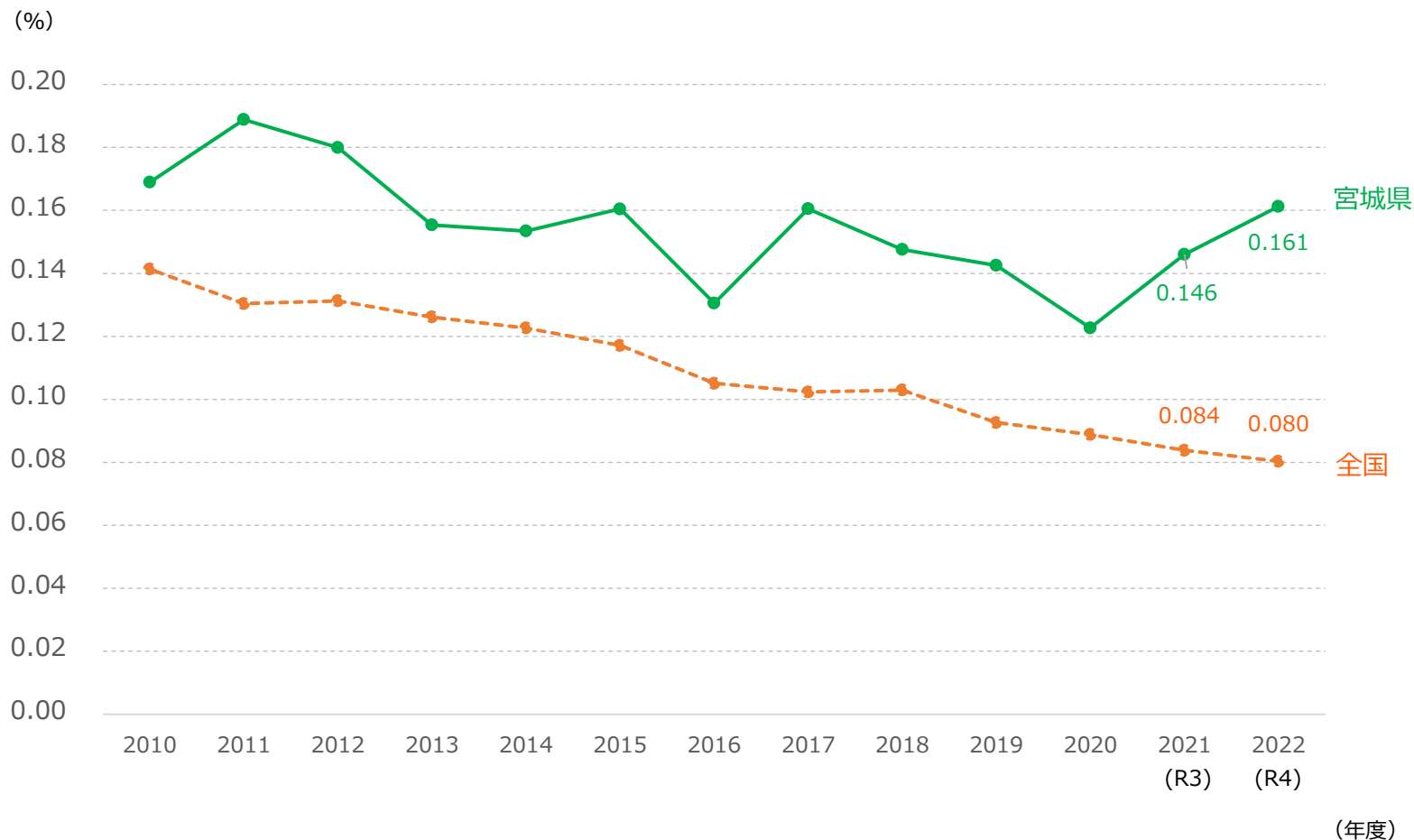


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

胃部X線検査 プロセス指標③（がん発見率） 年次推移

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか【がんであった者／受診者数×100】

胃部エックス線検査 がん発見率（2010-2022、40-74歳、男女計、全国・宮城県）

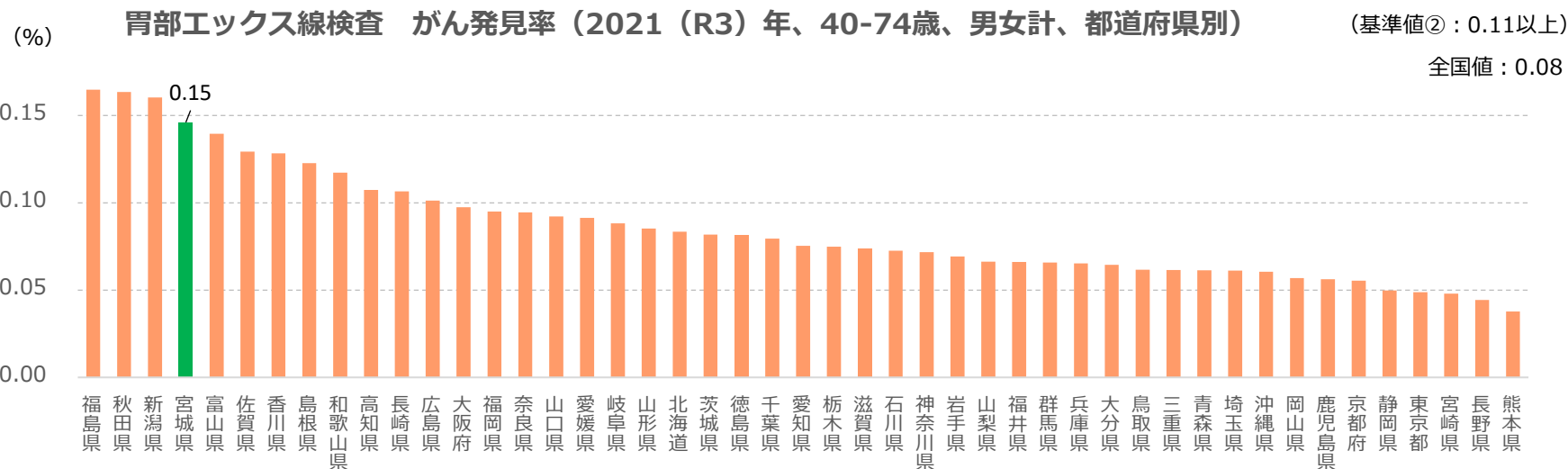


基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

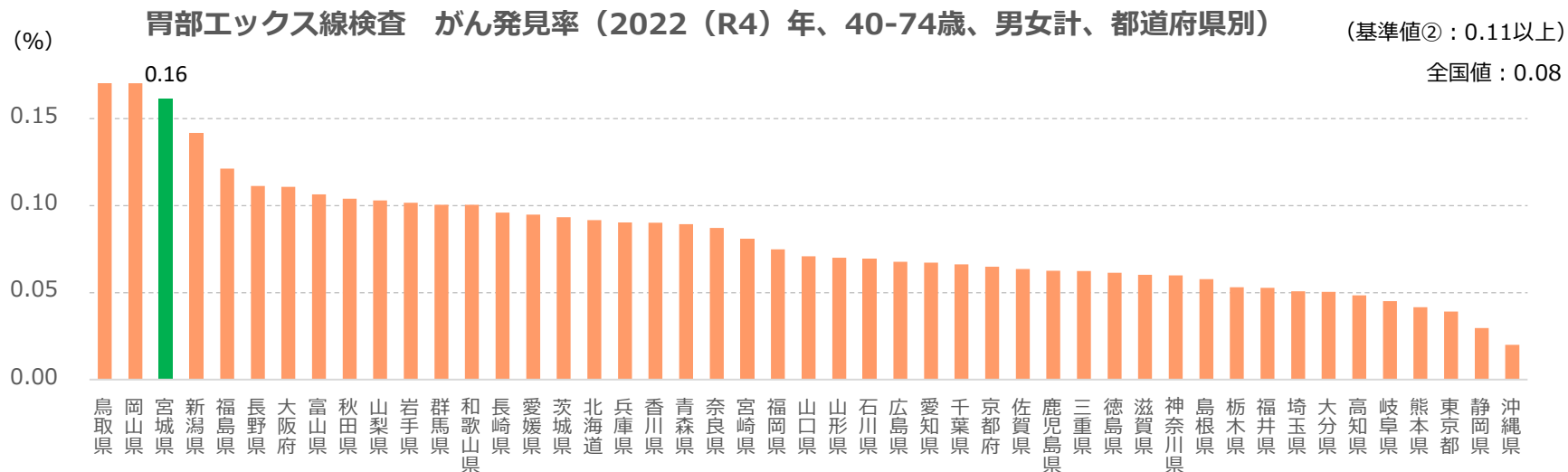
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

胃部X線検査 プロセス指標③（がん発見率）全国順位

2021
(R3)



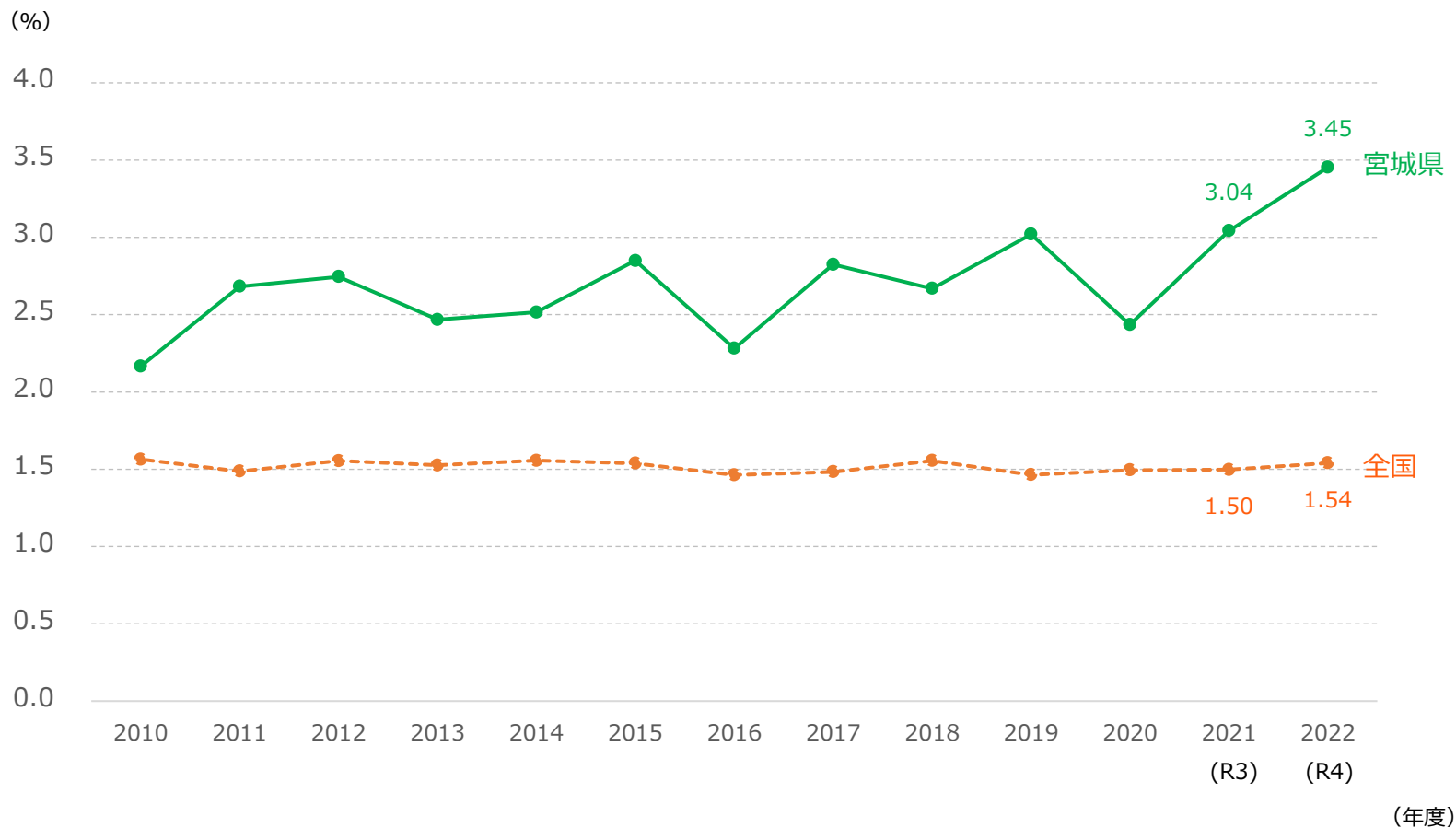
2022
(R4)



胃部X線検査 プロセス指標④（陽性反応適中度） 年次推移

その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）
【がんであった者／要精検者数×100】

胃部エックス線検査 陽性反応適中度（2010-2022、40-74歳、男女計、全国・宮城県）



基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

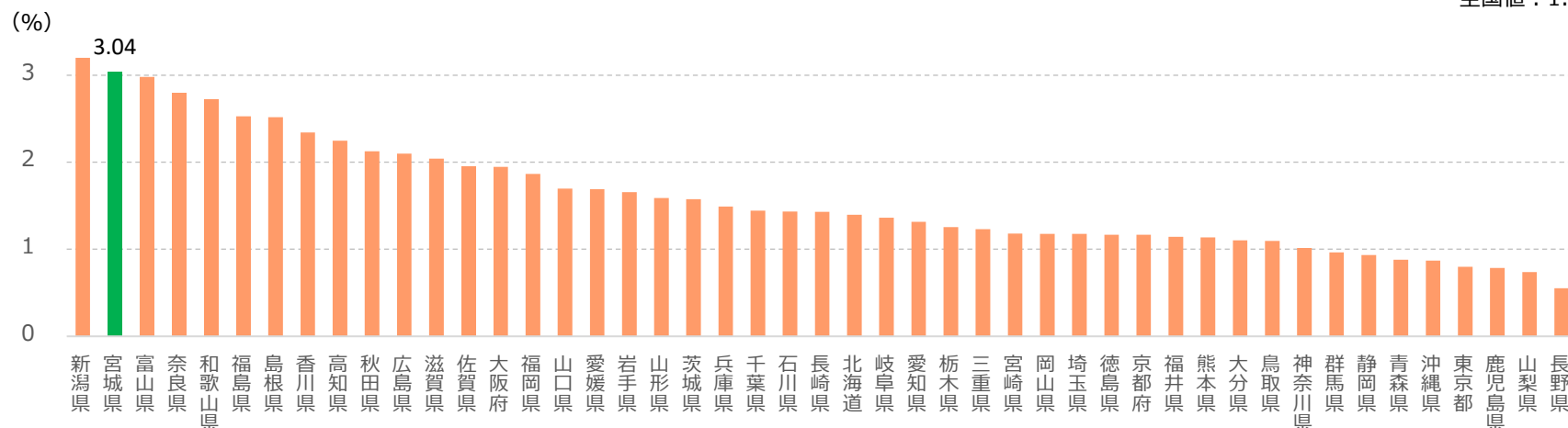
胃部X線検査 プロセス指標④（陽性反応適中度） 全国順位

胃部エックス線検査 陽性反応適中度（2021（R3）年、40-74歳、男女計、都道府県別）

（基準値②：1.5以上）

全国値：1.50

2021
(R3)

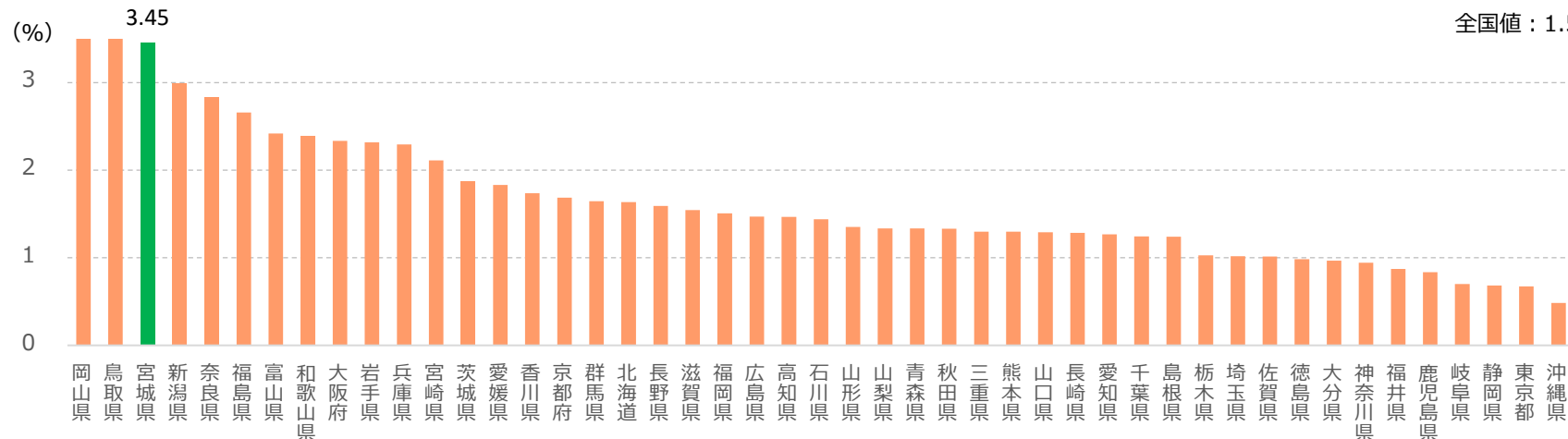


胃部エックス線検査 陽性反応適中度（2022（R4）年、40-74歳、男女計、都道府県別）

（基準値②：1.5以上）

全国値：1.54

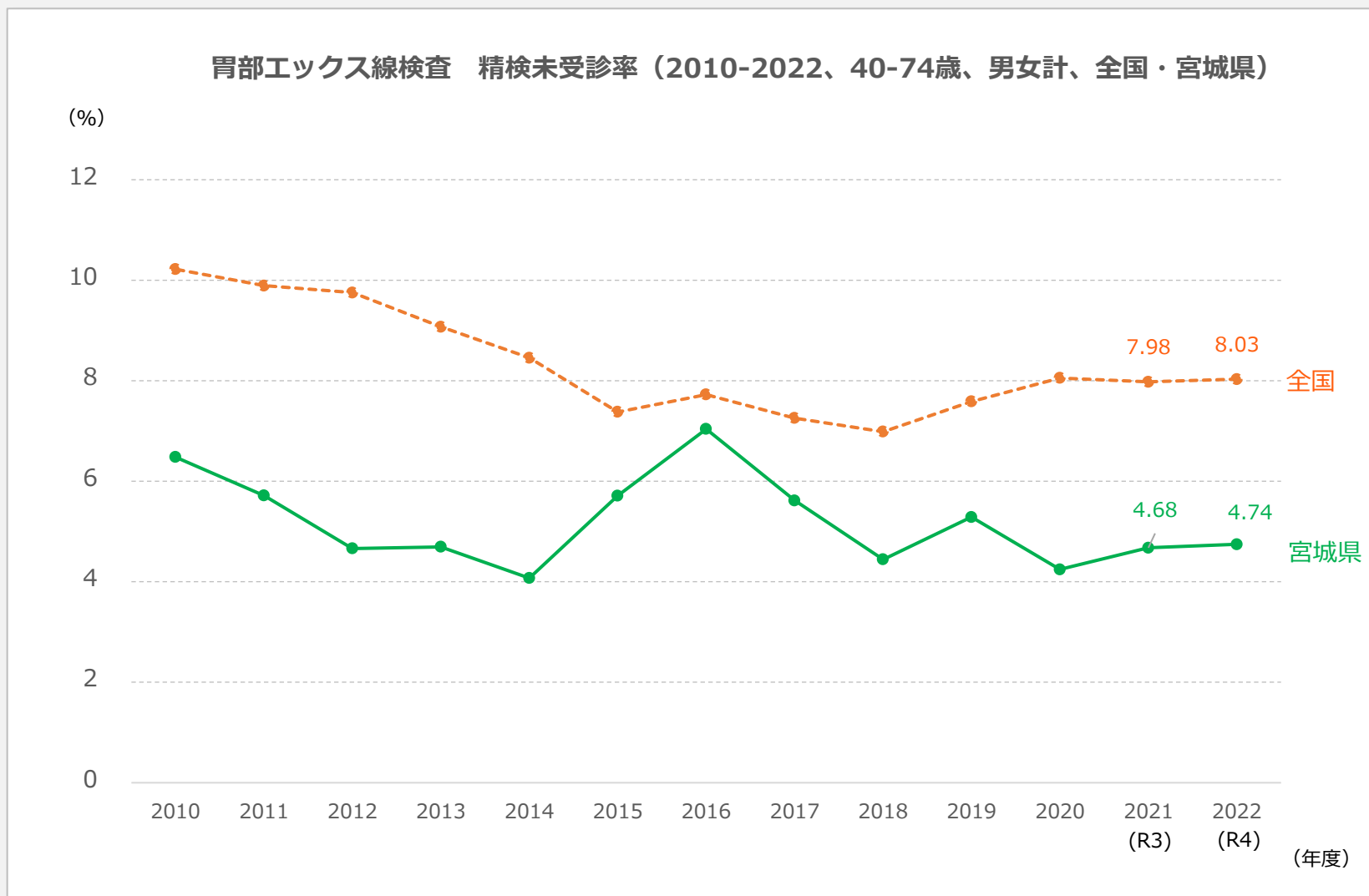
2022
(R4)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

胃部X線検査 プロセス指標⑤（精検未受診率） 年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【未受診者数／要精検者数×100】



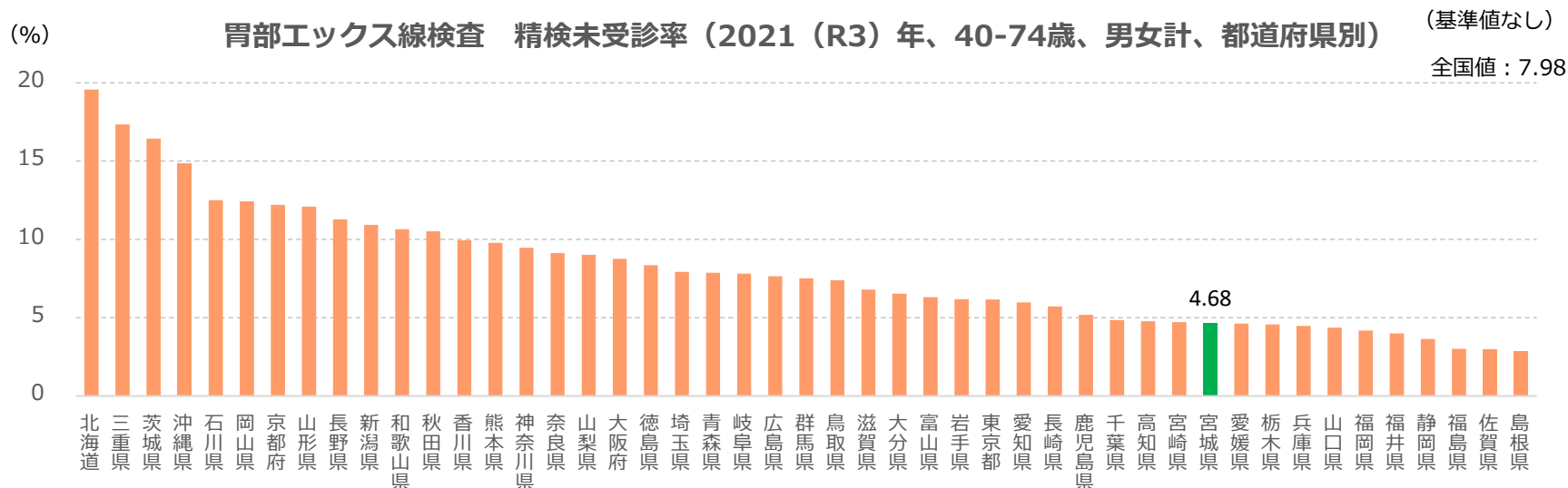
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

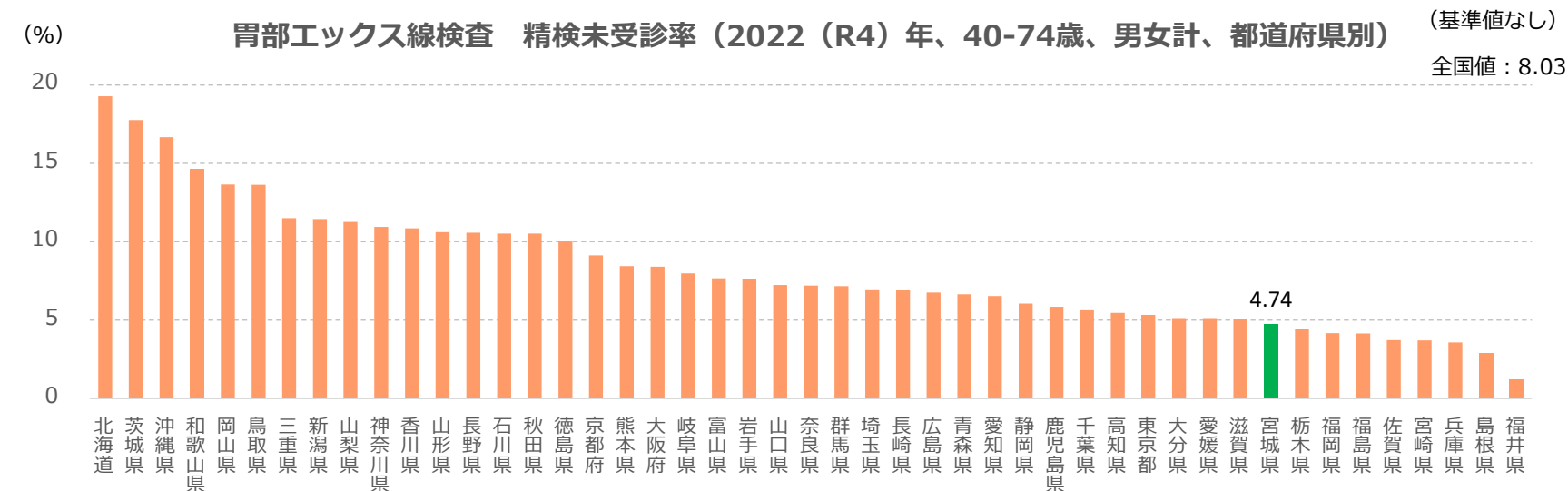
精検未受診：要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（本人自己申告、精検機関で受診の事実が確認されないものなど）

胃部X線検査 プロセス指標⑤（精検未受診率） 全国順位

2021
(R3)



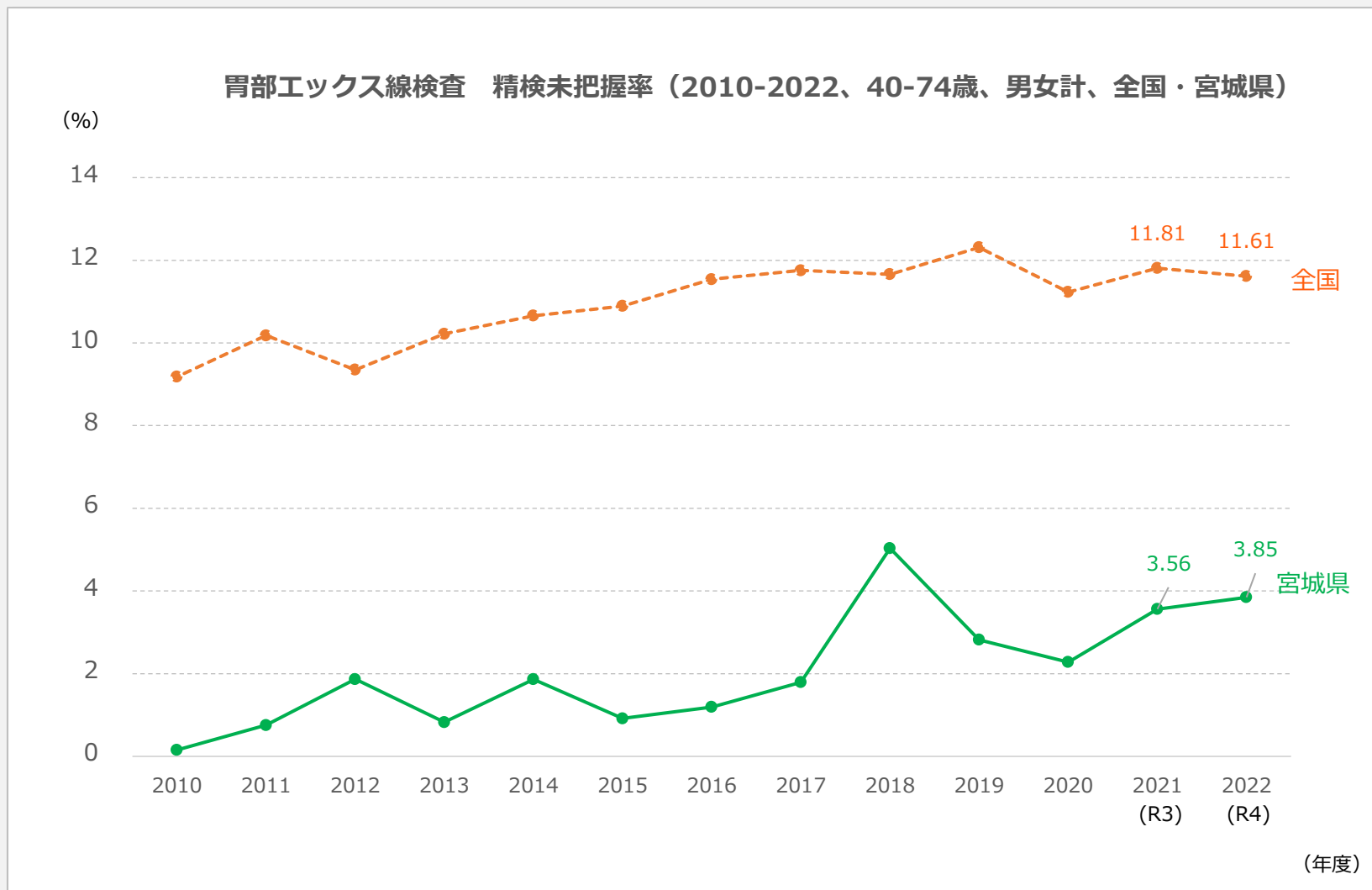
2022
(R4)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

胃部X線検査 プロセス指標⑥（精検未把握率） 年次推移

精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか【未把握者数／要精検者数×100】



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

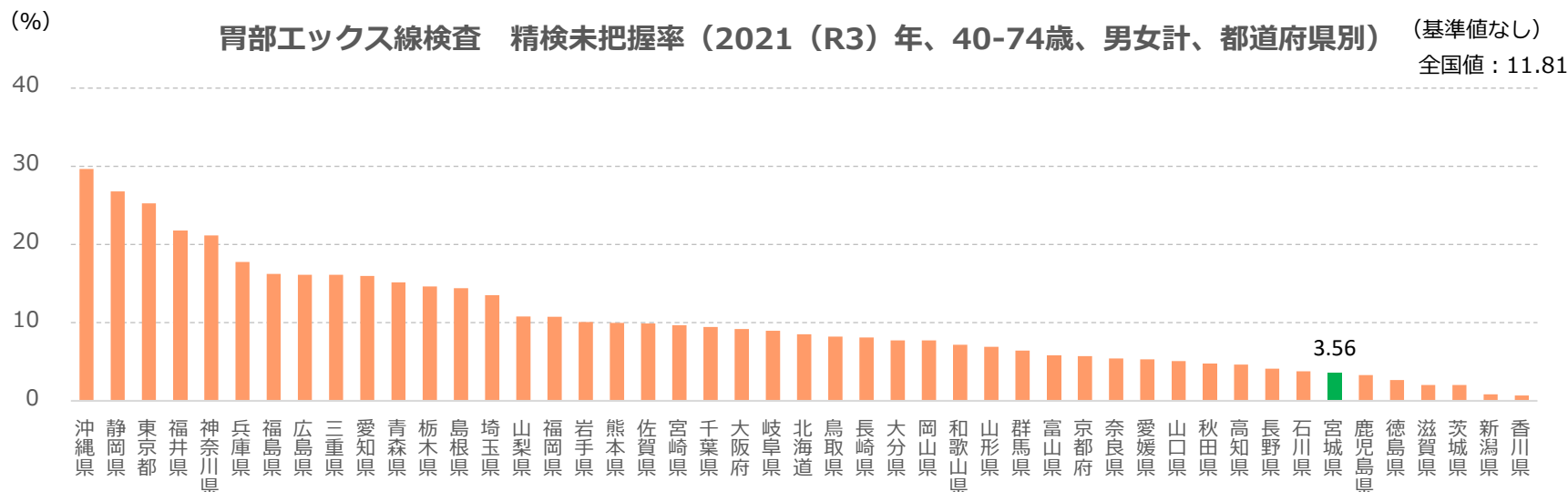
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

精検未把握：精検受診の有無がわからないもの、精検結果が正確に報告されないもの

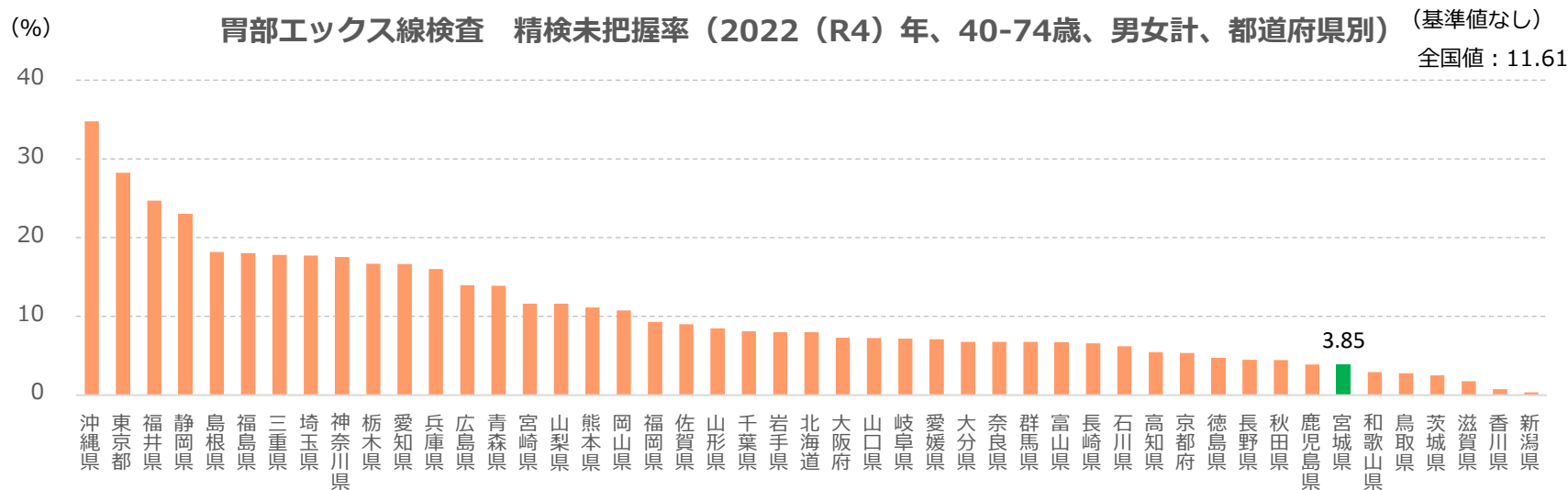
良い

胃部X線検査 プロセス指標⑥（精検未把握率）全国順位

2021
(R3)



2022
(R4)

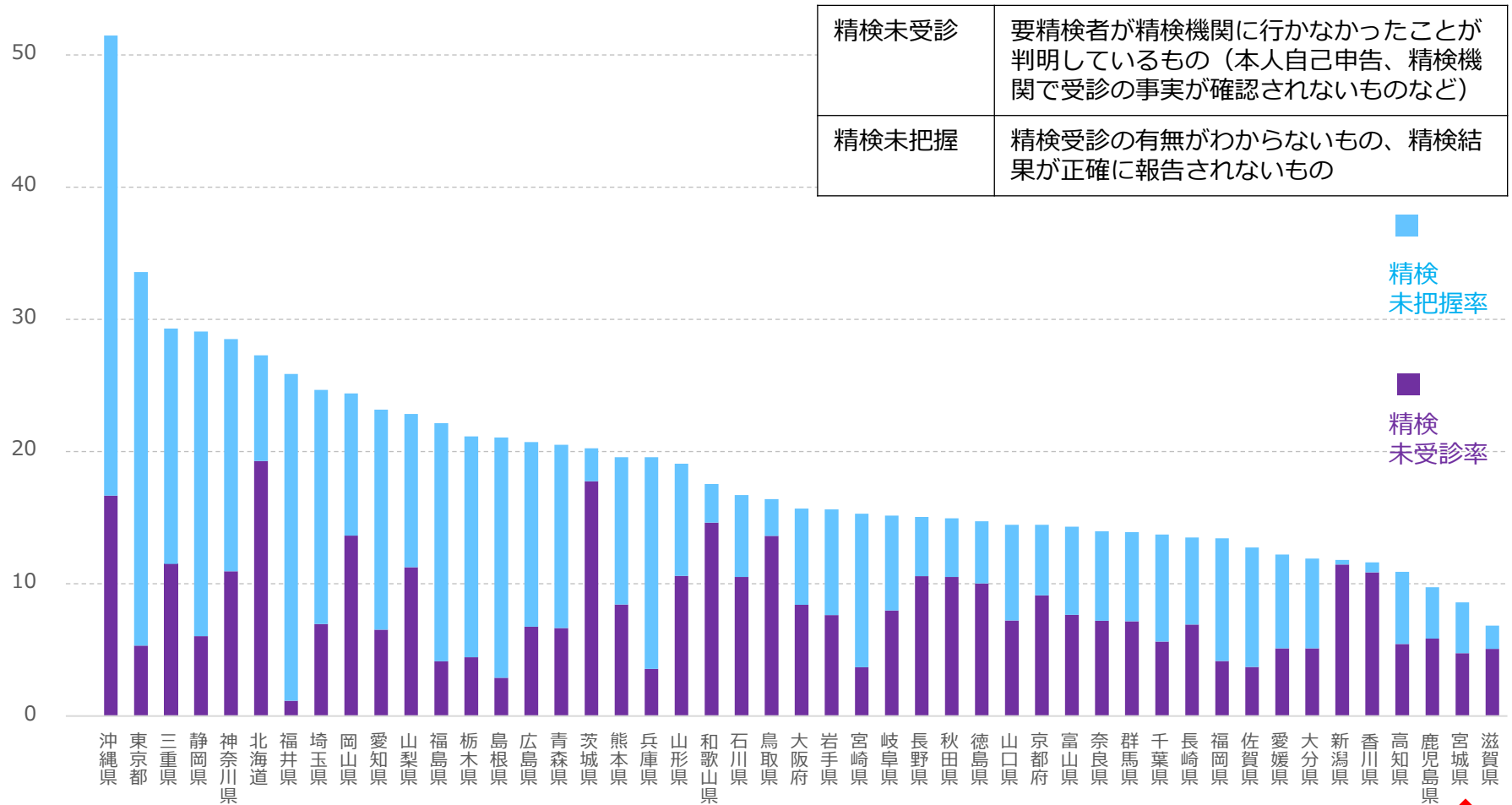


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

(参考) 胃部X線検査 精検未受診率+精検未把握率

(%)

胃部エックス線検査 精検未受診率+精検未把握率 (2022 (R4) 年、40-74歳、男女計、都道府県別)



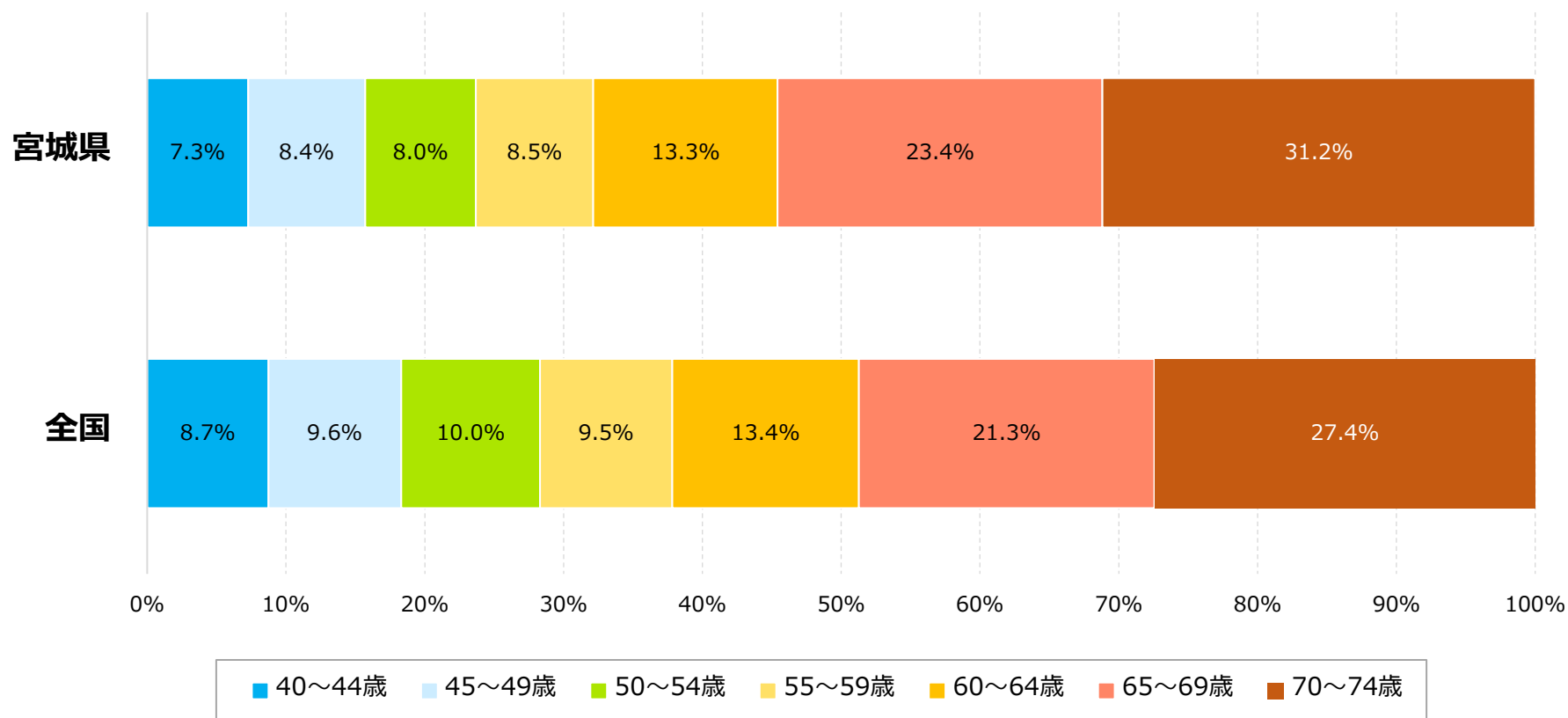
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標の意味と活用方法

	各指標の意味 【算出方法】	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
			指標	予想される原因	検討内容
要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【要精検者数／受診者数×100】	対象集団に応じた適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① <u>有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等)</u> ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標(検診の精度を測る指標) 【がんであった者／要精検者数×100】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、 <u>有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか</u>
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か(要精検率が高い場合、本来は精検が不要な者を要精検として判定している可能性がある)

検診受診者の年齢構成割合 全国・県

胃がん検診受診者の年齢構成割合（2022（R4）年、男女計）



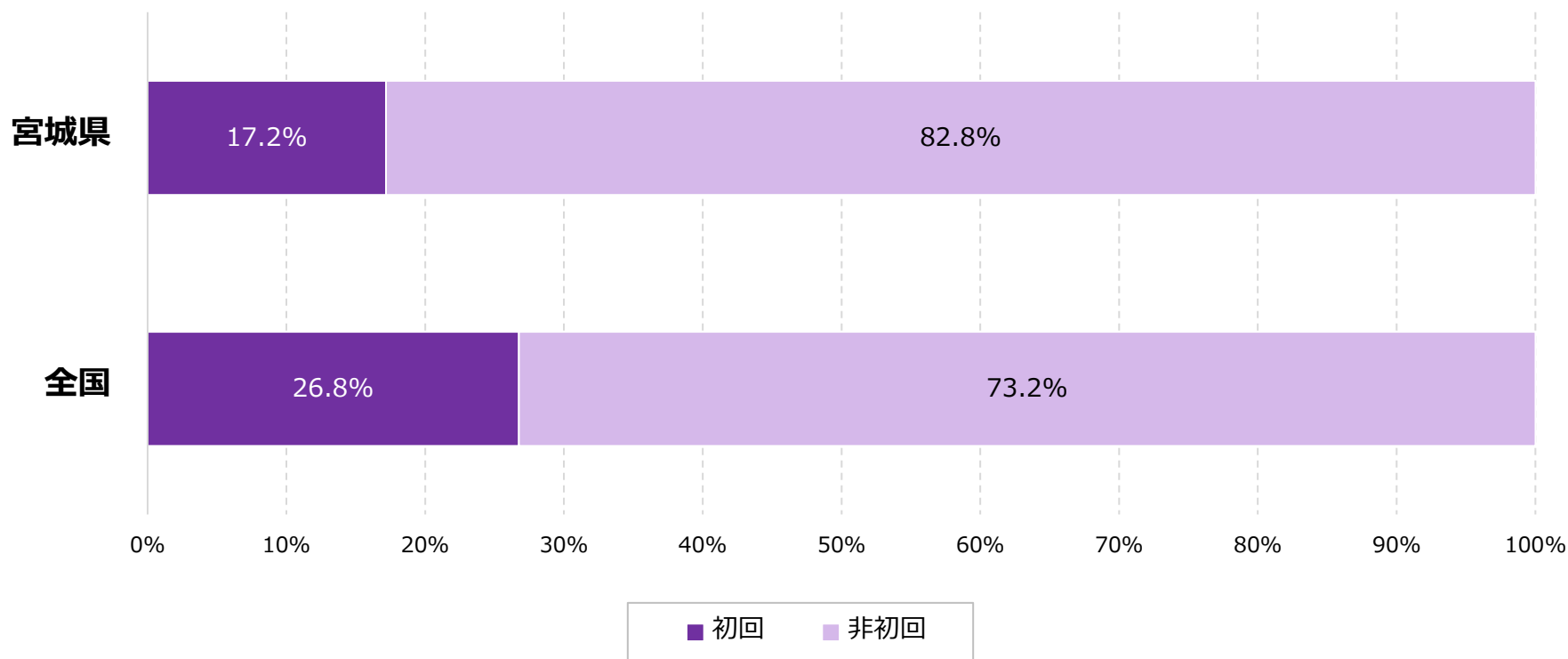
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第15－1表 胃がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

→ 宮城県は、全国と比べて60歳から74歳の受診割合が大きい

検診受診者の初回・非初回割合 全国・県

胃がん検診受診者の初回・非初回割合（2022（R4）年、男女計）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第15-1表 胃がん検診受診者数

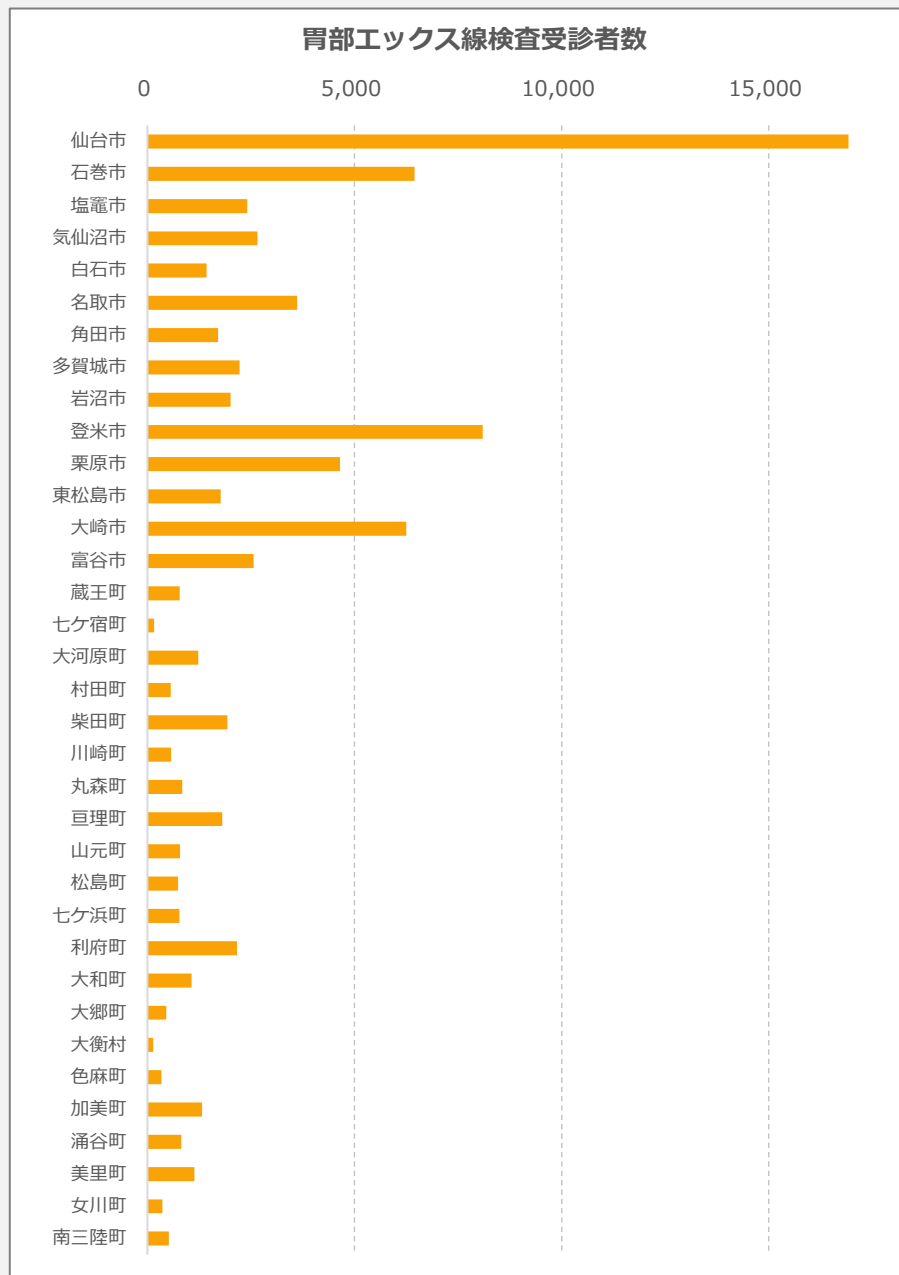
注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

検診回数の初回・非初回については、計数不詳の市区町村があるため、総数と一致しない場合がある。

→ 宮城県は全国より初回割合が低い

市町村の検診受診者 集団・個別割合 2022（R4）

胃部 エックス線検査	2022（R4）年度 受診者数		
	40-74歳 総計	集団検診	個別検診
仙台市	16,925	16,925	0
石巻市	6,450	6,275	175
塩竈市	2,412	2,412	0
気仙沼市	2,654	2,654	0
白石市	1,427	1,427	0
名取市	3,614	3,614	0
角田市	1,709	1,709	0
多賀城市	2,222	2,222	0
岩沼市	2,008	2,008	0
登米市	8,092	8,092	0
栗原市	4,649	3,867	782
東松島市	1,767	1,767	0
大崎市	6,252	6,252	0
富谷市	2,561	2,561	0
蔵王町	782	770	12
七ヶ宿町	159	159	0
大河原町	1,226	1,226	0
村田町	561	561	0
柴田町	1,932	1,846	86
川崎町	568	568	0
丸森町	842	842	0
亘理町	1,806	1,806	0
山元町	790	790	0
松島町	738	738	0
七ヶ浜町	771	771	0
利府町	2,161	2,161	0
大和町	1,068	1,068	0
大郷町	458	458	0
大衡村	139	139	0
色麻町	337	337	0
加美町	1,320	1,320	0
涌谷町	820	820	0
美里町	1,136	1,136	0
女川町	362	362	0
南三陸町	520	520	0
県総計	81,238	80,183	1,055



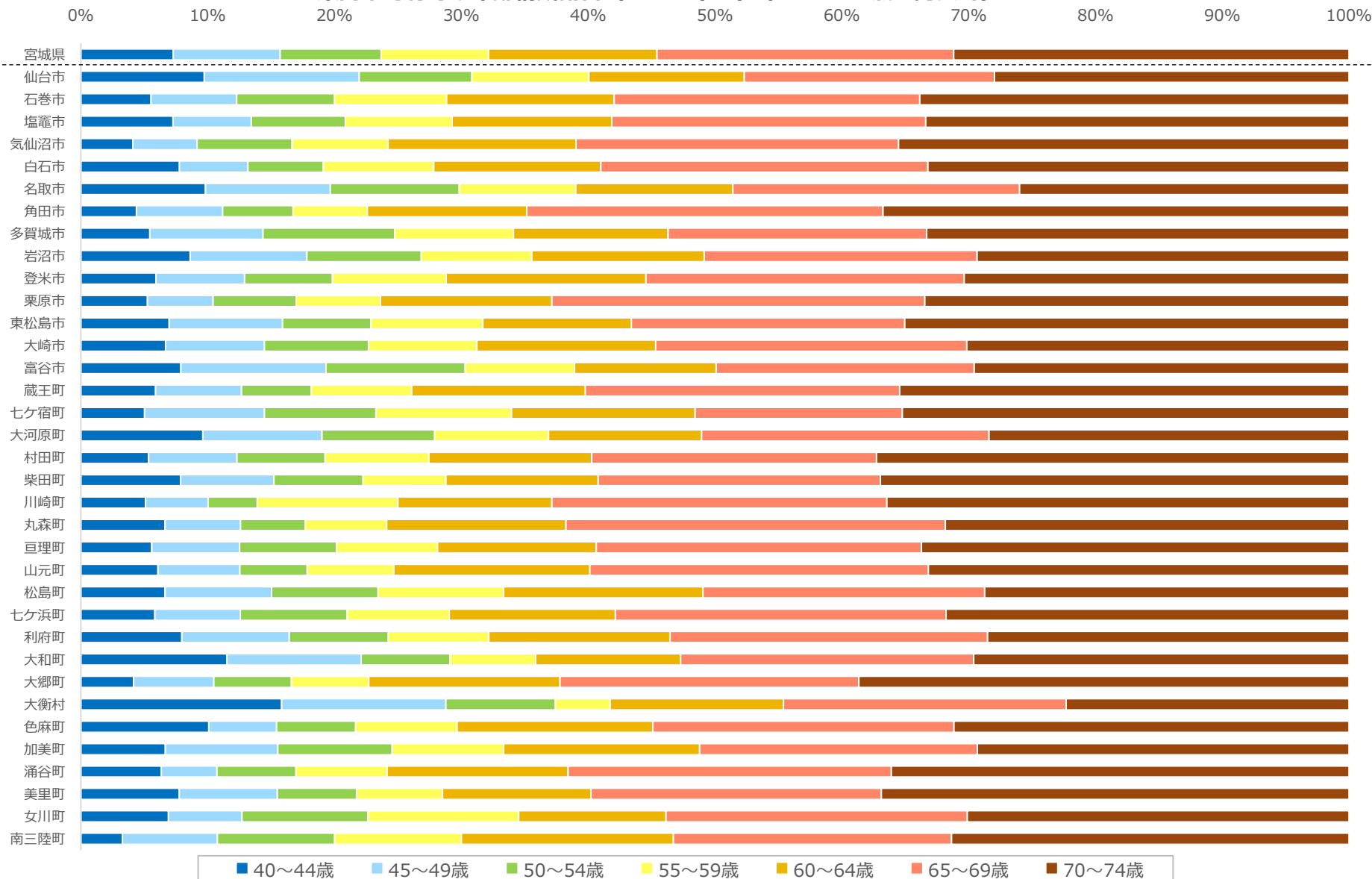
(余 白)

(参考) 市町村毎の一次検診受診者の年齢構成 2022 (R4) 年

胃がん検診	40-74歳合計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
仙台市	16,925	1,647	2,068	1,505	1,559	2,076	3,339	4,731
石巻市	6,450	357	436	496	571	852	1,555	2,183
塩竈市	2,412	175	149	179	203	304	597	805
気仙沼市	2,654	109	134	199	201	393	675	943
白石市	1,427	111	77	85	124	188	368	474
名取市	3,614	355	356	367	332	448	817	939
角田市	1,709	75	116	95	100	215	480	628
多賀城市	2,222	121	198	231	208	271	453	740
岩沼市	2,008	173	185	181	175	273	432	589
登米市	8,092	480	565	561	725	1,275	2,030	2,456
栗原市	4,649	244	241	304	309	629	1,367	1,555
東松島市	1,767	123	158	123	156	207	381	619
大崎市	6,252	418	487	513	534	882	1,534	1,884
富谷市	2,561	202	293	281	221	286	521	757
蔵王町	782	46	53	43	62	107	194	277
七ヶ宿町	159	8	15	14	17	23	26	56
大河原町	1,226	118	115	109	110	148	278	348
村田町	561	30	39	39	46	72	126	209
柴田町	1,932	152	142	136	126	232	430	714
川崎町	568	29	28	22	63	69	150	207
丸森町	842	56	50	43	54	119	252	268
亘理町	1,806	101	125	138	144	226	463	609
山元町	790	48	51	42	54	122	211	262
松島町	738	49	62	62	73	116	164	212
七ヶ浜町	771	45	52	65	62	101	201	245
利府町	2,161	172	183	169	171	309	541	616
大和町	1,068	123	113	75	72	122	247	316
大郷町	458	19	29	28	28	69	108	177
大衡村	139	22	18	12	6	19	31	31
色麻町	337	34	18	21	27	52	80	105
加美町	1,320	88	117	119	116	204	289	387
涌谷町	820	52	36	51	59	117	209	296
美里町	1,136	88	88	71	77	133	260	419
女川町	362	25	21	36	43	42	86	109
南三陸町	520	17	39	48	52	87	114	163
宮城県総計	81,238	5,912	6,857	6,463	6,880	10,788	19,009	25,329

(参考) 市町村毎の一次検診受診者の年齢構成割合

県内市町村毎の年齢構成割合 (2022 (R4) 年 40-74歳 男女計)



市町村の各プロセス指標

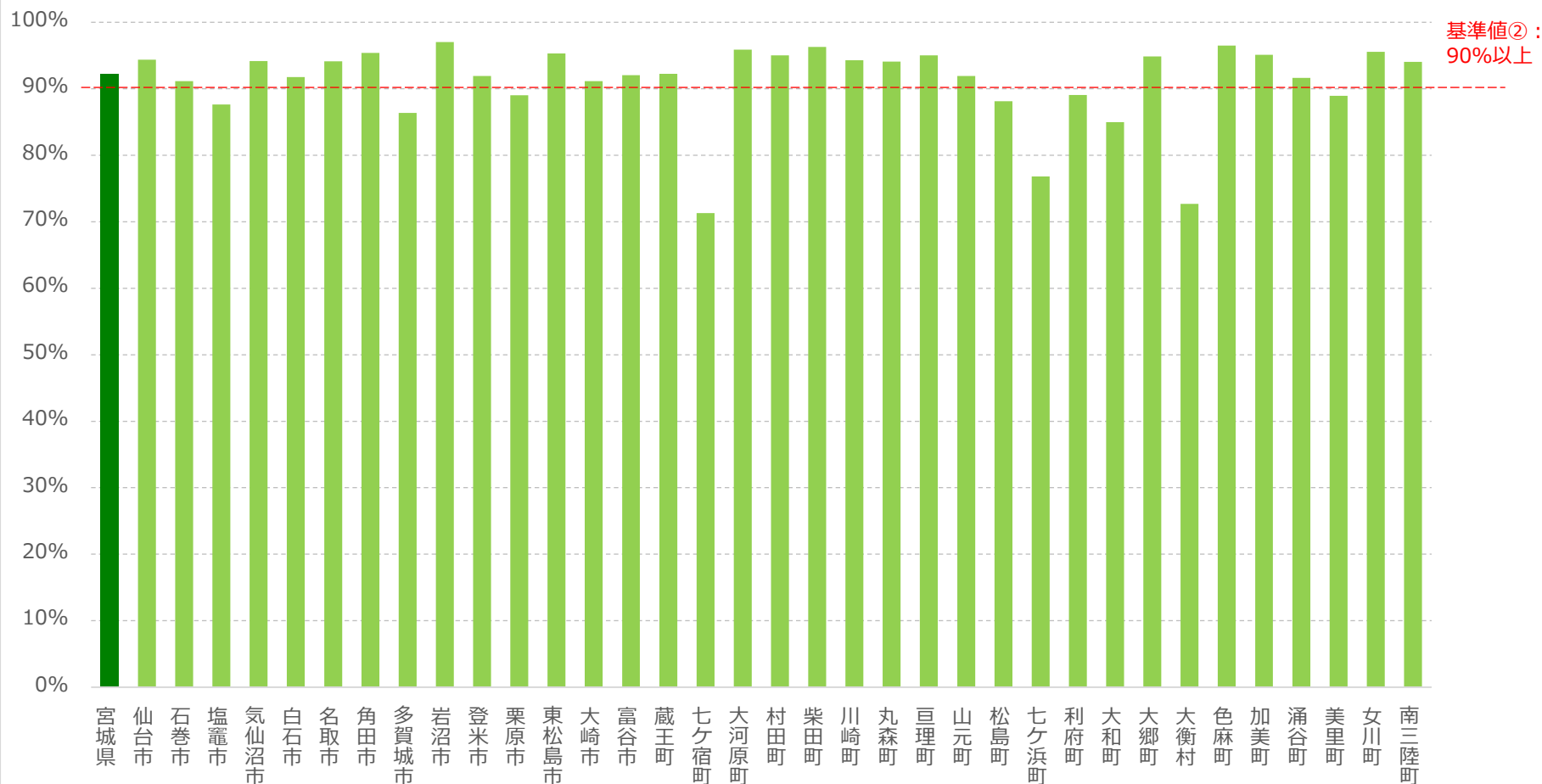
3年平均（2020-2022年度）

胃腸エックス線検査	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度	受診者数 (40～74歳)	要精密検査者数	精密検査受診者数	異常なし	がん (転移性以外)	疑い又は未確定	がん 以外の疾患
仙台市	94.4%	4.21%	0.112%	2.67%	18373.0	773.0	729.7	43.7	20.7	0.0	665.3
石巻市	91.1%	4.83%	0.110%	2.30%	6082.7	293.0	266.3	39.3	6.7	0.7	219.7
塩竈市	87.7%	4.54%	0.095%	2.10%	2445.3	111.0	97.3	7.0	2.3	0.0	88.0
気仙沼市	94.2%	4.58%	0.125%	2.84%	2693.7	122.7	115.3	4.3	3.3	0.0	107.7
白石市	91.8%	5.06%	0.141%	2.85%	1413.7	71.7	65.7	3.0	2.0	0.0	60.7
名取市	94.1%	4.76%	0.131%	2.87%	3278.0	154.0	145.0	5.3	4.3	0.0	135.3
角田市	95.4%	5.18%	0.214%	4.01%	1713.0	88.7	84.7	6.0	3.7	0.0	75.0
多賀城市	86.4%	4.74%	0.152%	3.25%	2073.3	97.3	84.0	5.0	3.0	0.0	76.0
岩沼市	97.0%	4.88%	0.177%	3.64%	2077.0	101.3	98.3	5.7	3.7	0.0	89.0
登米市	91.9%	4.93%	0.118%	2.40%	8162.3	402.7	370.0	21.7	9.7	0.0	338.7
栗原市	89.0%	4.95%	0.182%	3.68%	4238.3	209.7	186.3	4.0	7.7	0.0	174.7
東松島市	95.3%	5.09%	0.174%	3.44%	1515.7	76.0	72.3	3.7	2.7	0.0	66.0
大崎市	91.2%	5.27%	0.167%	3.17%	5831.0	306.7	279.0	13.7	10.0	0.0	255.3
富谷市	92.1%	4.66%	0.174%	3.69%	2697.7	125.7	115.7	4.0	4.7	0.0	107.0
蔵王町	92.2%	4.79%	0.303%	6.29%	750.0	36.0	33.3	1.3	2.3	0.0	29.7
七ヶ宿町	71.3%	5.42%	0.210%	4.17%	159.0	8.7	6.3	1.0	0.3	0.0	5.0
大河原町	95.9%	4.84%	0.144%	2.93%	1162.3	56.0	53.7	2.7	1.7	0.0	49.3
村田町	95.0%	5.28%	0.057%	1.01%	573.7	30.3	28.7	1.3	0.3	0.0	27.0
柴田町	96.3%	5.09%	0.136%	2.50%	1891.3	96.7	93.0	3.0	2.7	0.0	87.3
川崎町	94.3%	6.65%	0.282%	4.16%	590.0	39.3	37.0	1.7	1.7	0.0	33.7
丸森町	94.1%	4.99%	0.119%	2.46%	841.0	42.0	39.7	1.3	1.0	0.0	37.3
亘理町	95.0%	5.46%	0.274%	5.03%	1640.3	90.0	85.3	4.0	4.3	0.0	77.0
山元町	91.9%	5.46%	0.164%	3.15%	825.0	45.0	41.3	2.3	1.3	0.0	37.7
松島町	88.1%	5.25%	0.000%	0.00%	751.0	39.3	34.7	2.0	0.0	0.0	32.7
七ヶ浜町	76.8%	5.12%	0.043%	0.83%	789.7	40.3	31.0	2.0	0.3	0.0	28.7
利府町	89.0%	5.33%	0.152%	2.73%	1887.0	99.0	88.3	3.3	2.7	0.0	82.3
大和町	85.0%	4.78%	0.130%	2.71%	1017.0	48.7	41.3	1.0	1.3	0.0	39.0
大郷町	94.8%	5.69%	0.073%	1.85%	457.0	25.7	24.3	0.3	0.3	0.0	23.7
大衡村	72.7%	6.34%	0.000%	0.00%	132.0	8.3	6.0	0.3	0.0	0.0	5.7
色麻町	96.5%	4.64%	0.385%	7.02%	351.0	16.3	15.7	0.7	1.3	0.0	13.7
加美町	95.1%	5.95%	0.209%	3.46%	1263.3	75.3	71.7	2.7	2.7	0.0	66.3
涌谷町	91.7%	5.84%	0.181%	2.68%	779.3	44.7	40.7	1.7	1.3	0.0	37.7
美里町	88.9%	5.82%	0.338%	5.66%	1099.3	63.7	56.7	2.3	3.7	0.0	50.7
女川町	95.6%	4.23%	0.276%	6.67%	360.0	15.0	14.3	0.7	1.0	0.0	12.7
南三陸町	94.0%	6.19%	0.196%	3.71%	505.3	31.0	29.3	1.7	1.0	0.0	26.7
県総計	92.2%	4.84%	0.143%	2.98%	80419.3	3884.7	3582.0	203.7	115.7	0.7	3262.0

(余 白)

市町村のプロセス指標①（精検受診率） 3年平均

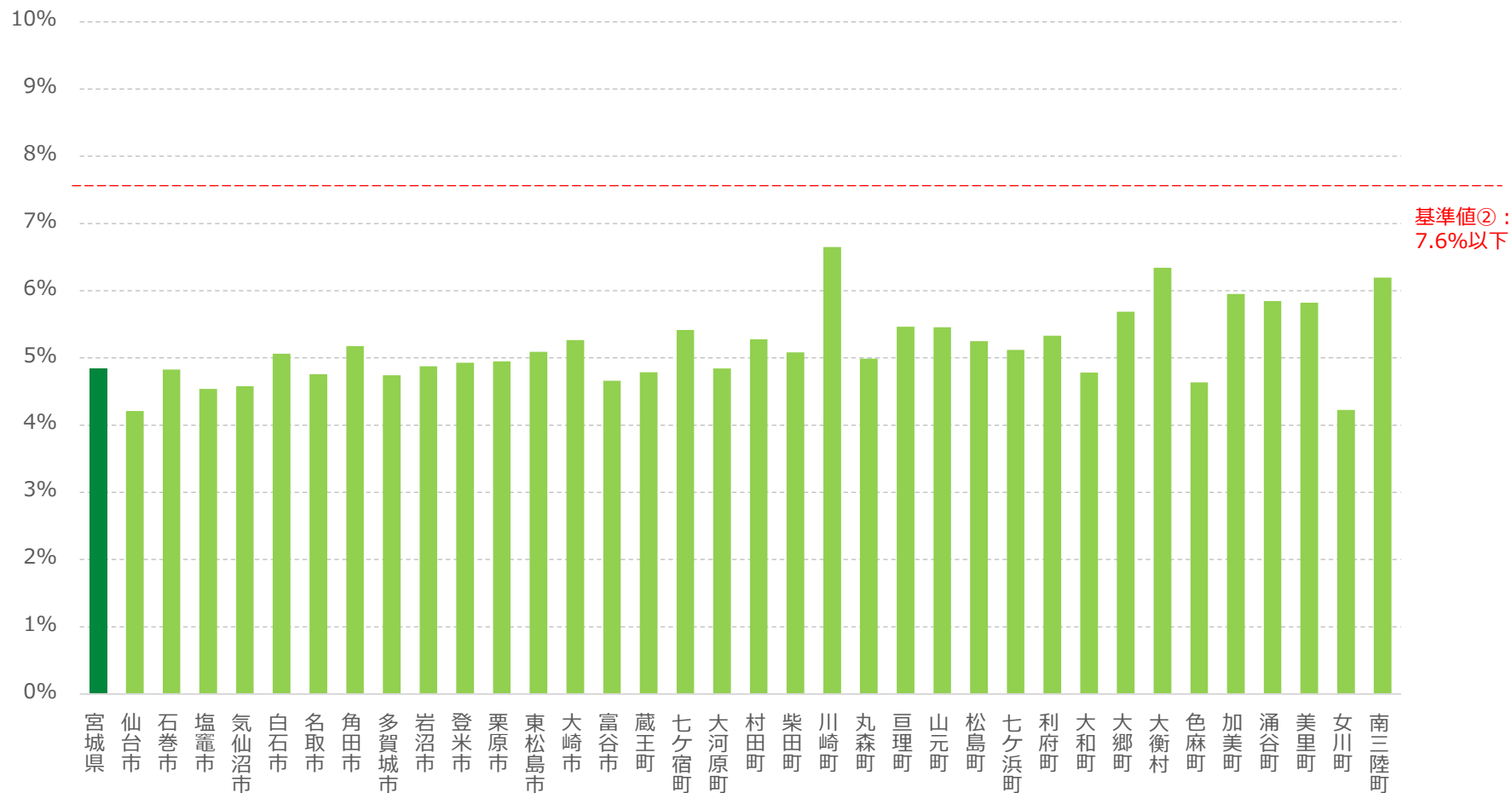
胃部エックス線検査 精密検査受診率（2020-2022（3年平均）、40-74歳、男女計、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）市区町村表 第2 1 - 1、2 2 - 1表 令和2～4年度における胃がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標②（要精検率） 3年平均

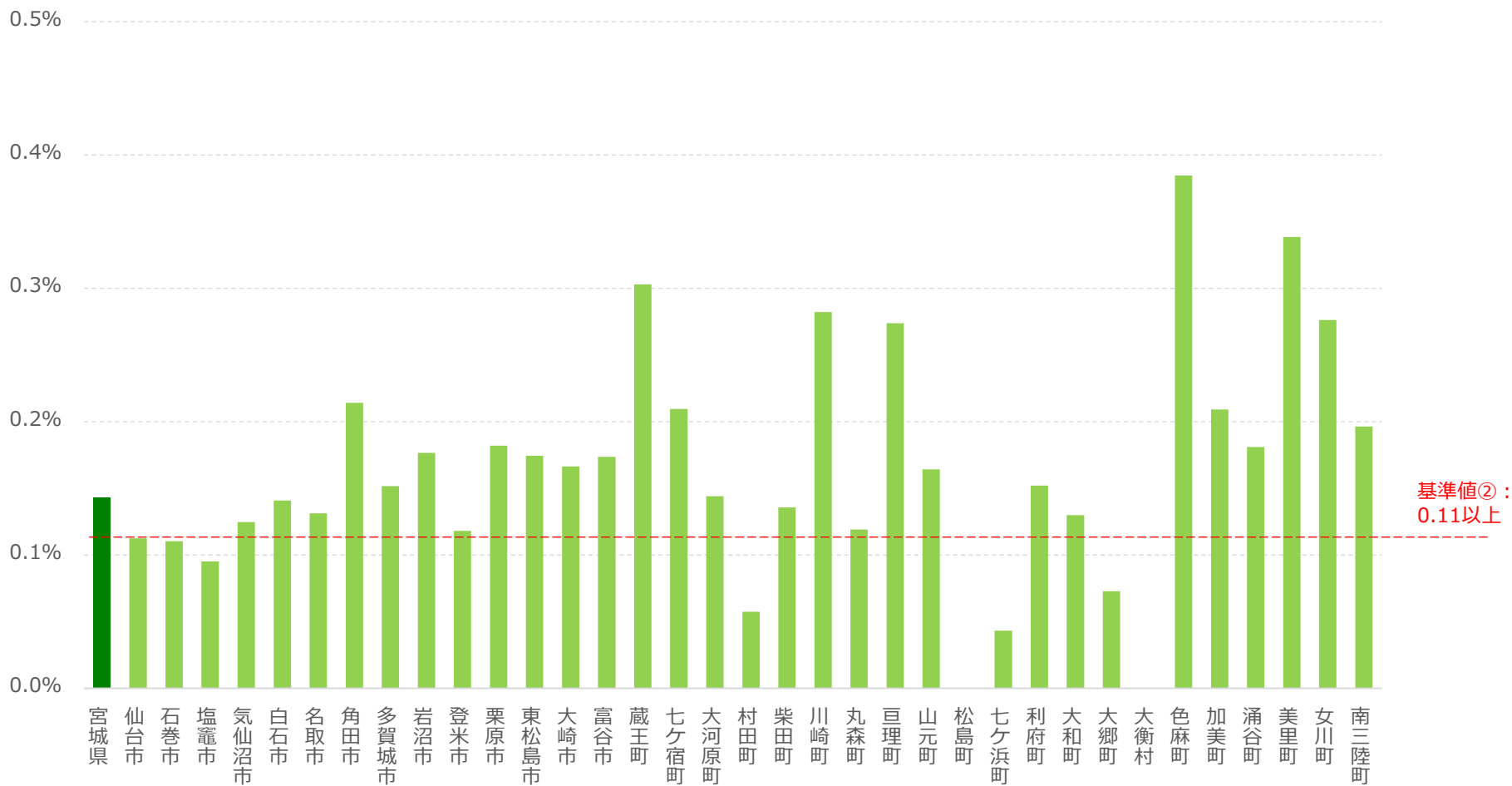
胃部エックス線検査 要精検率（2020-2022（3年平均）、40-74歳、男女計、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第2 1 - 1、2 2 - 1表 令和2年度～令和4年度における胃がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標③（がん発見率） 3年平均

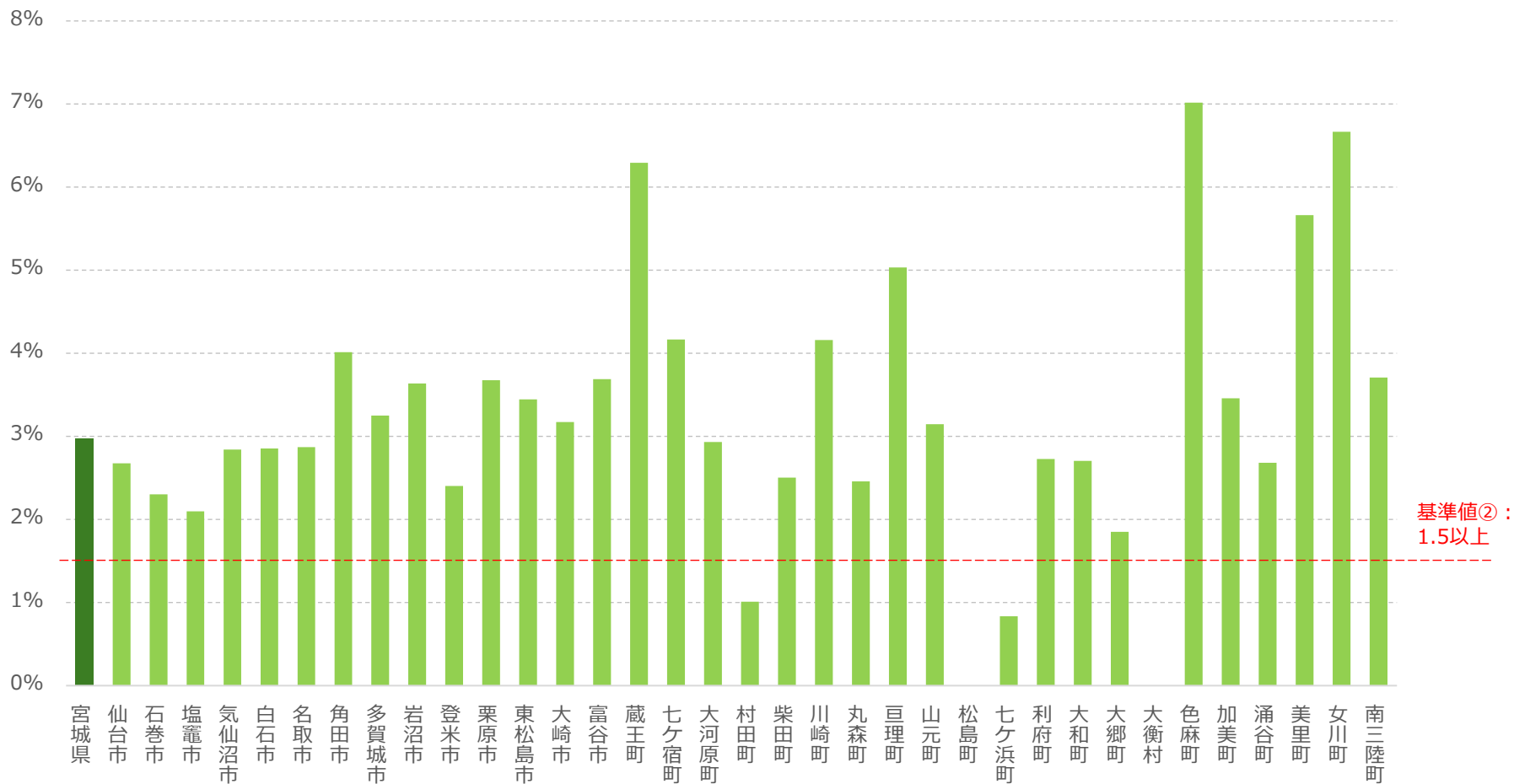
胃部エックス線検査 がん発見率（2020-2022（3年平均）、40-74歳、男女計、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第2 1 - 1、2 2 - 1表 令和2～4年度における胃がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標④（陽性反応適中度） 3年平均

胃部エックス線検査 陽性反応適中度（2020-2022（3年平均）、40-74歳、男女計、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第21-1、22-1表 令和2～4年度における胃がん検診受診者数… から県で計算


プロセス指標のまとめ

- 精検受診率は全国より高く、精検未受診率、精検未把握率ともに全国より低い
- 要精検率は全国より低く、がん発見率、陽性反応適中度は全国より高くなっている。
- 市町村単位でみると各プロセス指標にバラつきがある



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

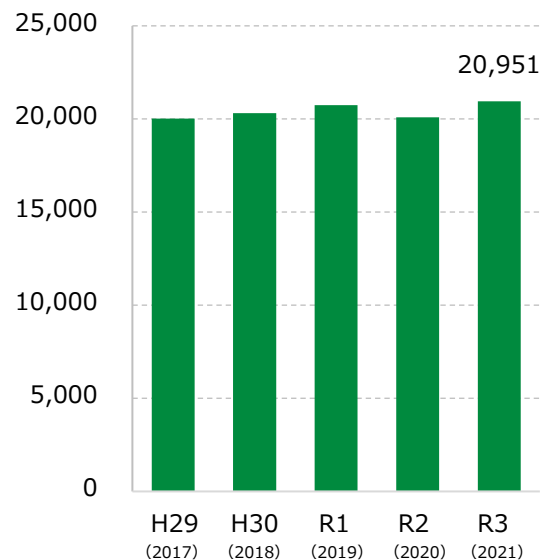
がん罹患数の推移 全部位（宮城県）

罹患数 男女計 全部位（上皮内がん含む）

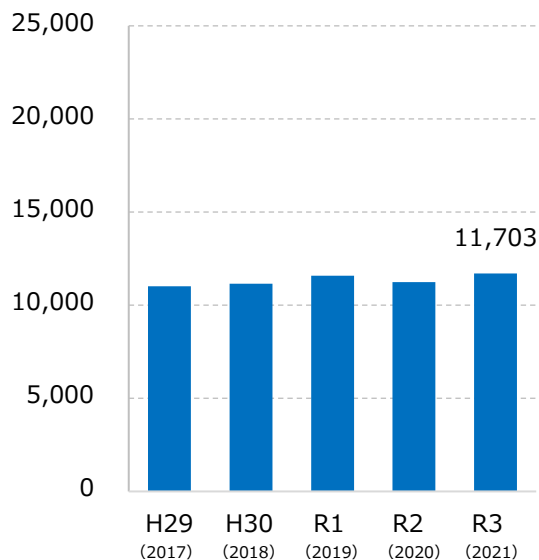
（参考）全国

宮城県	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2021 (R3)
計	20,015	20,316	20,736	20,092	20,951	1,107,555
男	11,022	11,153	11,575	11,237	11,703	609,955
女	8,993	9,163	9,161	8,855	9,248	497,600

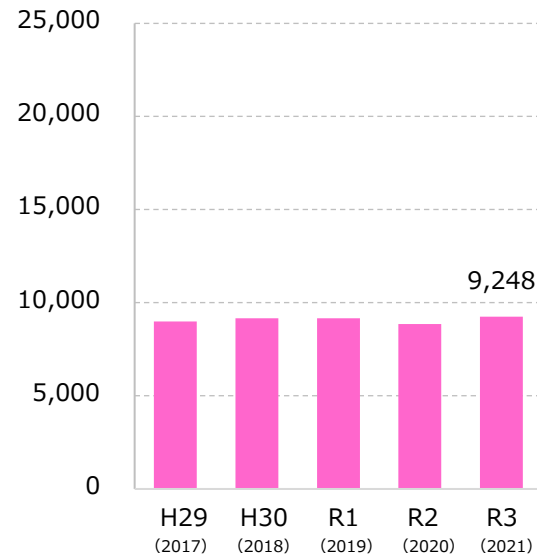
総数（男女計）



男性

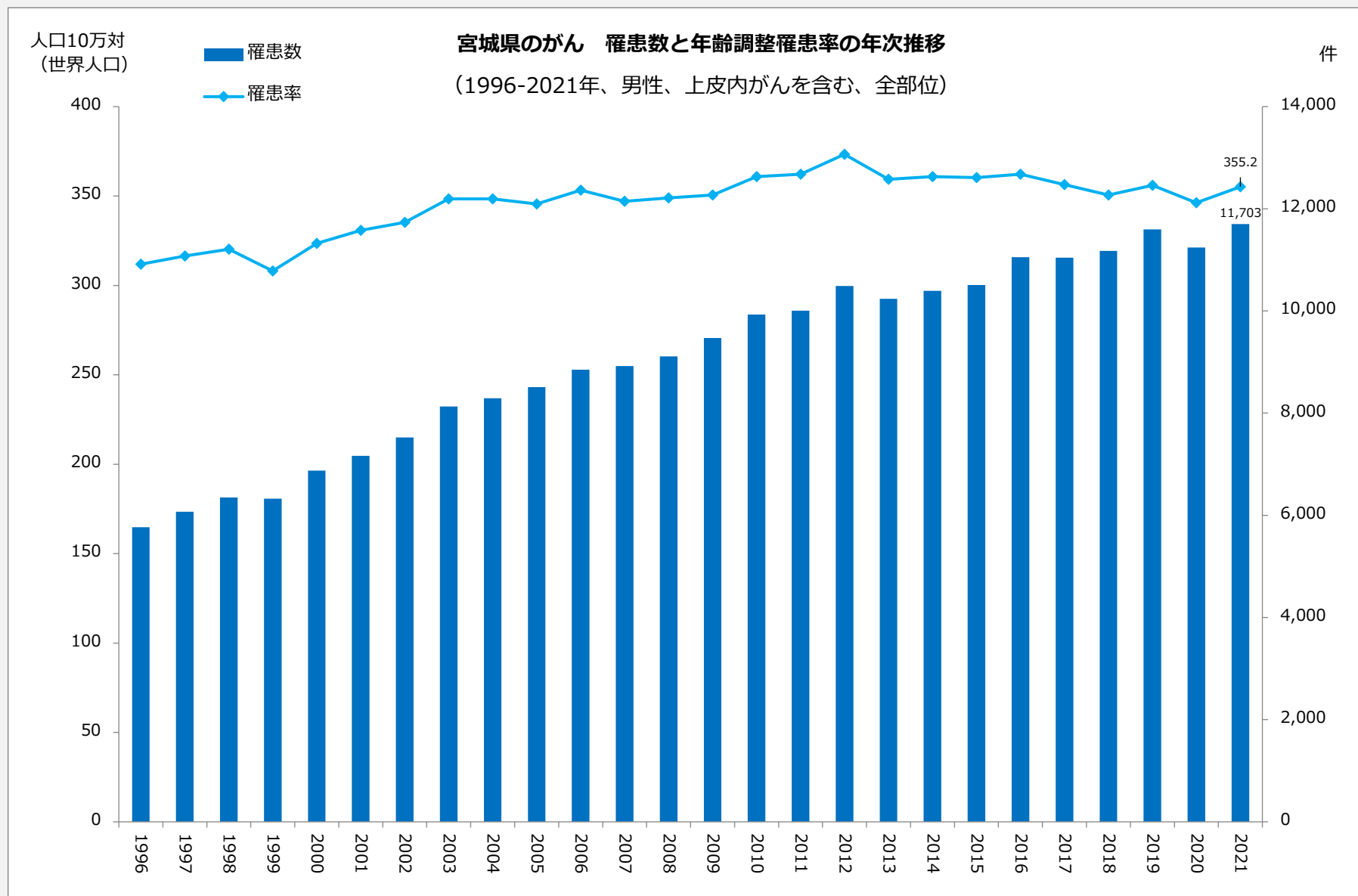


女性



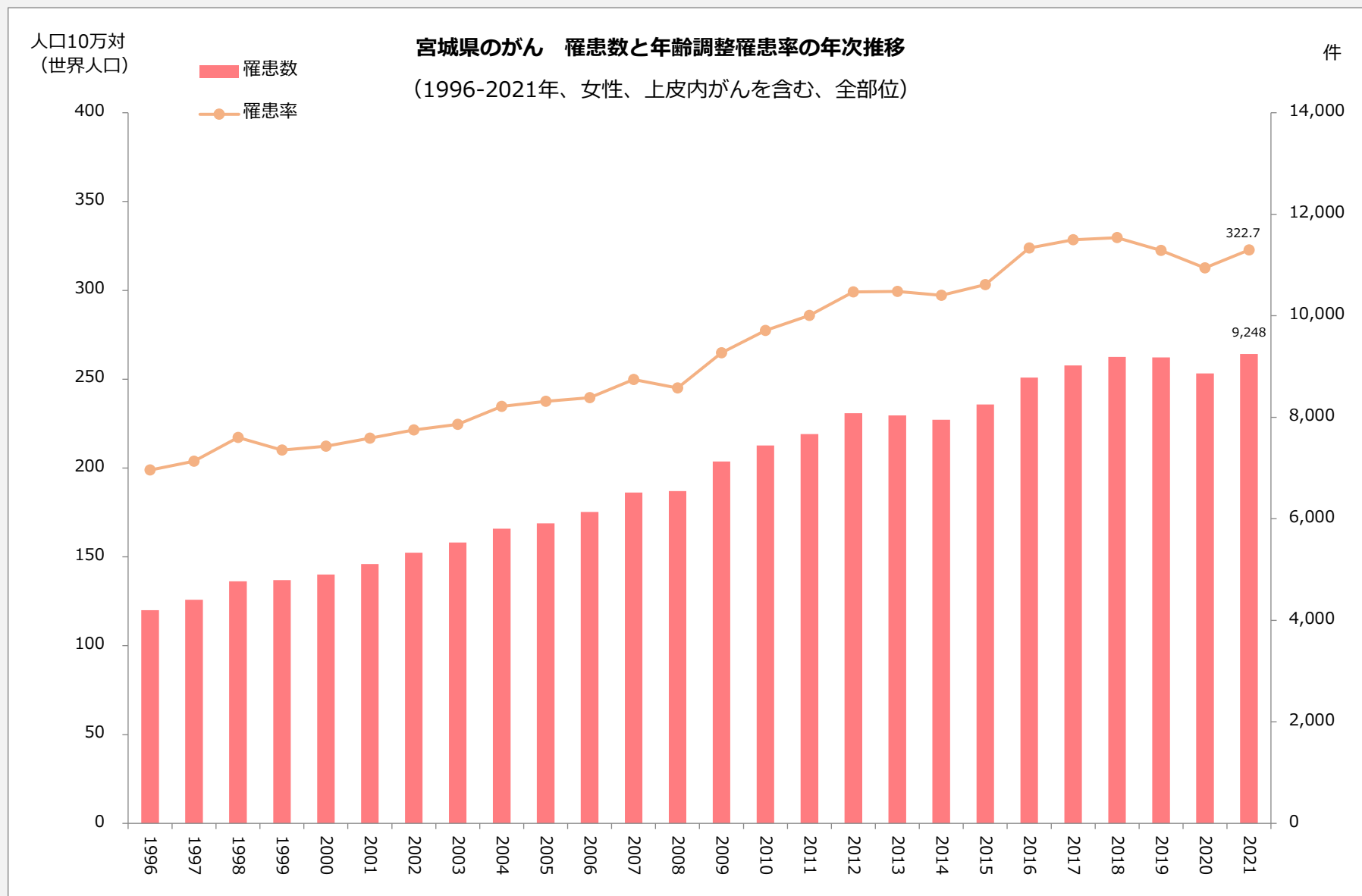
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2017年-2021年

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移（宮城県・男性・全部位）



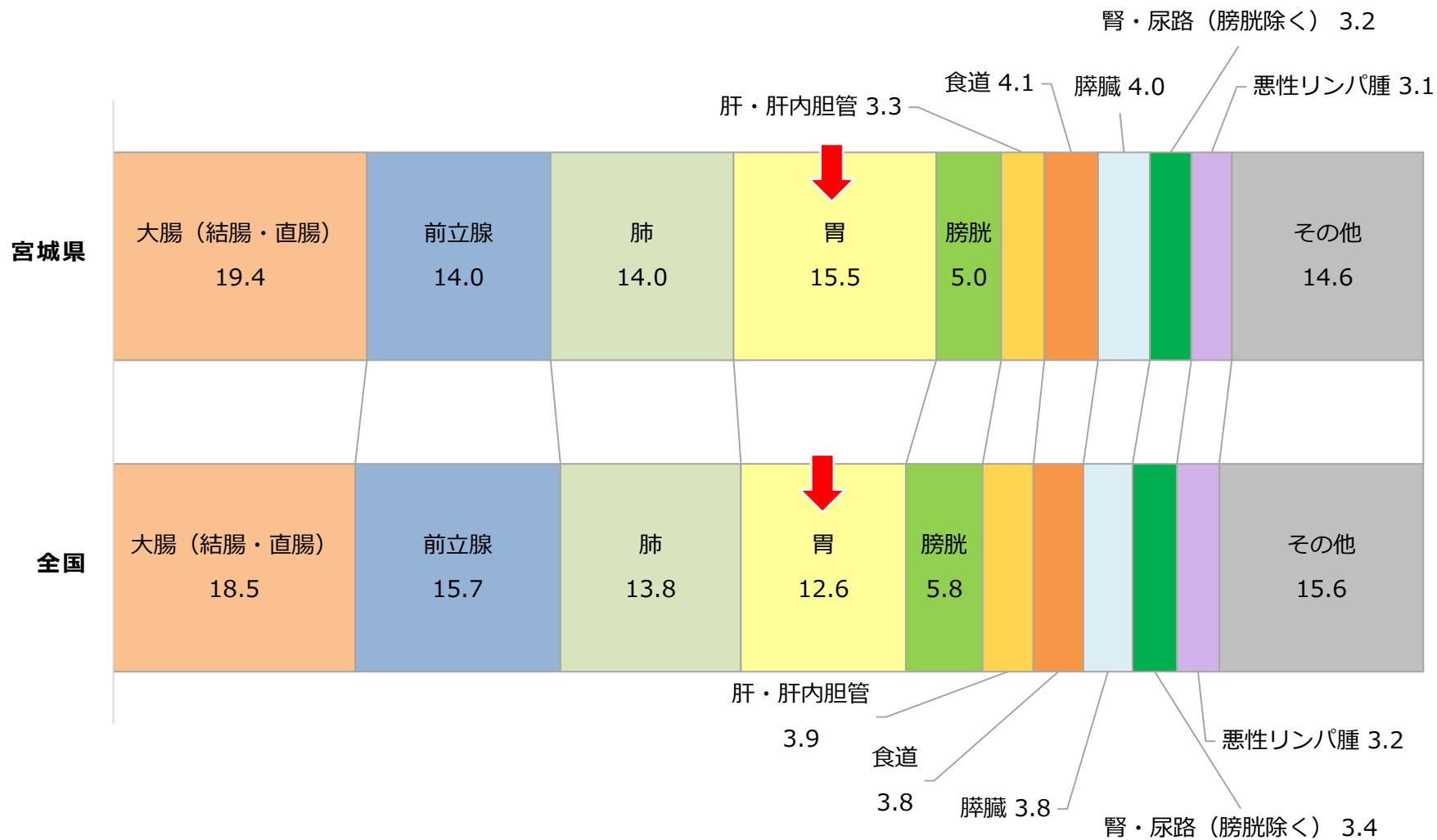
出典： 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移（宮城県・女性・全部位）



部位別がん罹患割合 男性（全国と宮城県）

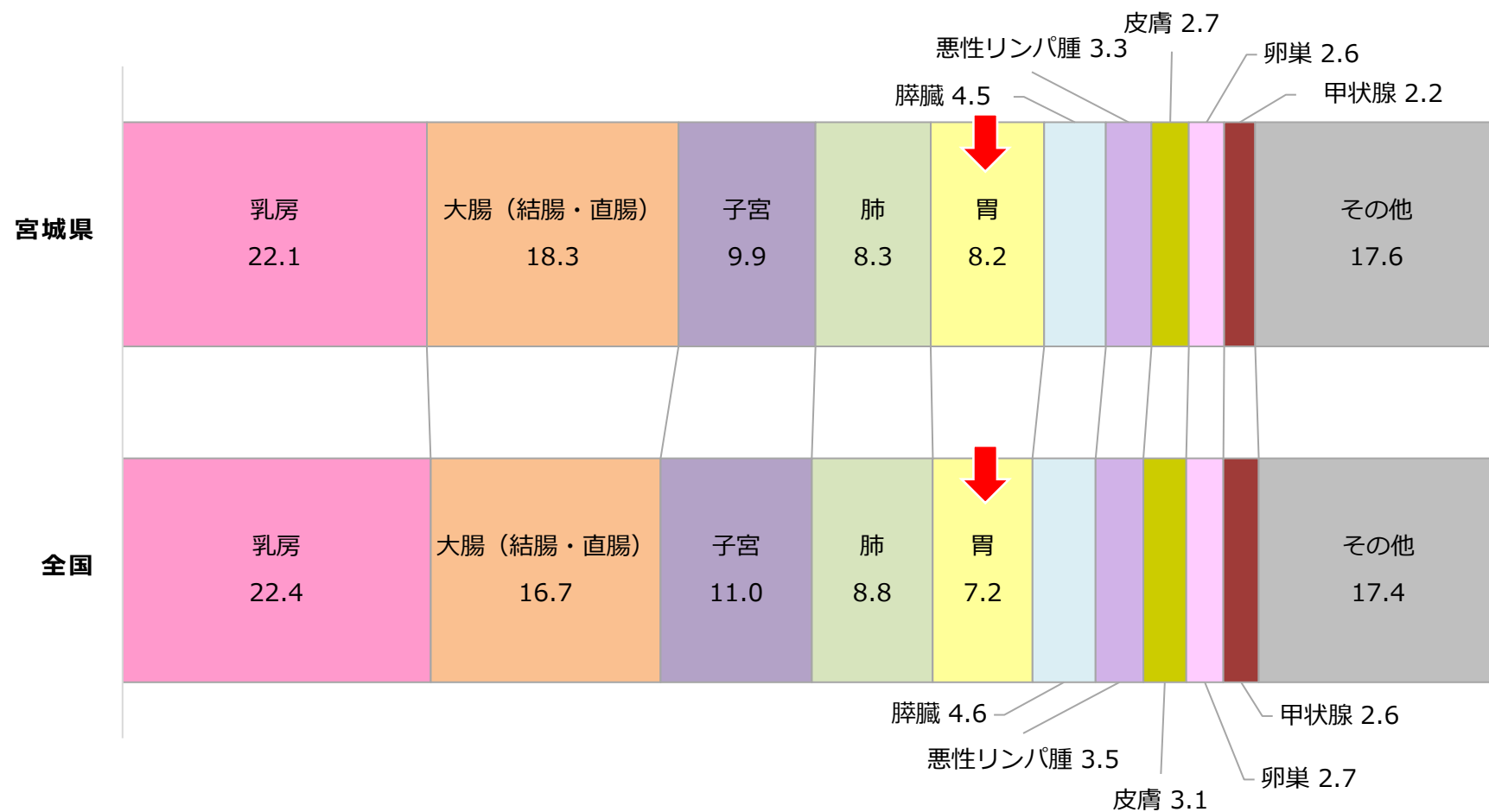
がんの発生割合（2021年 男）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別がん罹患割合 女性（全国と宮城県）

がんの発生割合（2021年 女）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別のがん罹患数（全国と宮城県）

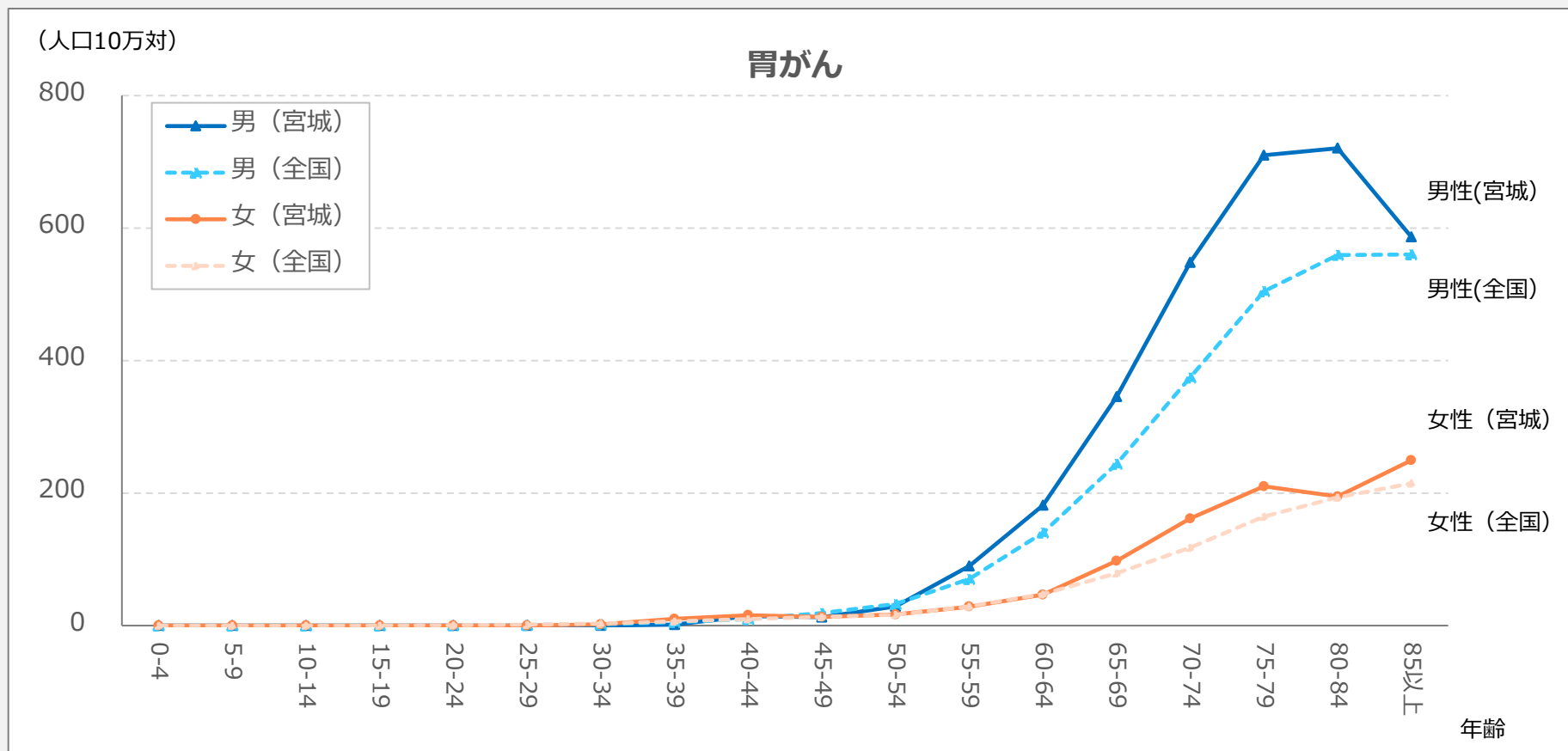
部位別罹患数（2021（R3）年）（上皮内がん含む）

部位	全国				宮城県			
	男		女		男		女	
	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%
口腔・咽頭	16,037	2.6	6,744	1.4	278	2.4	121	1.3
食道	23,209	3.8	5,571	1.1	480	4.1	119	1.3
胃	76,828	12.6	36,053	7.2	1,811	15.5	761	8.2
大腸（結腸・直腸）	112,587	18.5	83,227	16.7	2,265	19.4	1,688	18.3
肝・肝内胆管	23,677	3.9	10,998	2.2	385	3.3	205	2.2
胆のう・胆管	11,729	1.9	9,888	2.0	260	2.2	199	2.2
膵臓	22,950	3.8	22,869	4.6	463	4.0	414	4.5
喉頭	4,359	0.7	412	0.1	80	0.7	9	0.1
肺	84,051	13.8	43,816	8.8	1,635	14.0	772	8.3
皮膚	15,750	2.6	15,492	3.1	254	2.2	250	2.7
乳房	719	0.1	111,492	22.4	9	0.1	2,040	22.1
子宮	-	-	54,684	11.0	-	-	918	9.9
卵巣	-	-	13,456	2.7	-	-	237	2.6
前立腺	95,584	15.7	-	-	1,641	14.0	-	-
膀胱	35,669	5.8	9,928	2.0	580	5.0	192	2.1
腎・尿路（膀胱除く）	20,628	3.4	9,995	2.0	370	3.2	194	2.1
脳・中枢神経系	3,124	0.5	2,617	0.5	49	0.4	50	0.5
甲状腺	4,727	0.8	12,807	2.6	73	0.6	208	2.2
悪性リンパ腫	19,713	3.2	17,268	3.5	362	3.1	306	3.3
多発性骨髄腫	4,197	0.7	3,559	0.7	80	0.7	56	0.6
白血病	8,597	1.4	6,211	1.2	153	1.3	99	1.1
その他	25,820	4.2	20,513	4.1	475	4.1	410	4.4
全部位	609,955	100.0	497,600	100.0	11,703	100.0	9,248	100.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

胃がん 罹患率（年齢階級別）（全国と宮城県）

年齢階級別罹患率 2021（R3）年（上皮内がんを含む）



胃	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
男（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	14.1	12.5	28.8	89.9	181.7	345.5	548.2	710.0	720.5	586.5
男（全国）	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.8	2.0	5.4	9.5	18.7	32.4	70.2	140.2	244.2	374.5	504.6	559.3	560.1
女（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	10.1	15.6	12.9	16.7	28.6	46.6	97.5	161.5	210.0	194.6	249.4
女（全国）	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	1.3	3.2	6.4	9.5	13.1	16.4	28.7	47.6	79.3	117.5	164.4	193.6	214.6

出典：宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

各部位 年齢階級別罹患数（上皮内がんを含む）男性（2021，宮城県）

	男性	0-14歳	15-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
口腔・咽頭	278	0	0	5	15	42	86	89	41
食道	480	0	0	0	4	42	115	202	117
胃	1,811	0	0	1	22	85	395	810	498
大腸（結腸・直腸）	2,265	0	6	14	101	243	581	828	492
肝・肝内胆管	385	0	0	0	10	29	101	135	110
胆のう・胆管	260	0	0	2	3	8	44	84	119
膵臓	463	0	1	0	12	27	94	187	142
喉頭	80	0	0	0	1	5	27	32	15
肺	1,635	0	1	2	23	82	349	678	500
皮膚	254	0	0	4	6	11	38	75	120
乳房	9	0	0	0	0	0	2	6	1
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	1,641	0	0	1	4	74	393	715	454
膀胱	580	0	0	2	11	34	126	210	197
腎・尿路（膀胱除く）	370	0	1	3	15	41	98	120	92
脳・中枢神経系	49	2	3	2	4	6	11	12	9
甲状腺	73	0	2	7	9	13	19	17	6
悪性リンパ腫	362	5	5	4	20	22	96	113	97
多発性骨髄腫	80	0	0	0	3	8	17	31	21
白血病	153	6	3	8	11	22	26	44	33
その他	475	3	15	23	42	63	102	132	95
全部位	11,703	16	37	78	316	857	2,720	4,520	3,159

各部位 年齢階級別罹患数（上皮内がんを含む）女性（2021，宮城県）

	女性	0-14歳	15-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
口腔・咽頭	121	0	1	6	11	13	26	28	36
食道	119	0	0	0	5	8	30	35	41
胃	761	0	0	8	23	33	113	273	311
大腸（結腸・直腸）	1,688	0	3	23	68	171	318	499	606
肝・肝内胆管	205	0	0	2	2	11	25	55	110
胆のう・胆管	199	0	0	0	0	10	22	43	124
膵臓	414	0	1	4	8	18	64	130	189
喉頭	9	0	0	0	0	0	2	4	3
肺	772	0	0	3	15	50	148	272	284
皮膚	250	0	0	0	8	13	23	56	150
乳房	2,040	0	8	88	382	392	416	469	285
子宮	918	0	39	153	234	187	138	106	61
卵巣	237	3	5	15	47	53	57	39	18
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	192	0	1	1	6	11	34	45	94
腎・尿路（膀胱除く）	194	1	0	2	7	11	36	66	71
脳・中枢神経系	50	1	0	0	4	8	9	8	20
甲状腺	208	0	7	19	41	39	41	36	25
悪性リンパ腫	306	0	5	10	13	23	61	99	95
多発性骨髄腫	56	0	0	1	0	3	4	22	26
白血病	99	7	4	2	8	12	19	20	27
その他	410	3	5	10	33	54	79	101	125
全部位	9,248	15	79	347	915	1,120	1,665	2,406	2,701

主な部位別のがん罹患数の直近の年次推移（宮城県）

部位別がん罹患数の推移（男）

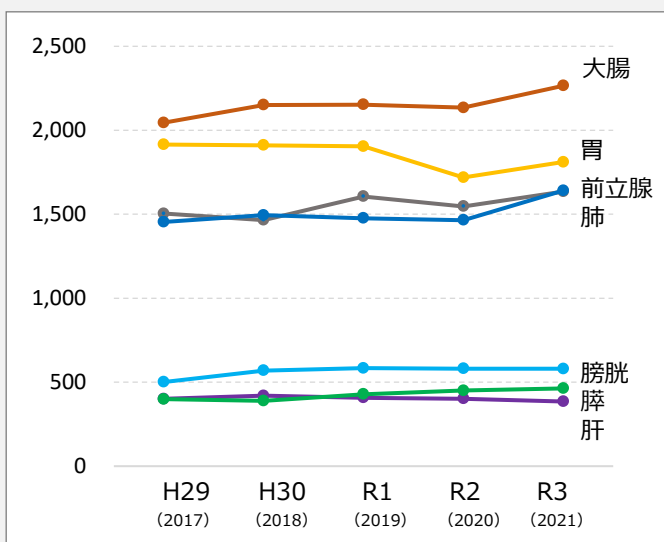
男	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	1,915	1,911	1,904	1,719	1,811
肺	1,504	1,465	1,606	1,547	1,635
肝臓	401	420	407	402	385
膵臓	399	389	428	450	463
大腸	2,045	2,151	2,153	2,135	2,265
前立腺	1,454	1,494	1,476	1,465	1,641
膀胱	501	569	584	581	580

2021年

部位別がん罹患数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	胃がん	前立腺がん
3位	前立腺がん	肺がん
4位	肺がん	胃がん
5位	膀胱がん	膀胱がん

部位別がん罹患数の推移（男）



部位別がん罹患数の推移（女）

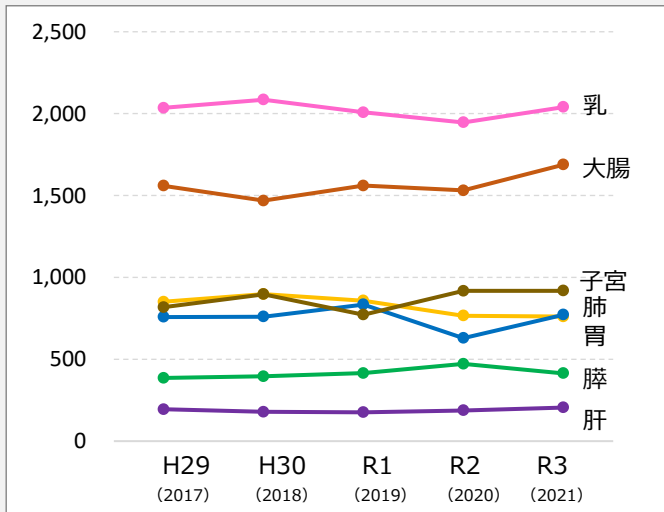
女	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	851	898	858	766	761
肺	758	760	834	629	772
肝臓	194	179	176	188	205
膵臓	386	396	415	472	414
大腸	1,559	1,469	1,560	1,531	1,688
子宮	818	897	772	917	918
乳房	2,035	2,085	2,008	1,946	2,040

2021年

部位別がん罹患数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	乳がん	乳がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	子宮がん	子宮がん
4位	肺がん	肺がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん罹患数の推移（女）

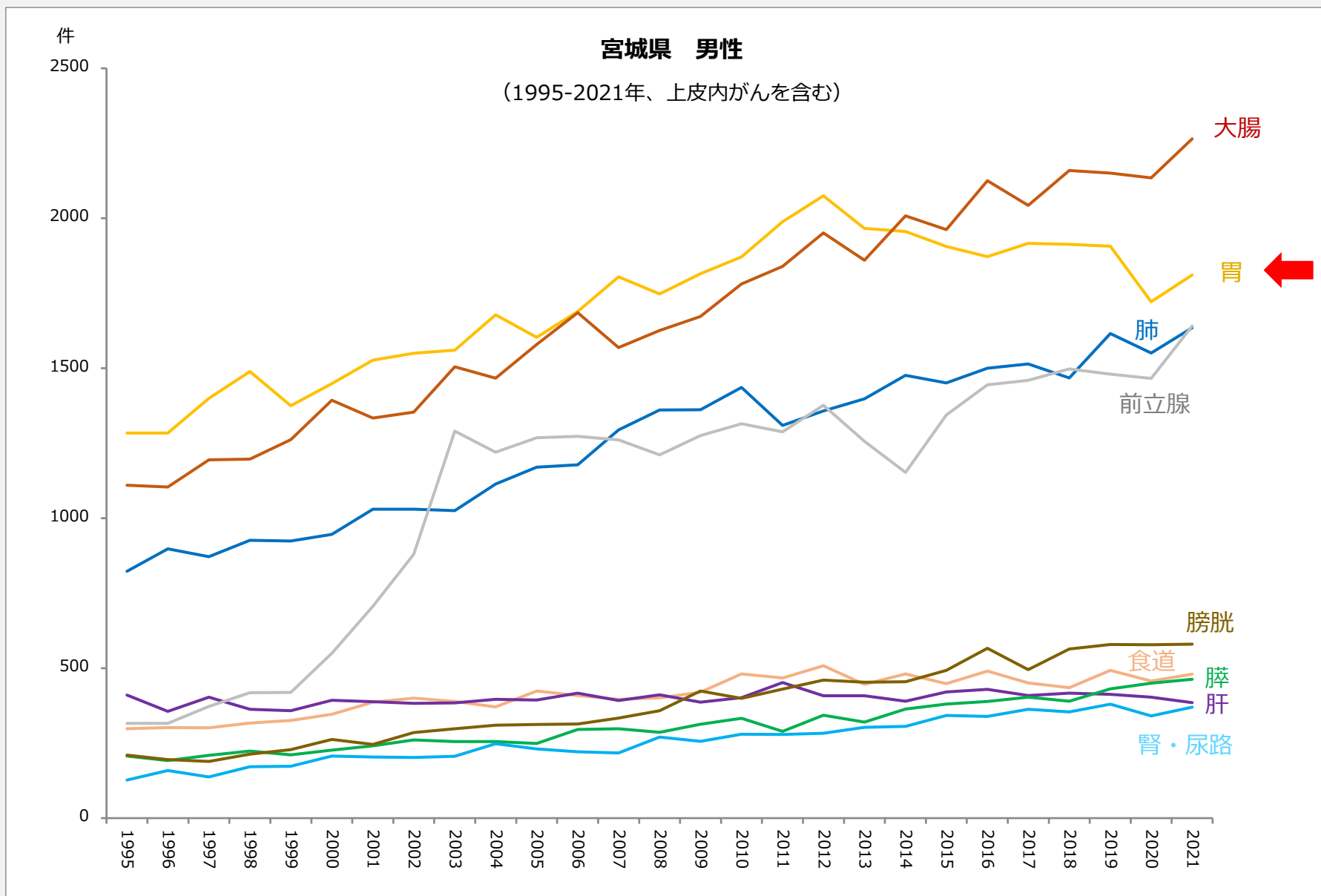


出典：

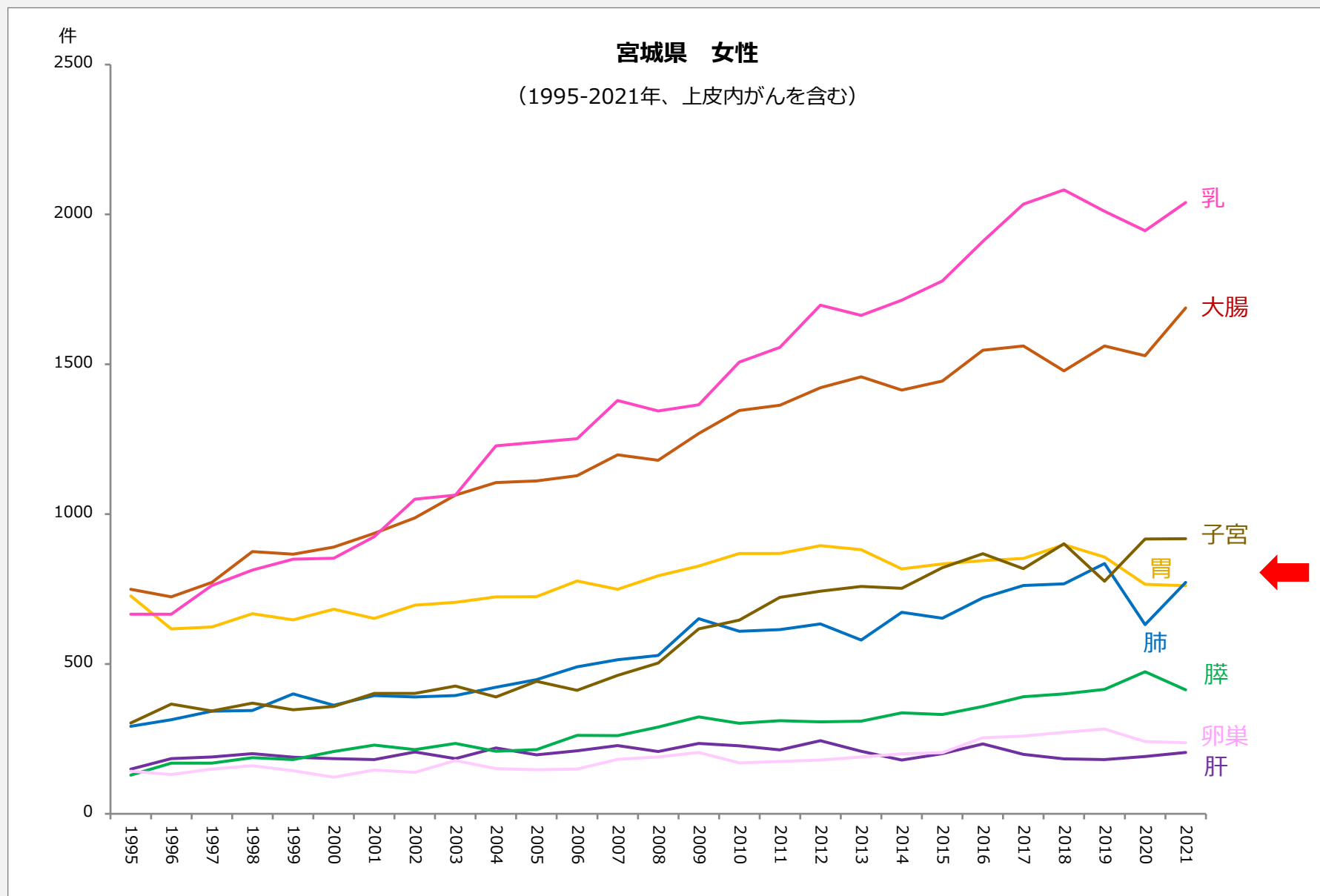
国立がん研究センターがん情報サービス
「がん統計」（全国がん登録）

(余 白)

部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・男性）

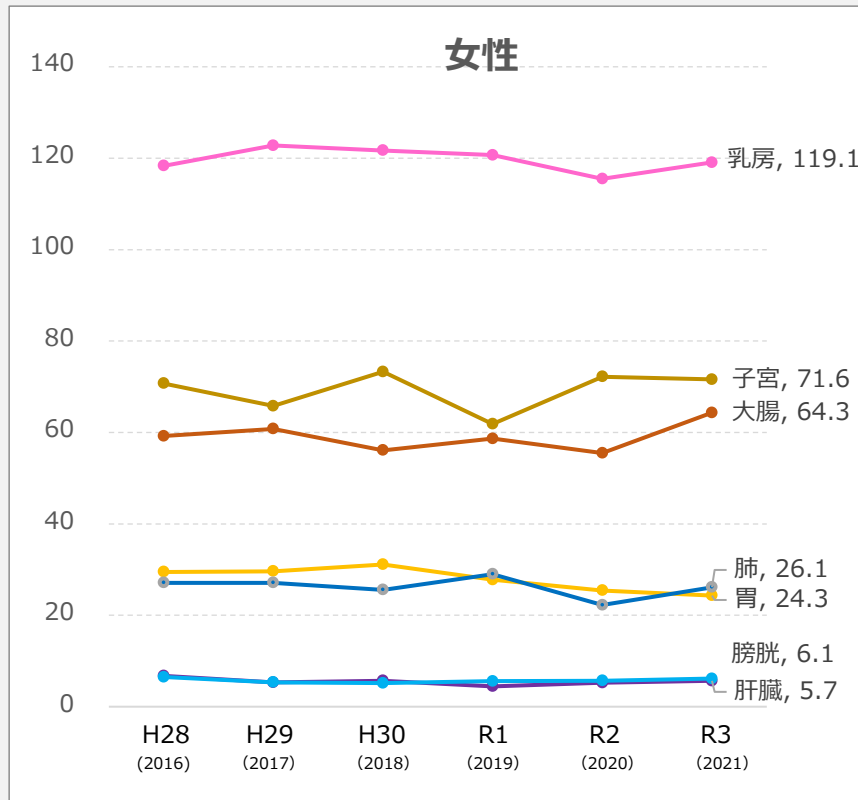
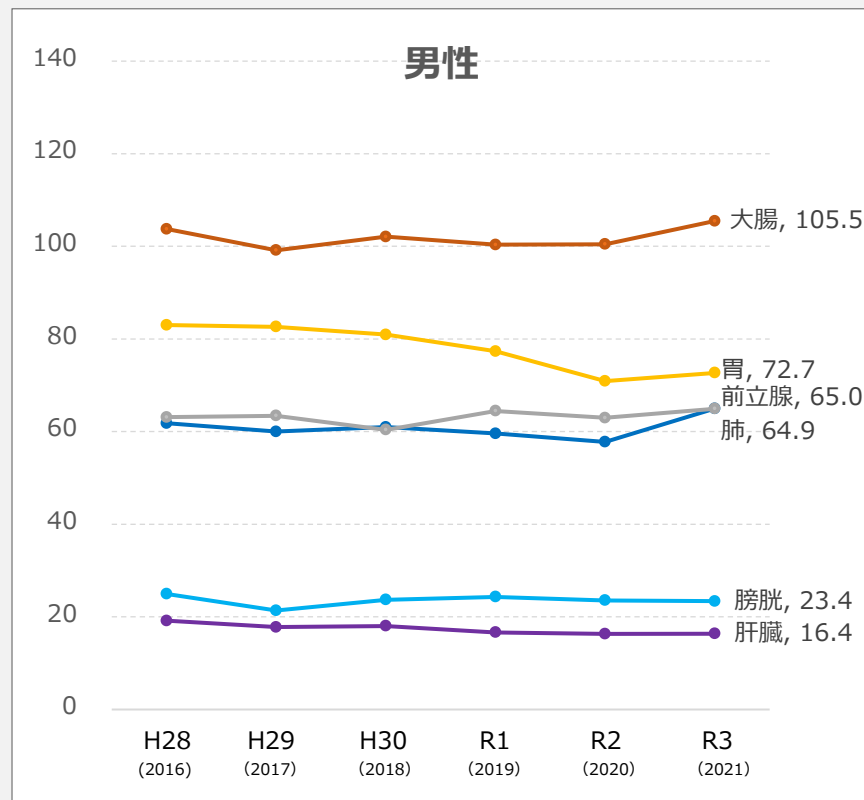


部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・女性）



主な部位別 年齢調整罹患率の年次推移 男女別（宮城県）

部位別 年齢調整罹患率（人口10万人対）（男女別）、宮城県



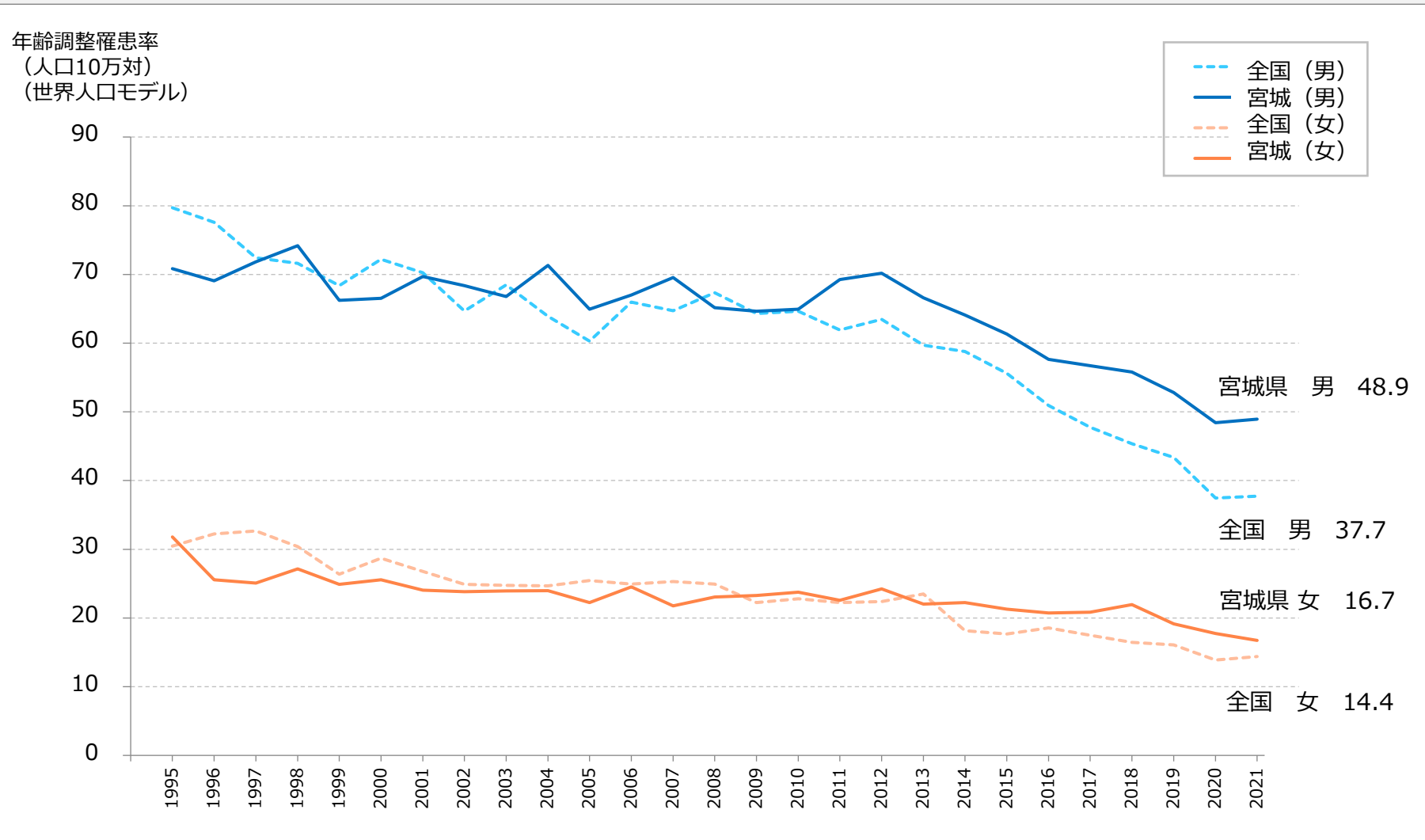
男性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	83.0	82.6	80.9	77.3	70.9	72.7	55.5
肝臓	19.2	17.8	18.0	16.6	16.3	16.4	17.2
前立腺	61.8	60.0	61.0	59.6	57.8	65.0	67.9
肺	63.1	63.4	60.4	64.5	63.0	64.9	60.6
膀胱	25.0	21.4	23.7	24.3	23.6	23.4	25.4
大腸	103.7	99.2	102.1	100.4	100.5	105.5	95.2

女性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	29.5	29.6	31.1	27.8	25.4	24.3	20.7
肝臓	6.7	5.3	5.7	4.4	5.2	5.7	5.4
肺	27.1	27.1	25.6	29.0	22.2	26.1	26.9
乳房	118.3	122.8	121.7	120.7	115.5	119.1	117.5
子宮	70.7	65.8	73.3	61.8	72.2	71.6	81.9
膀胱	6.5	5.3	5.2	5.6	5.7	6.1	5.4
大腸	59.2	60.8	56.1	58.6	55.5	64.3	57.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
（昭和60年日本人モデル人口）

胃がん 年齢調整罹患率の推移 (全国・宮城県)

胃がん 年齢調整罹患率 年次推移 (1995-2021, 男女別)



出典 全 国 : 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録・地域がん登録全国実測値・高精度地域実測値・全国推計値)

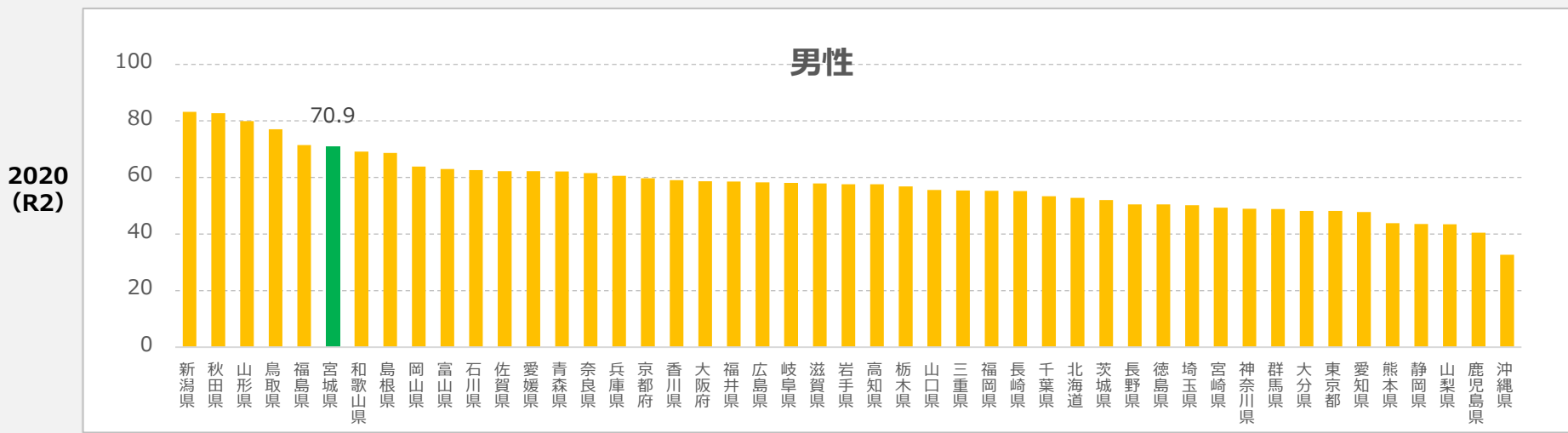
宮城県 : 宮城県がん登録情報(宮城県がん登録室集計・再集計値)

注意 上記グラフで、前ページの年齢調整死亡率の値と異なる理由は、世界人口モデルで計算しているため(長期的な傾向を把握するため)

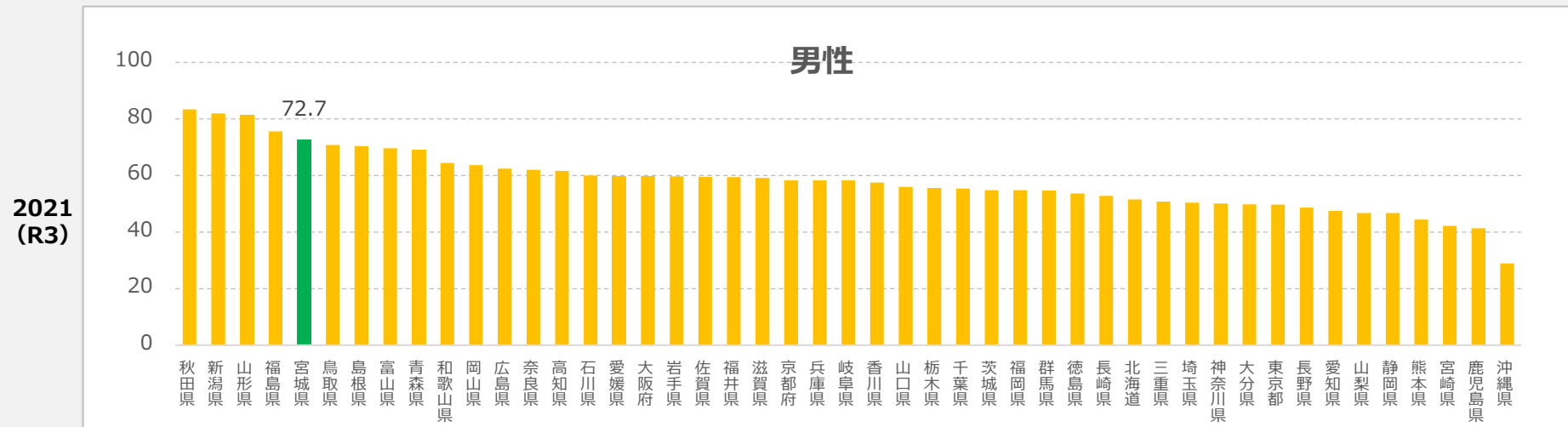
胃がん 年齢調整罹患率（男性） 都道府県別

2020（R2）年（胃がん 年齢調整罹患率）

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）



2021（R3）年（胃がん 年齢調整罹患率）



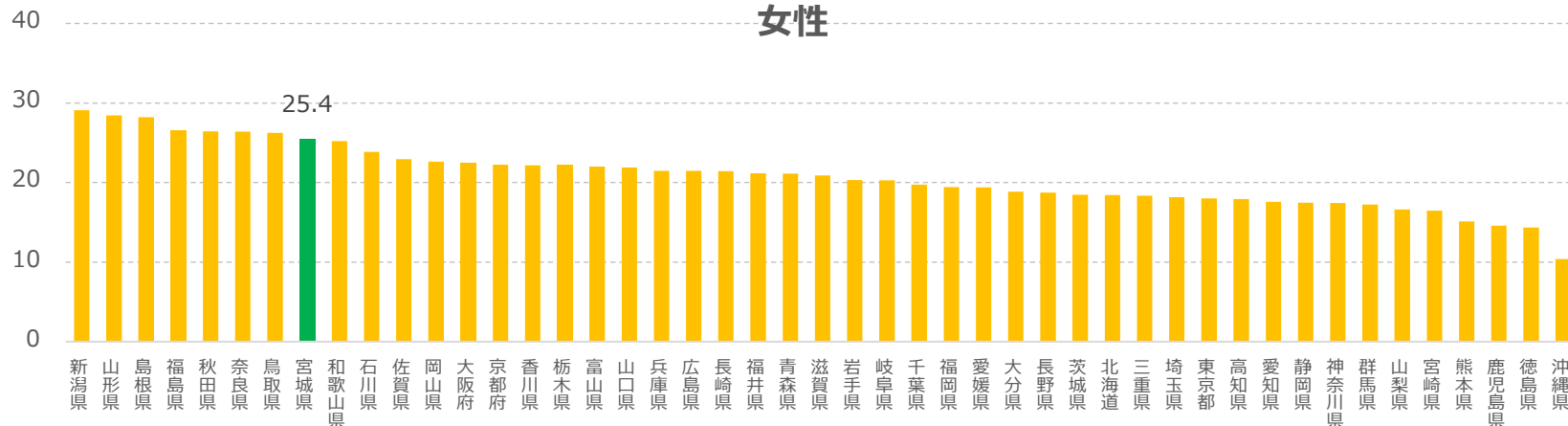
胃がん 年齢調整罹患率（女性） 都道府県別

2020（R2）年（胃がん 年齢調整罹患率）

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

2020
（R2）

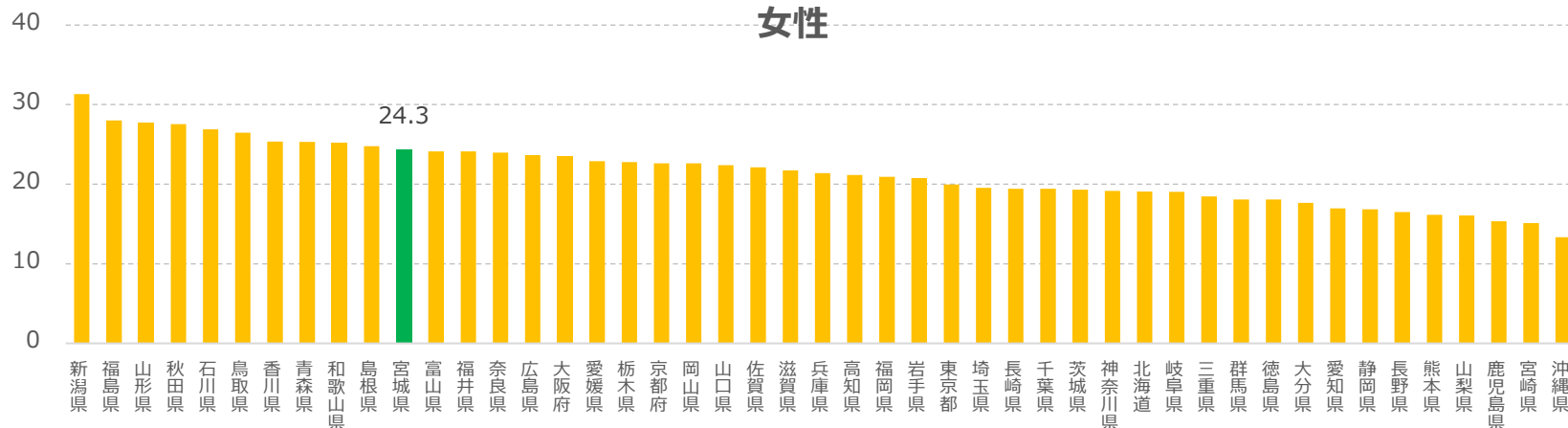
女性



2021（R3）年（胃がん 年齢調整罹患率）

2021
（R3）

女性

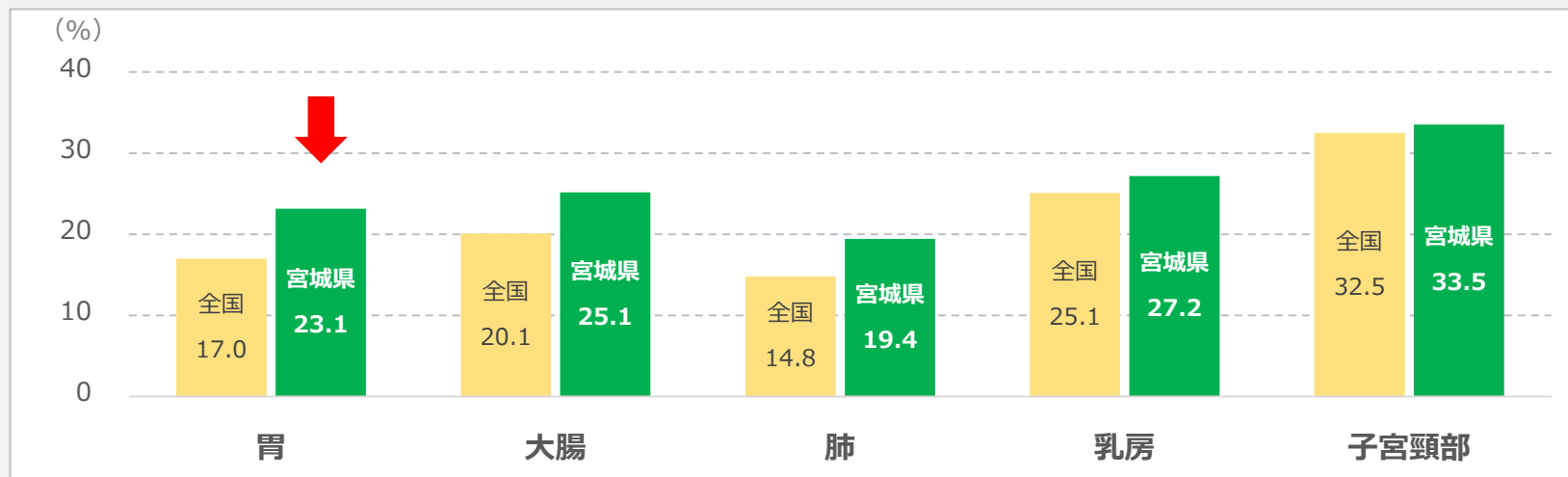


がん検診発見割合（全国・宮城県）

2020（R2）年（全国・宮城県，男女計）

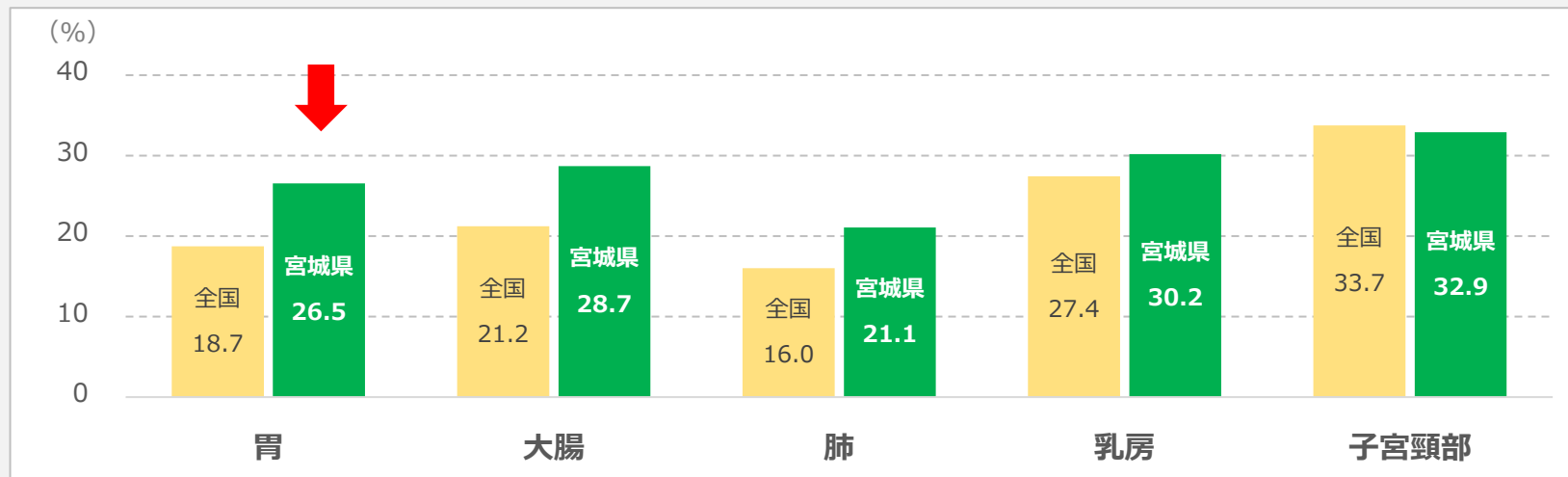
（上皮内がんを含む DCO：死亡情報のみで登録された症例を除く）

2020
(R2)



2021（R3）年（全国・宮城県，男女計）

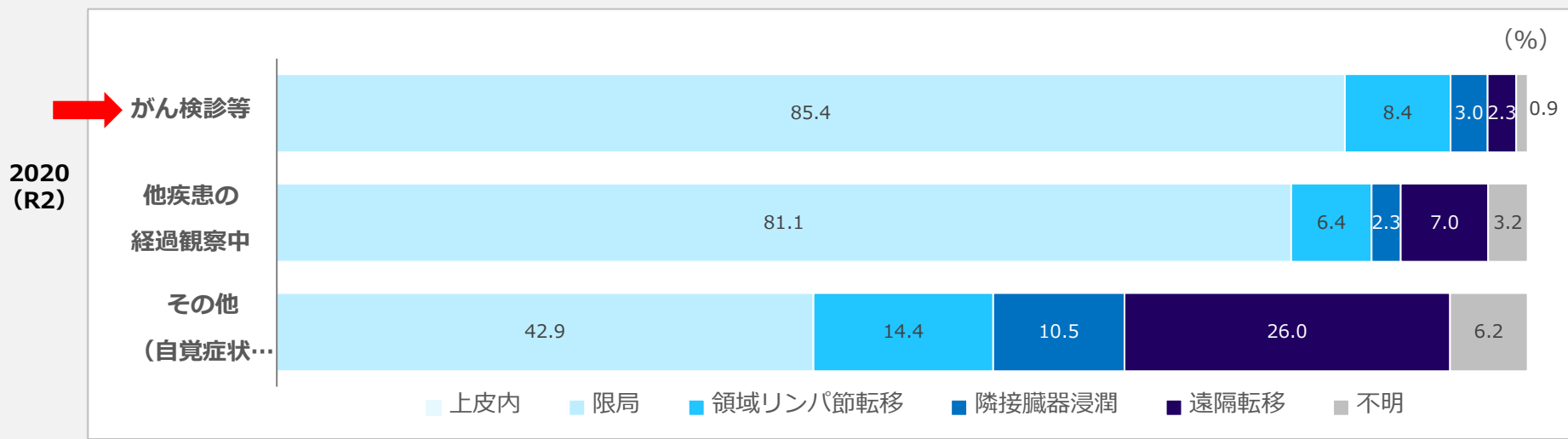
2021
(R3)



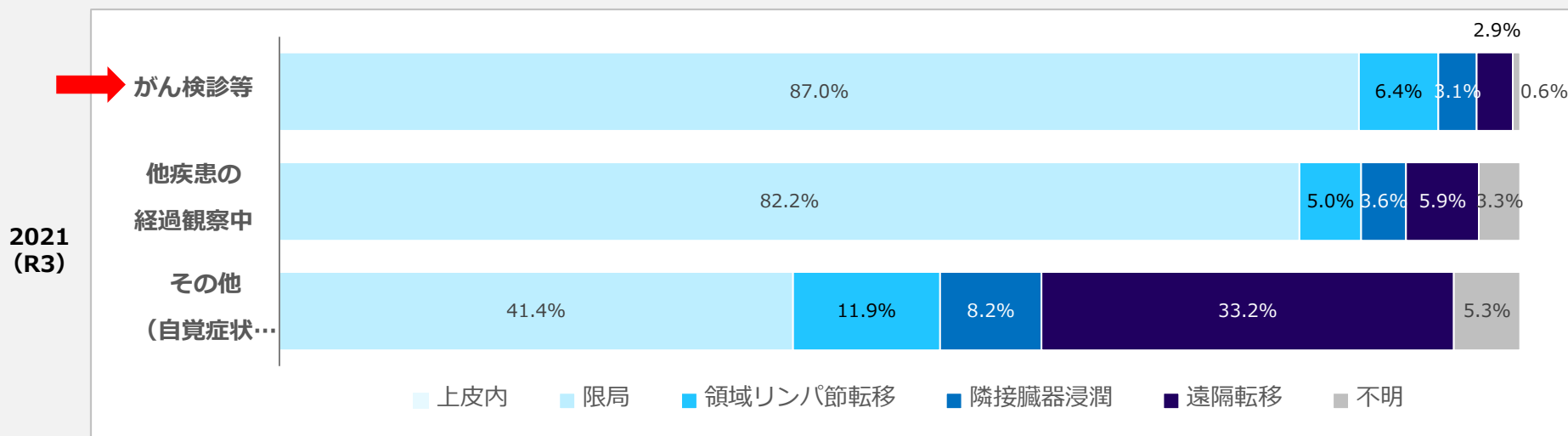
(余 白)

胃がんの発見経緯と進展度 男性（宮城県）

2020（R2）年（胃がん 宮城県，男性）

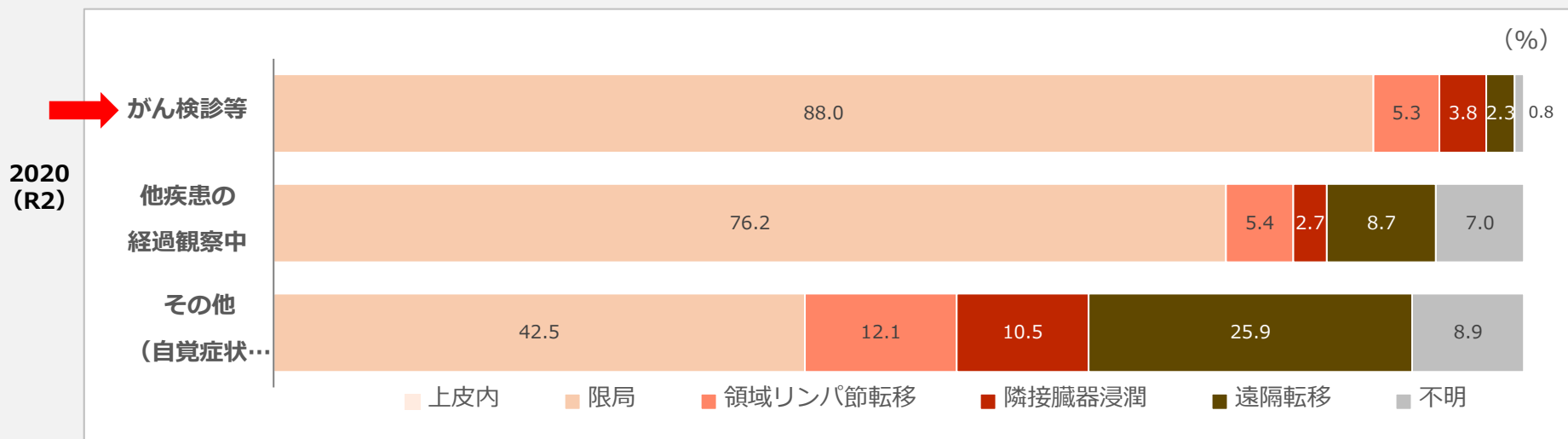


2021（R3）年（胃がん 宮城県，男性）

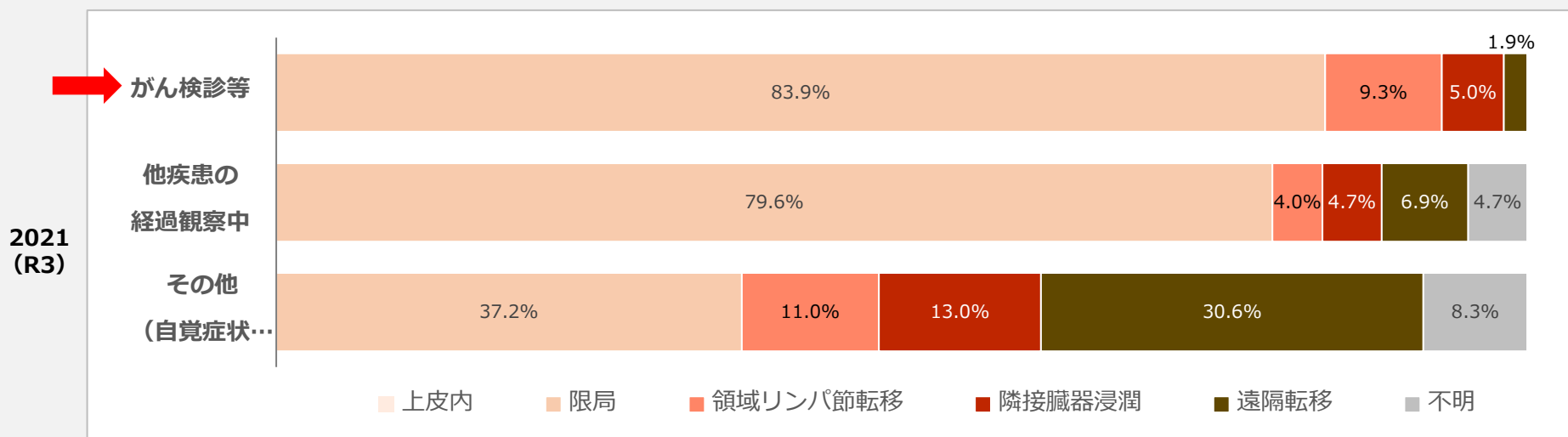


胃がんの発見経緯と進展度 女性（宮城県）

2020（R2）年（胃がん 宮城県，女性）

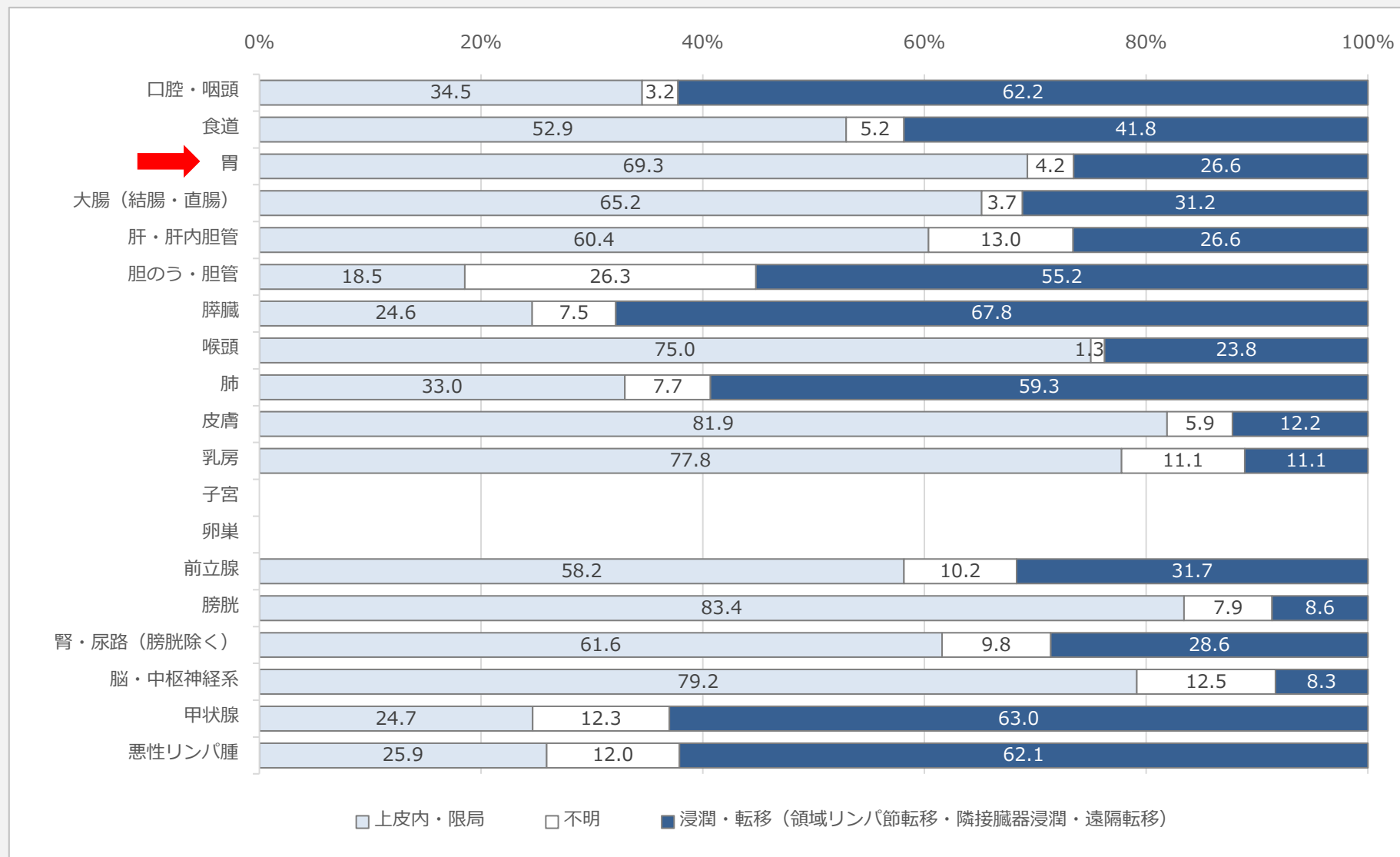


2021（R3）年（胃がん 宮城県，女性）



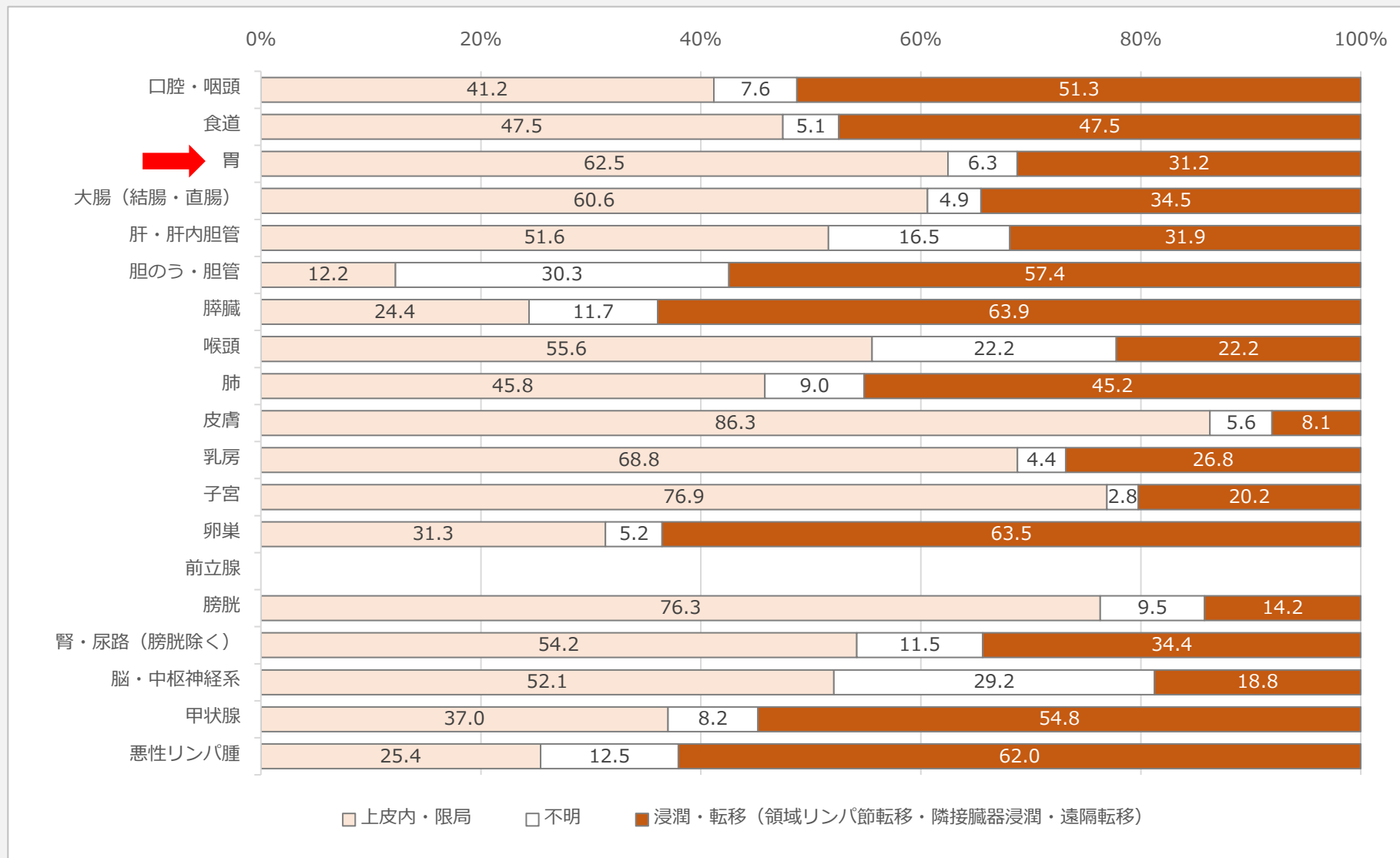
部位別 進展度（男性）

がんが発見されたときの進み具合（2021（R3），宮城県，男性）



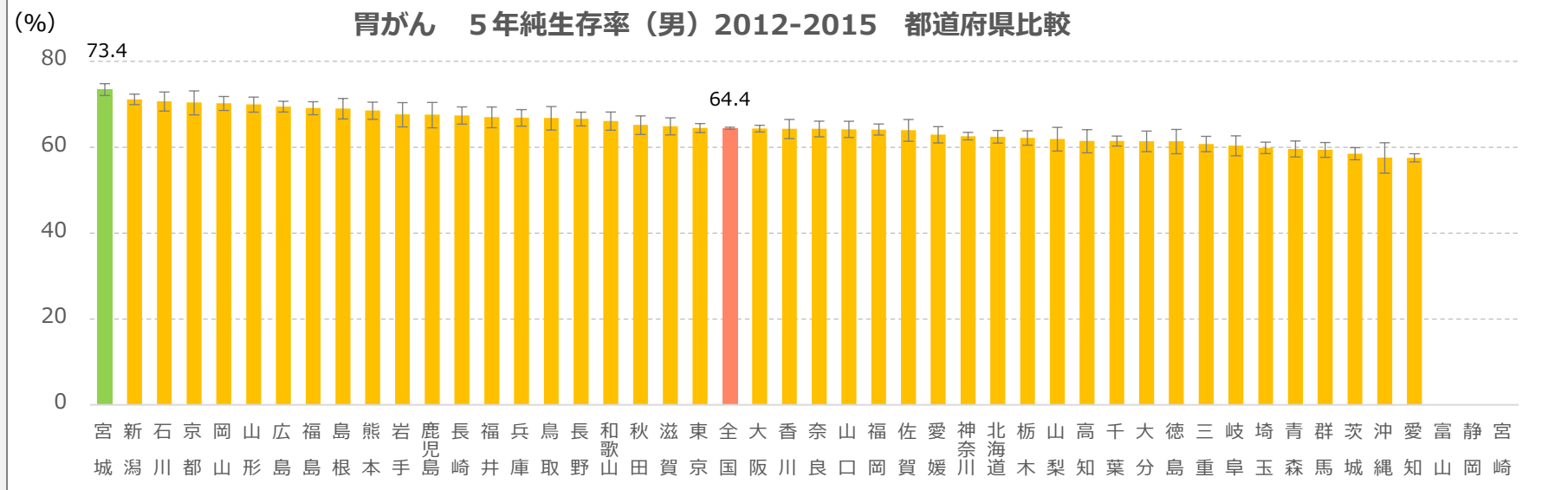
部位別 進展度（女性）

がんが発見されたときの進み具合（2021（R3），宮城県，女性）

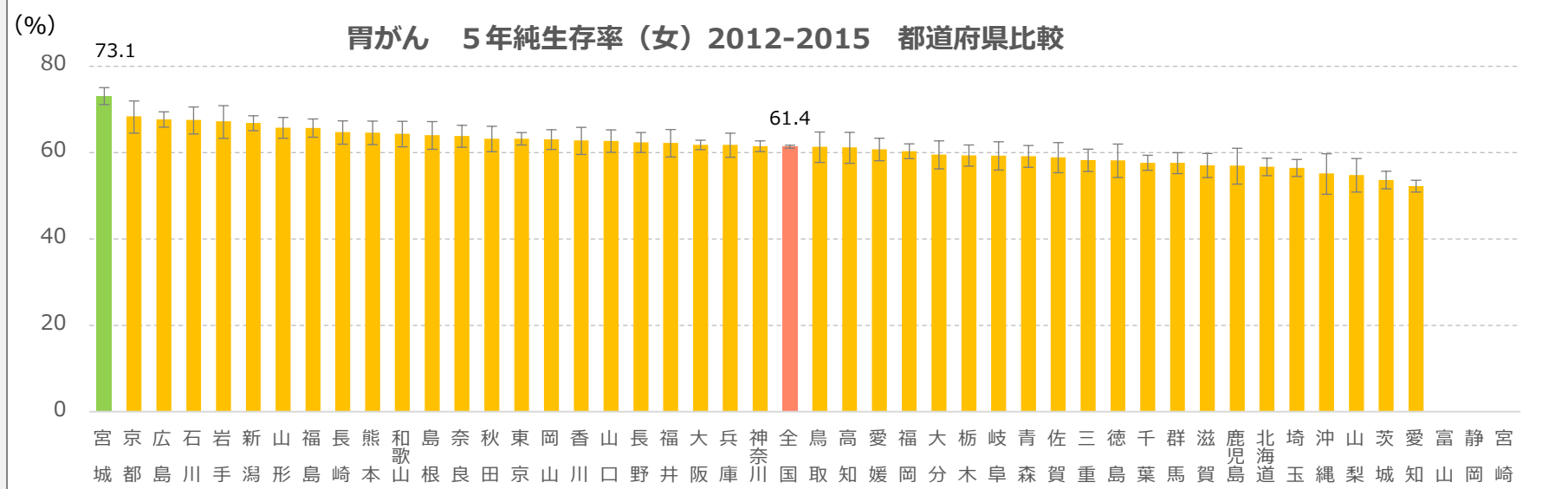


胃がん 5年純生存率（男性）都道府県順位

男性



女性



出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

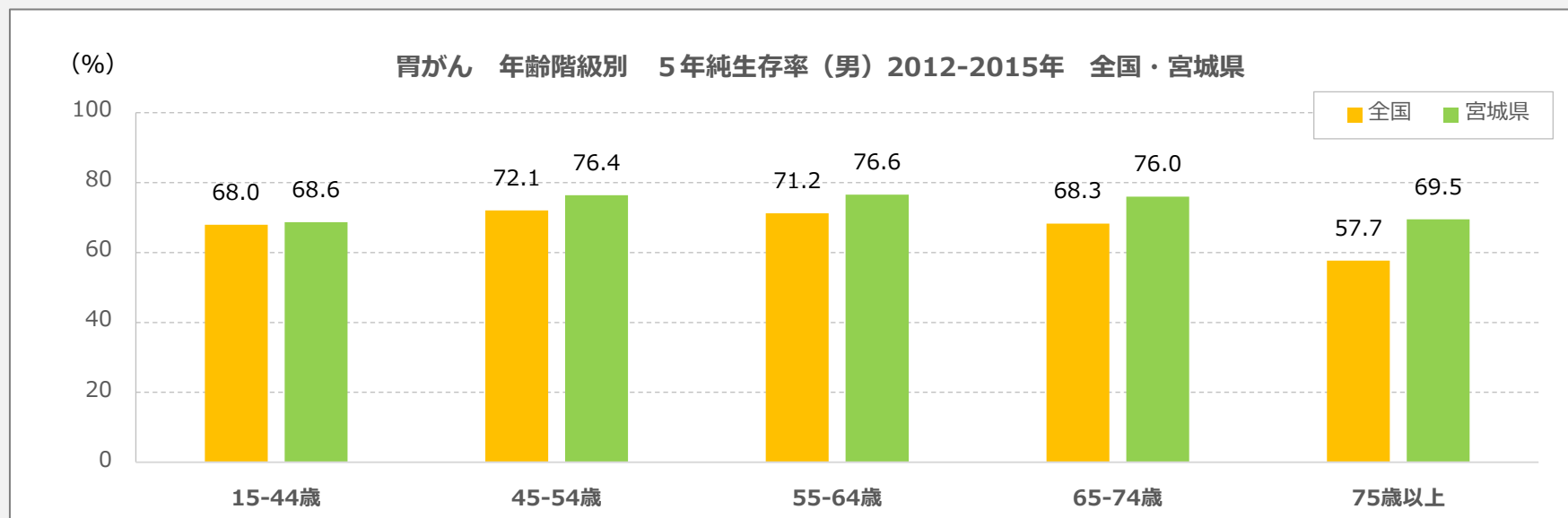
表42. 年齢調整5年純生存率（%）：都道府県別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

参考：集計対象者数（男性） 全国：256,276、宮城県：7,584

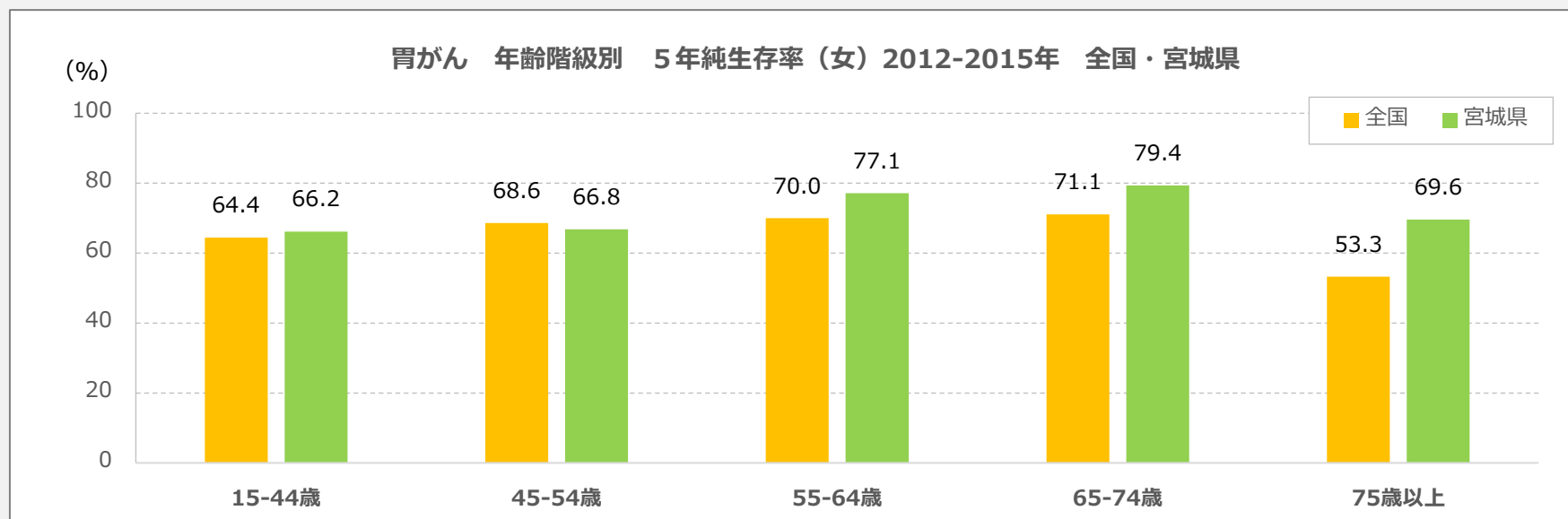
（富山・静岡・宮崎はデータなし）

胃がん 5年純生存率 年齢階級別（全国・宮城）

男性



女性

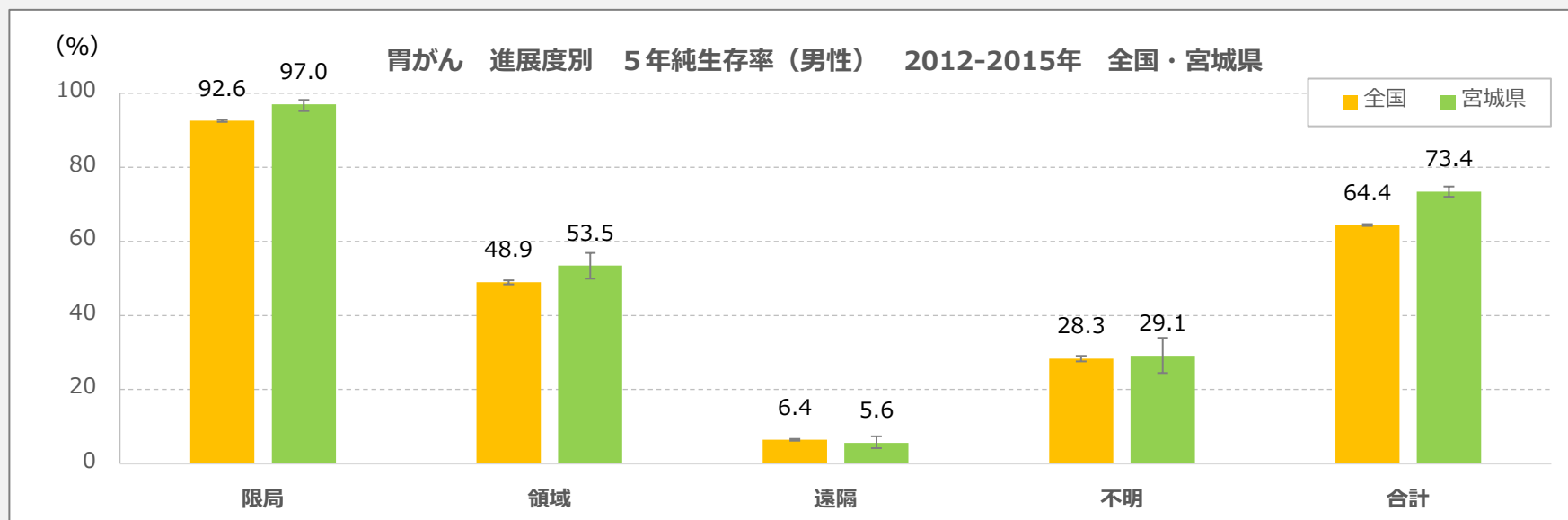


出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

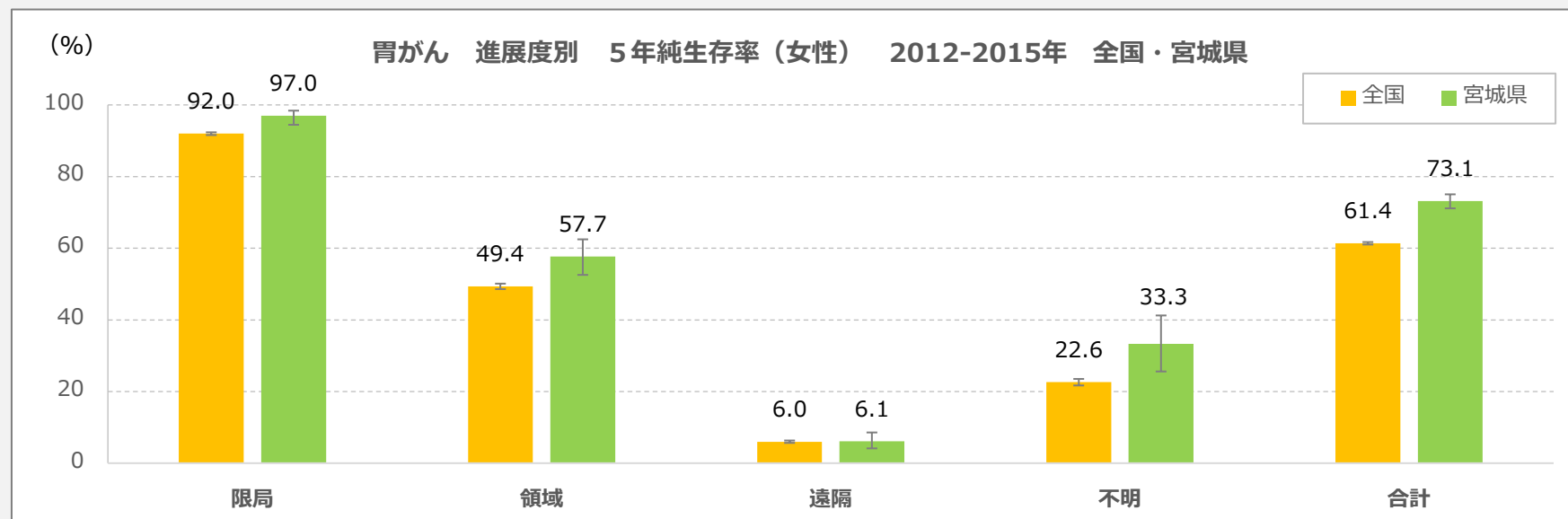
表14. 5年純生存率（%）：主要部位別、性別、年齢階級別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

胃がん 5年純生存率 進展度別（全国・宮城）

男性



女性

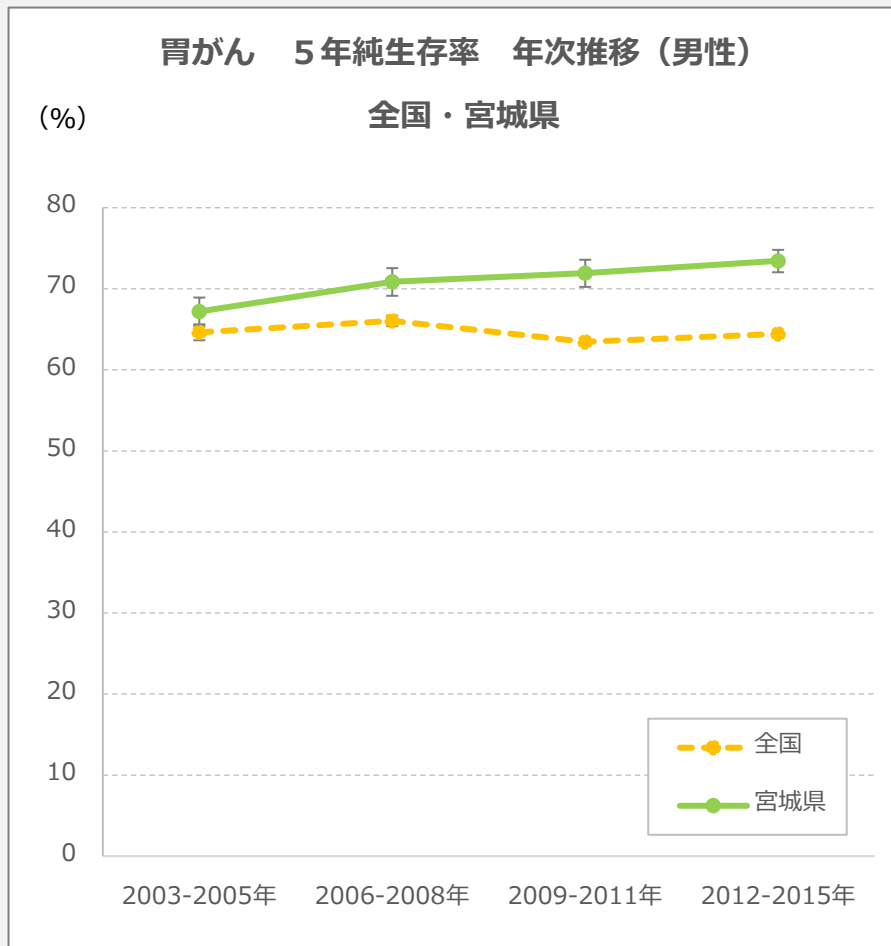


出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

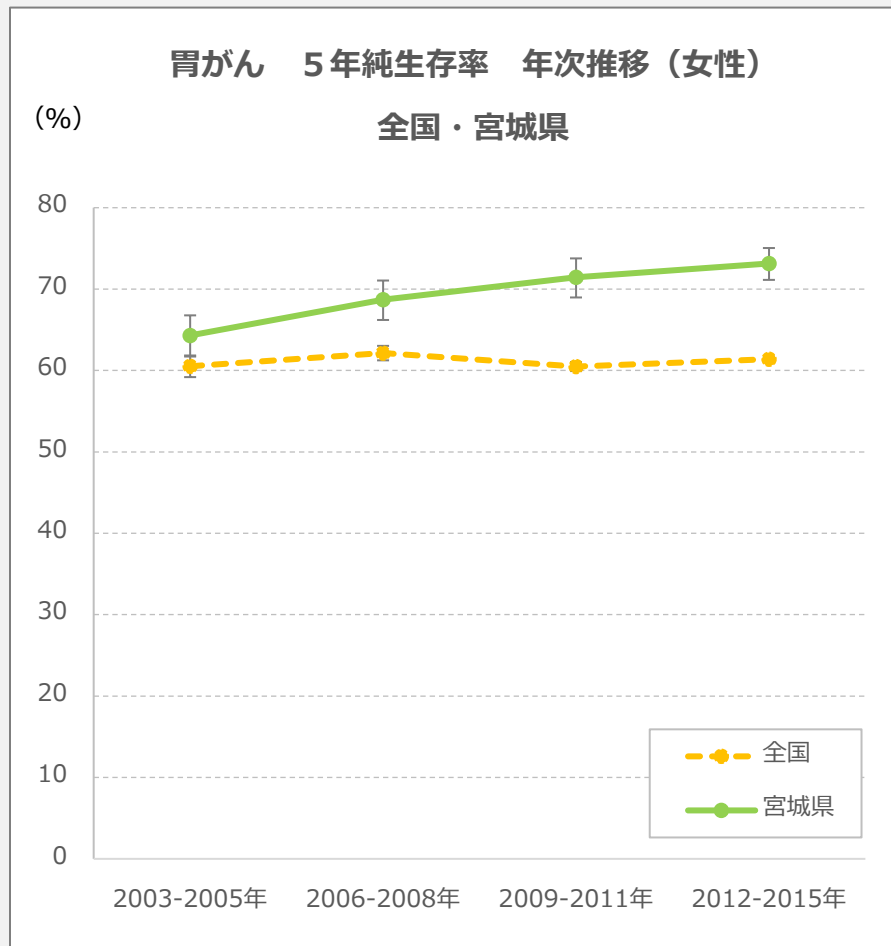
表13. 5年純生存率（%）：主要部位別、性別、進展度・総合別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

胃がん 5年純生存率 年次推移（全国・宮城）

男性



女性



	2003-2005年	2006-2008年	2009-2011年	2012-2015年
全国	64.6	66.0	63.5	64.4
宮城県	67.2	70.9	71.9	73.4

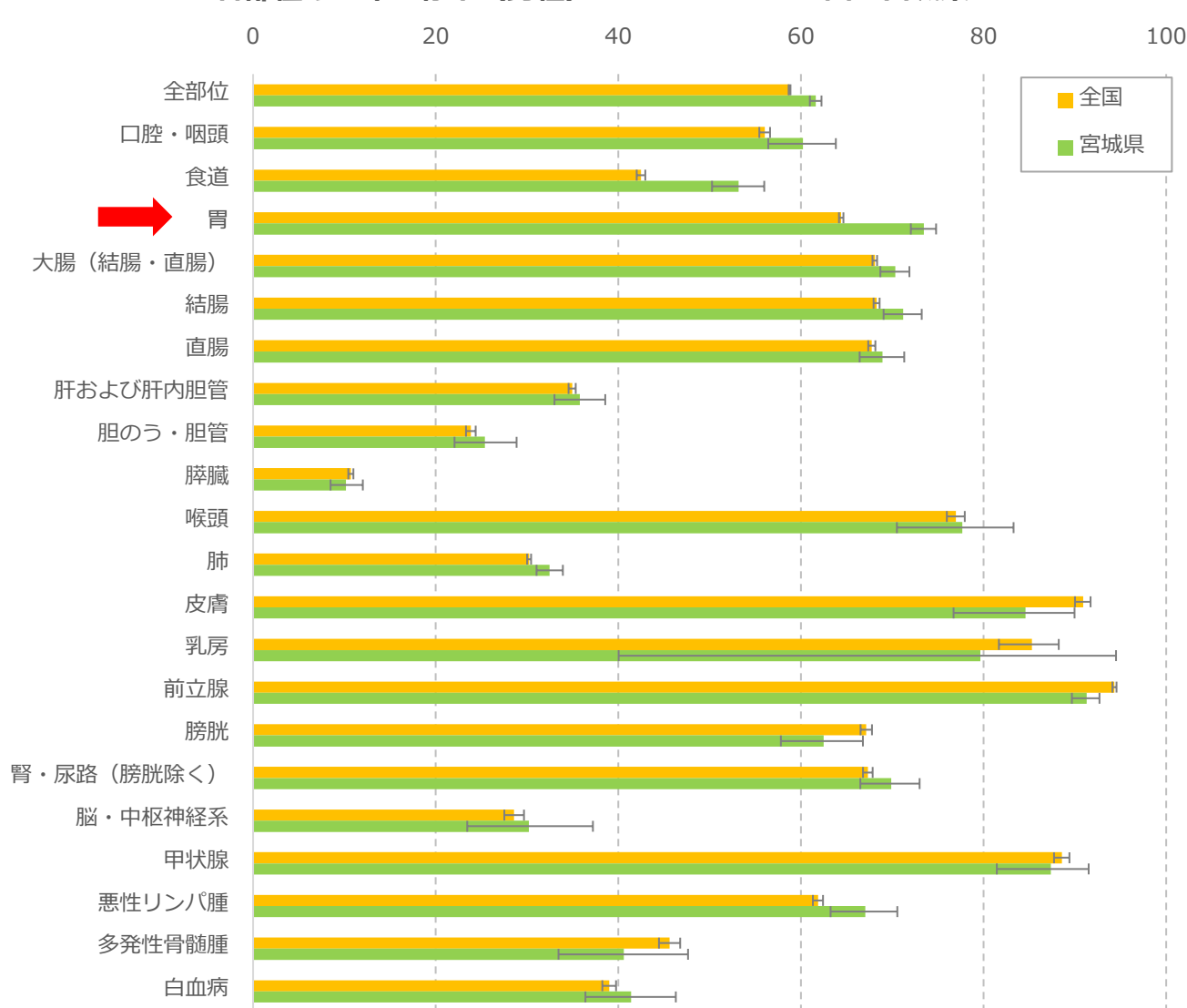
	2003-2005年	2006-2008年	2009-2011年	2012-2015年
全国	60.5	62.1	60.5	61.4
宮城県	64.3	68.7	71.5	73.1

出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）： 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

各部位の5年純生存率 男性（全国・宮城）

各部位の5年生存率（男性）2012-2015 全国・宮城県



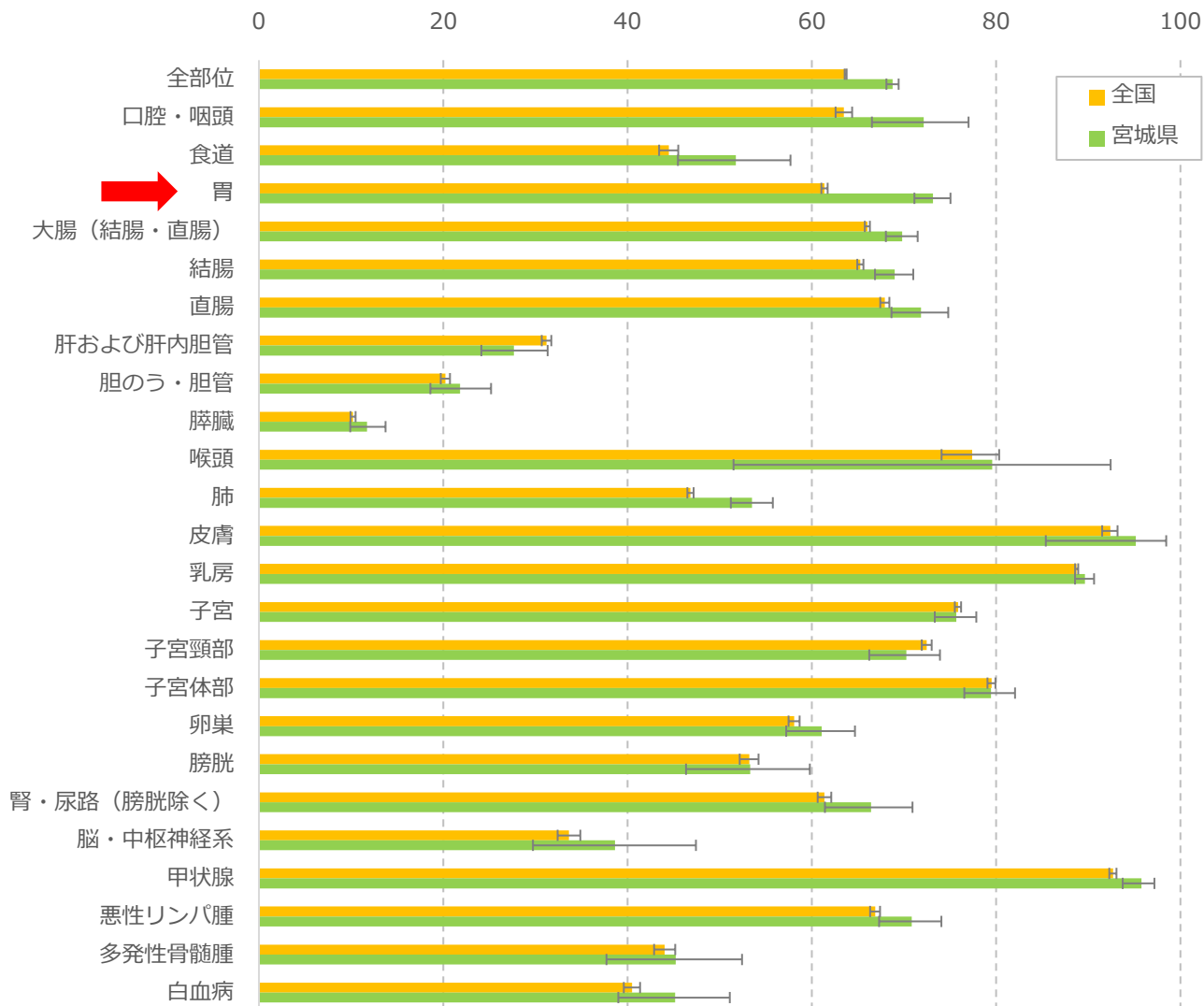
男性	全国	宮城	全国差
全部位	58.8	61.6	2.9
口腔・咽頭	56.0	60.2	4.2
食道	42.5	53.2	10.7
胃	64.4	73.4	9.0
大腸（結腸・直腸）	68.1	70.3	2.2
結腸	68.3	71.2	2.9
直腸	67.8	68.9	1.2
肝および肝内胆管	34.9	35.8	0.8
胆のう・胆管	23.8	25.4	1.6
膵臓	10.7	10.2	▲ 0.5
喉頭	77.0	77.7	0.7
肺	30.2	32.5	2.3
皮膚	90.9	84.6	▲ 6.3
乳房	85.3	79.7	▲ 5.6
前立腺	94.3	91.3	▲ 3.0
膀胱	67.2	62.5	▲ 4.7
腎・尿路（膀胱除く）	67.3	69.9	2.6
脳・中枢神経系	28.6	30.2	1.6
甲状腺	88.6	87.4	▲ 1.2
悪性リンパ腫	61.9	67.1	5.2
多発性骨髄腫	45.6	40.6	▲ 5.0
白血病	39.0	41.4	2.4

出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）：2012-2015 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

各部位の5年純生存率 女性（全国・宮城）


各部位の5年生存率（女性）2012-2015 全国・宮城県



女性	全国	宮城	全国差
全部位	63.7	68.8	5.1
口腔・咽頭	63.5	72.2	8.7
食道	44.5	51.8	7.3
胃	61.4	73.1	11.8
大腸（結腸・直腸）	66.0	69.8	3.8
結腸	65.3	69.0	3.7
直腸	67.9	71.9	3.9
肝および肝内胆管	31.2	27.7	▲ 3.5
胆のう・胆管	20.2	21.8	1.6
膵臓	10.2	11.7	1.5
喉頭	77.4	79.6	2.2
肺	46.8	53.5	6.7
皮膚	92.4	95.2	2.8
乳房	88.7	89.6	0.9
子宮	75.9	75.7	▲ 0.2
子宮頸部	72.5	70.3	▲ 2.2
子宮体部	79.5	79.5	▲ 0.0
卵巣	58.1	61.1	3.0
膀胱	53.2	53.3	0.1
腎・尿路（膀胱除く）	61.4	66.4	5.0
脳・中枢神経系	33.6	38.6	5.0
甲状腺	92.7	95.8	3.1
悪性リンパ腫	66.9	70.8	4.0
多発性骨髄腫	44.0	45.2	1.2
白血病	40.5	45.2	4.7

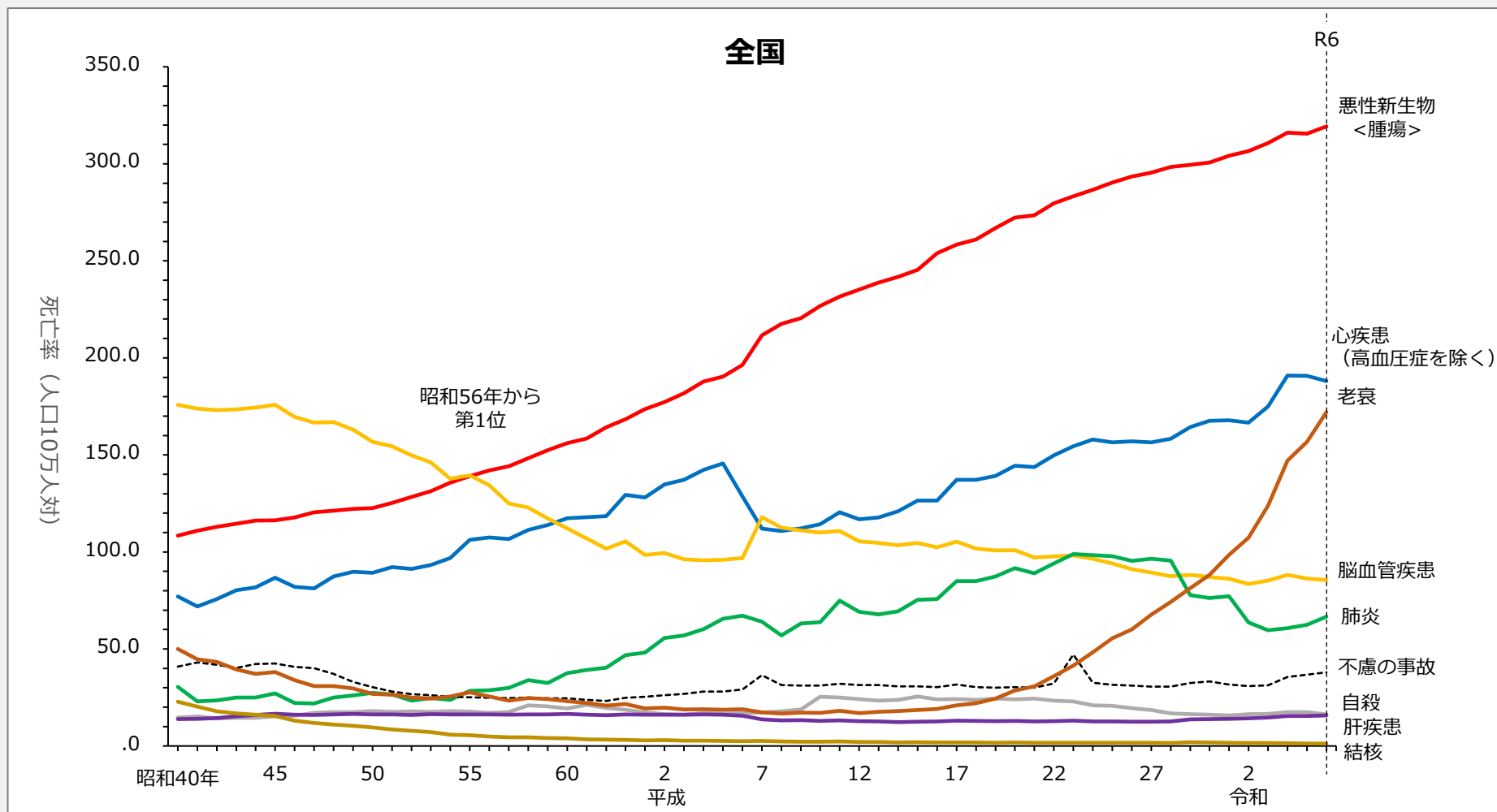
出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）：2012-2015 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

(余 白)

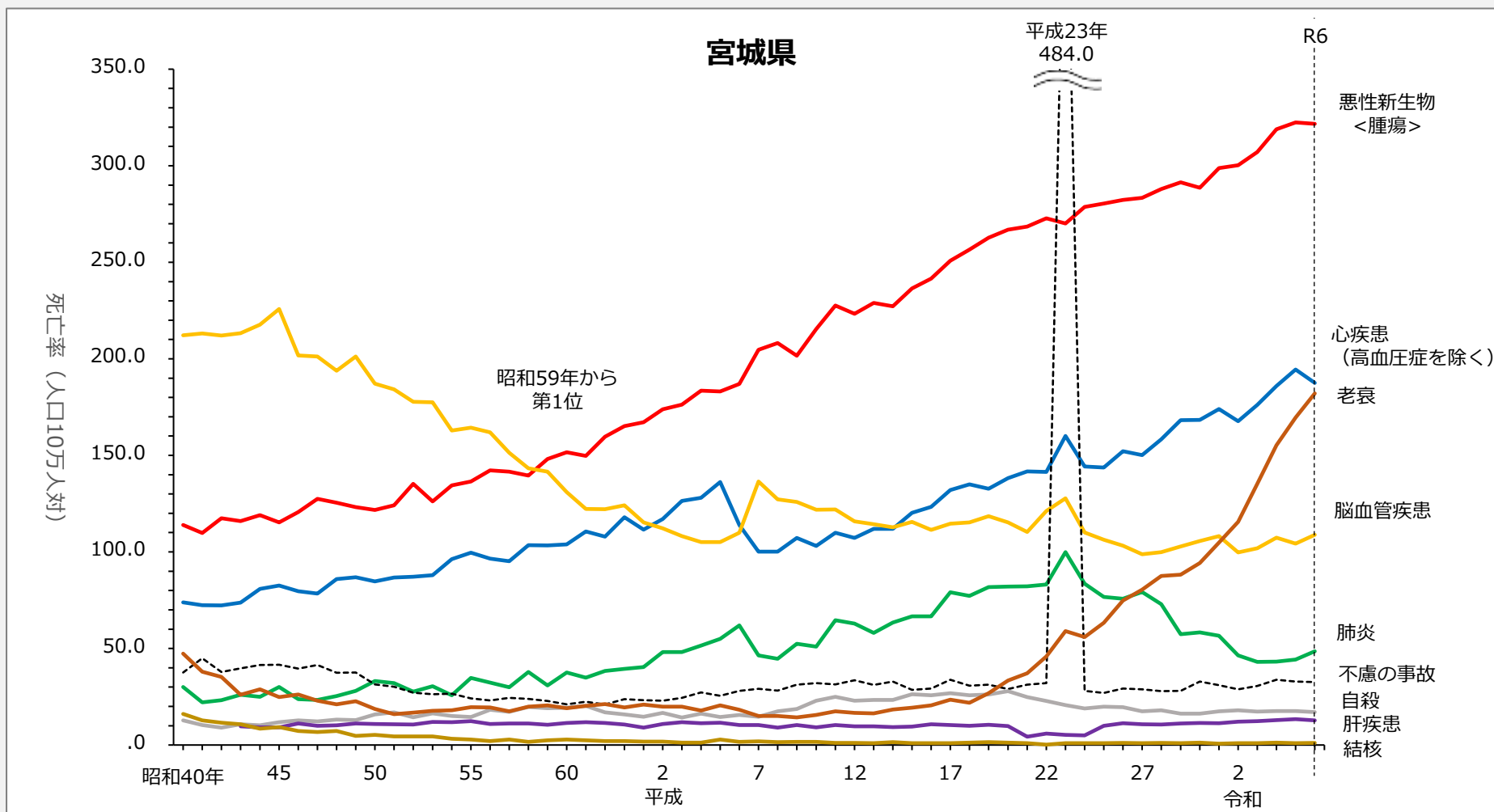
【全国】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	310.7	174.9	123.8	85.2	59.6	31.2	16.5	14.7	1.5
2022 (R4)	316.1	190.9	147.1	88.1	60.7	35.6	17.4	15.5	1.4
2023 (R5)	315.6	190.7	156.7	86.3	62.5	36.7	17.4	15.4	1.3
2024 (R6)	319.3	188.1	172.0	85.5	66.6	38	16.3	15.7	1.2

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

【宮城】 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	307.1	176.2	135.3	101.9	43.1	30.6	17.3	12.3	0.9
2022 (R4)	318.9	185.9	155.3	107.4	43.2	33.8	17.6	12.9	1.2
2023 (R5)	322.4	194.5	169.6	104.2	44.2	32.9	17.6	13.4	0.9
2024 (R6)	321.7	187.5	182.1	108.9	48.6	32.6	17.1	12.8	1.1

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

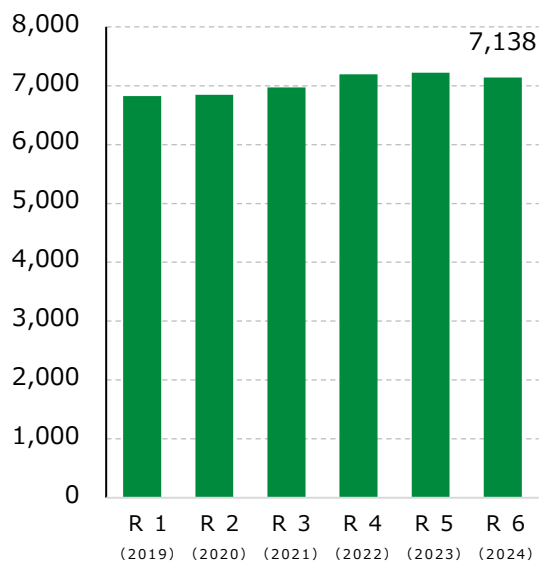
がん死亡数の年次推移 全部位（宮城県）

がん死亡数の推移（宮城県）

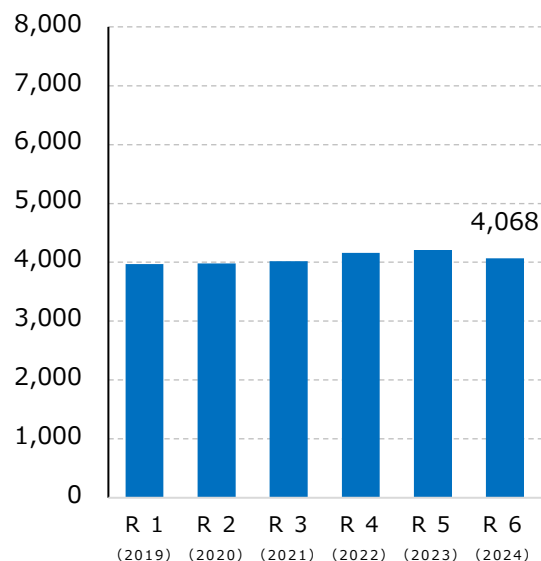
（参考）全国

宮城県	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2024（R6）
計	6,822	6,845	6,969	7,195	7,219	7,138	384,111
男	3,968	3,982	4,017	4,158	4,210	4,068	221,786
女	2,854	2,863	2,952	3,037	3,009	3,070	162,325

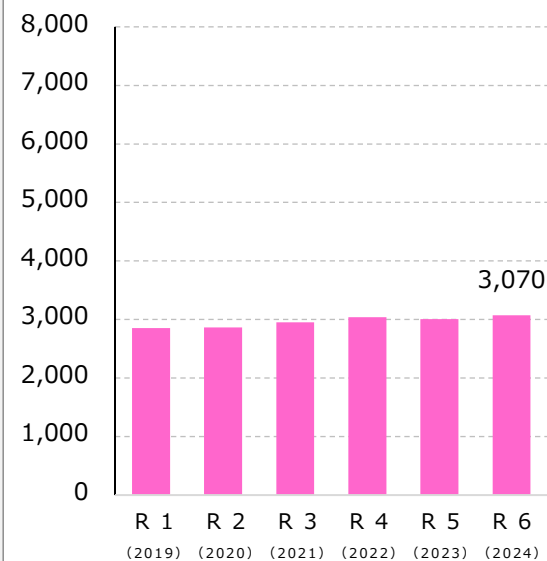
総数（男女計）



男性



女性



主な部位別のがん死亡数の年次推移（宮城県）

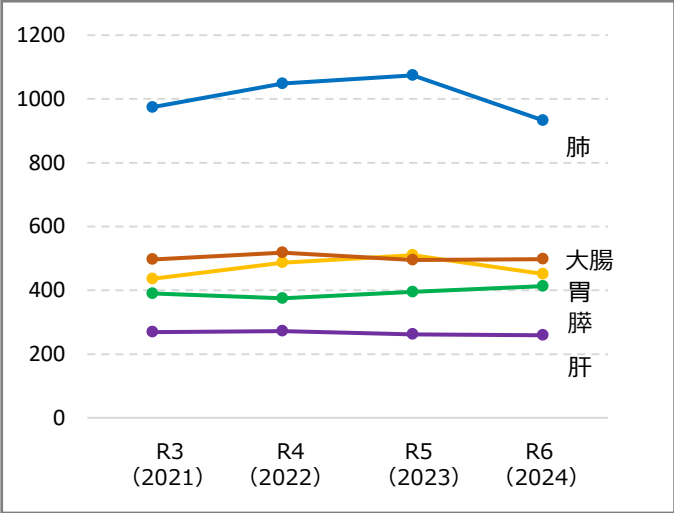
部位別がん死亡数の推移（男）

男	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	436	487	510	451
肺	974	1048	1074	933
肝臓	269	272	262	259
膵臓	390	375	395	413
大腸	497	518	495	498

2024年
部位別がん死亡数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	肺がん	肺がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	胃がん	胃がん
4位	膵臓がん	膵臓がん
5位	肝臓がん	肝臓がん

部位別がん死亡数の推移（男）



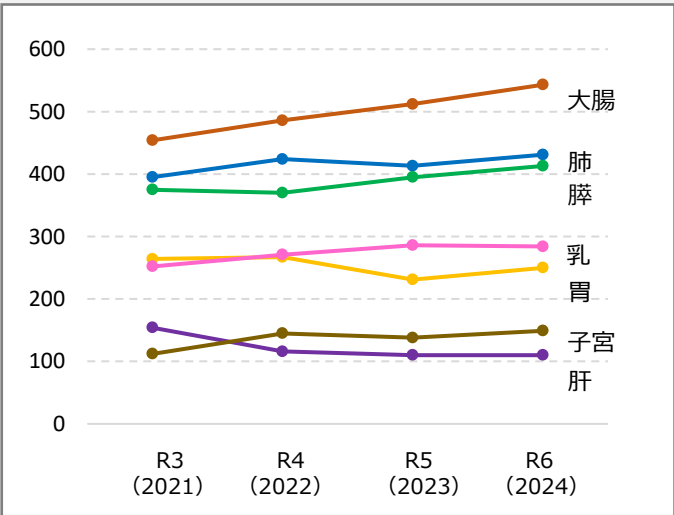
部位別がん死亡数の推移（女）

女	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	264	267	231	250
肺	395	424	413	431
肝臓	154	116	110	110
膵臓	375	370	395	413
大腸	454	486	512	543
子宮	112	145	138	149
乳房	252	271	286	284

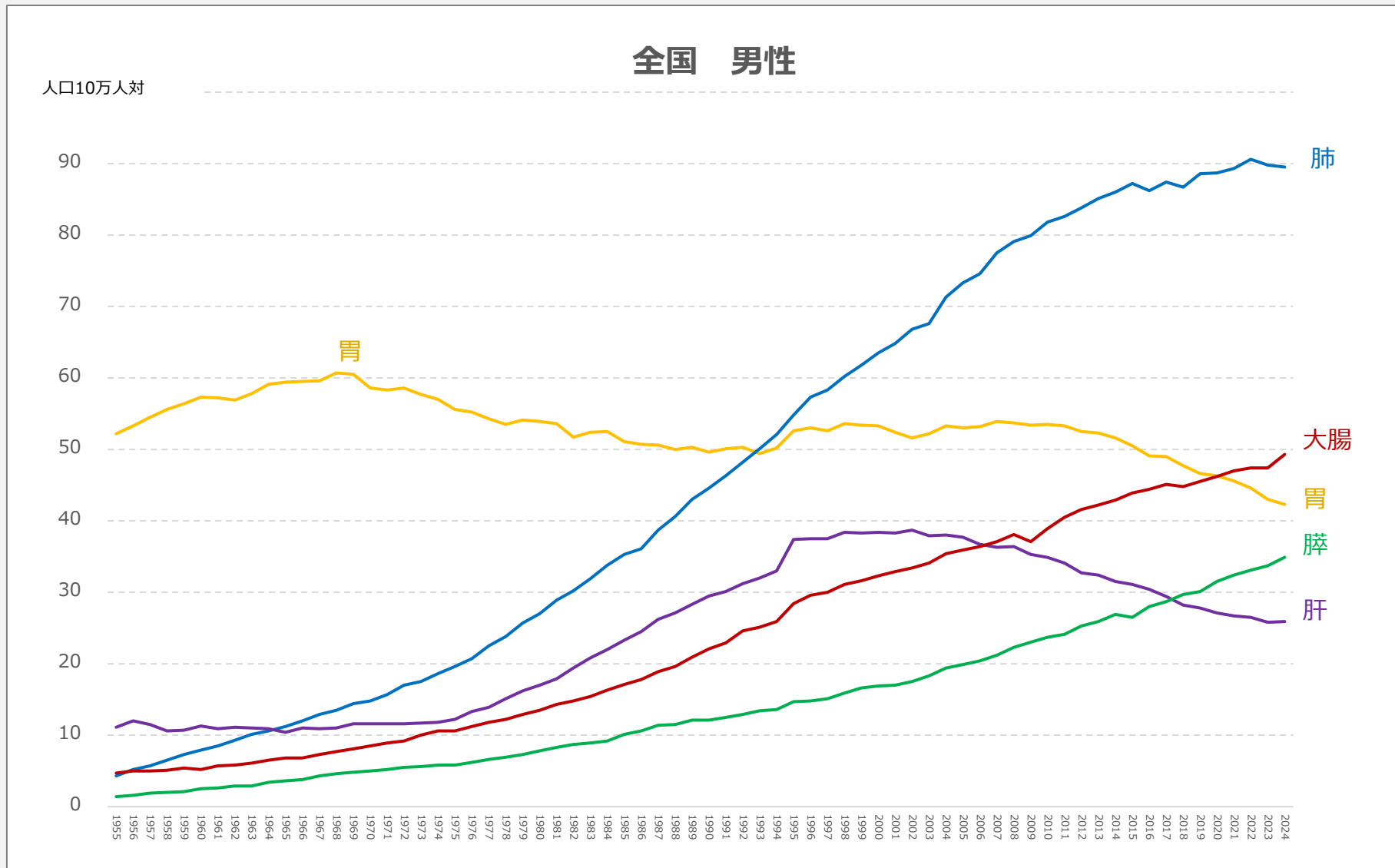
2024年
部位別がん死亡数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	肺がん	肺がん
3位	膵臓がん	膵臓がん
4位	乳がん	乳がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん死亡数の推移（女）

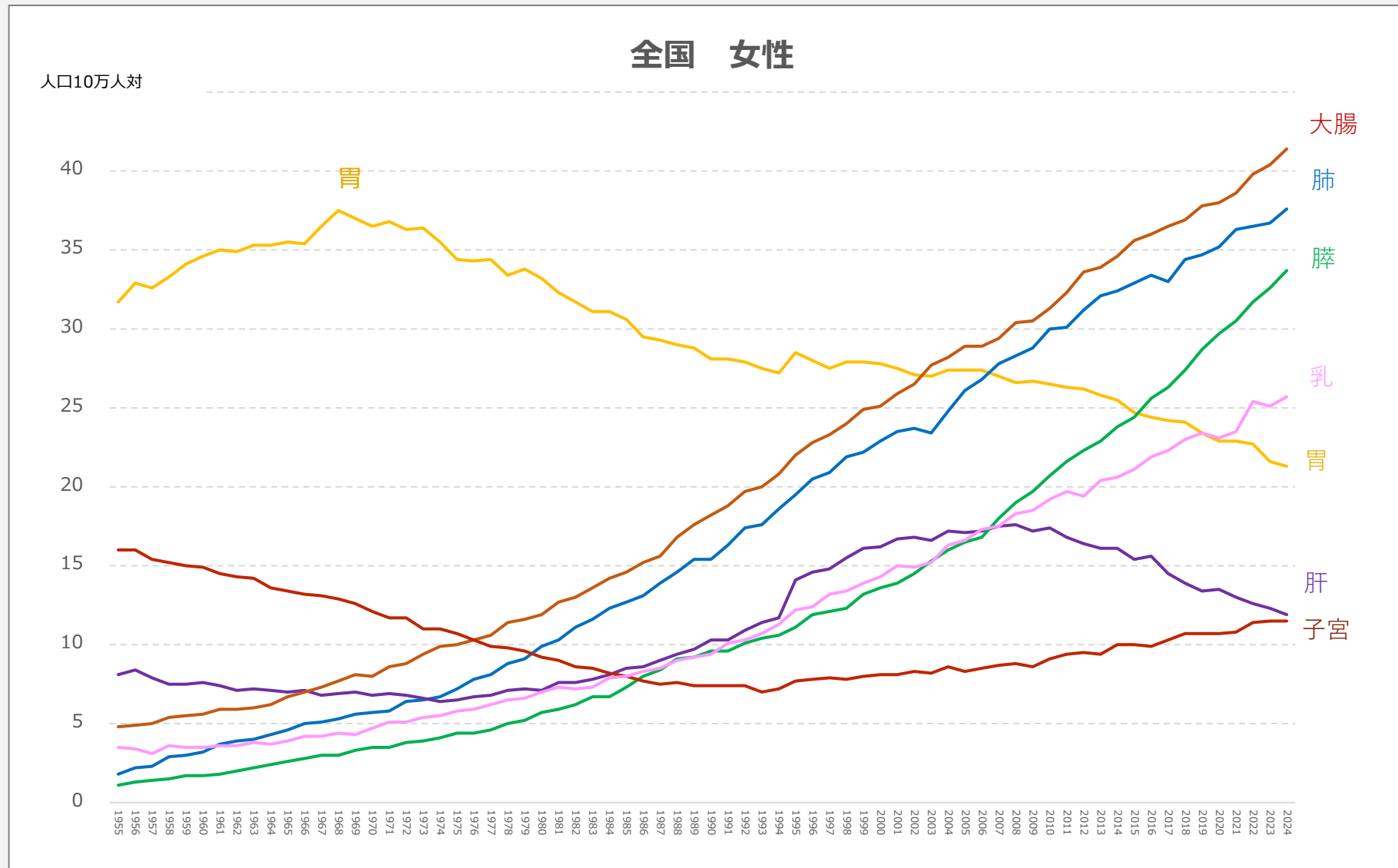


主な部位の死亡率の年次推移 男性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

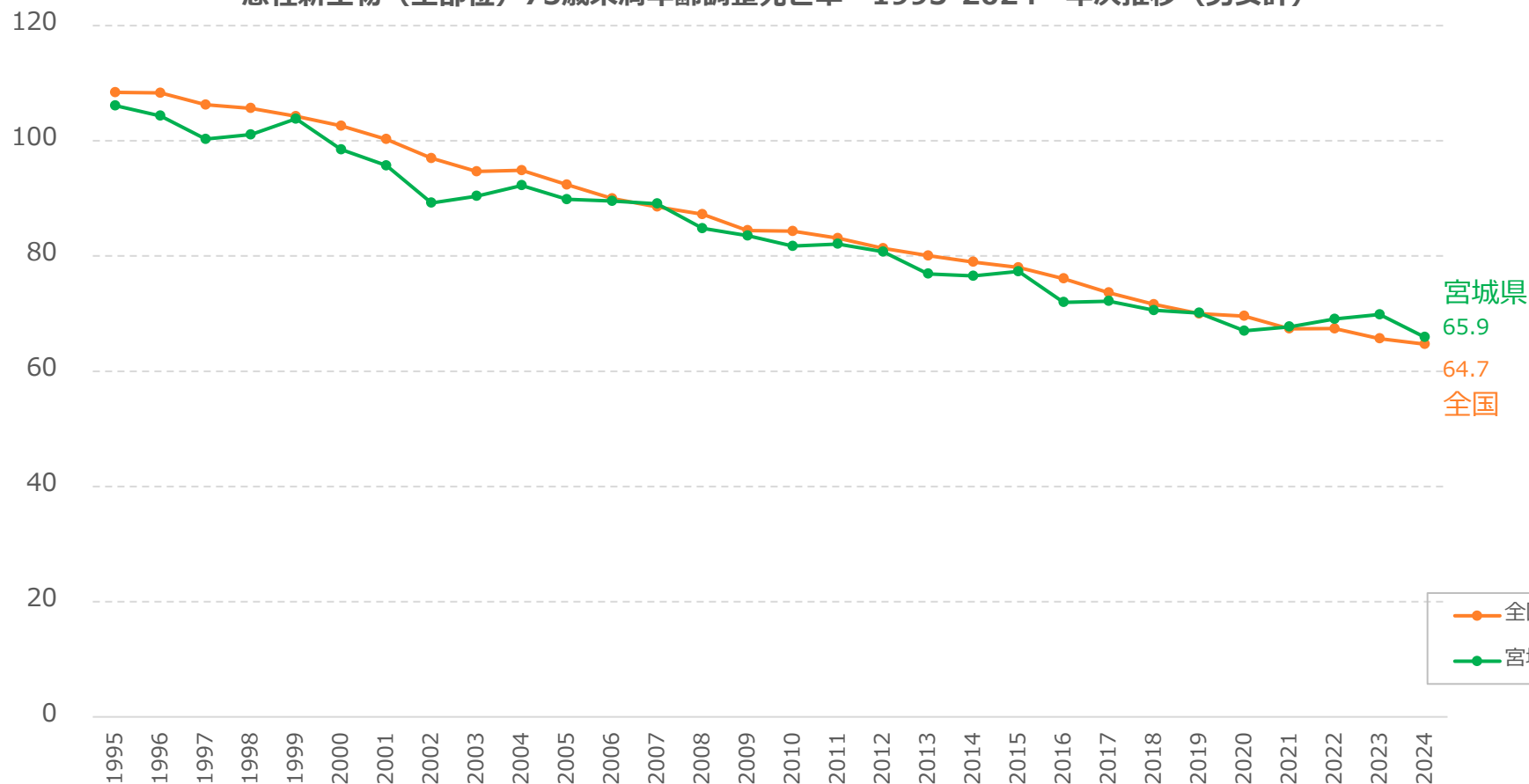
主な部位の死亡率の年次推移 女性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

全部位 年齢調整死亡率の推移（全国・宮城県）

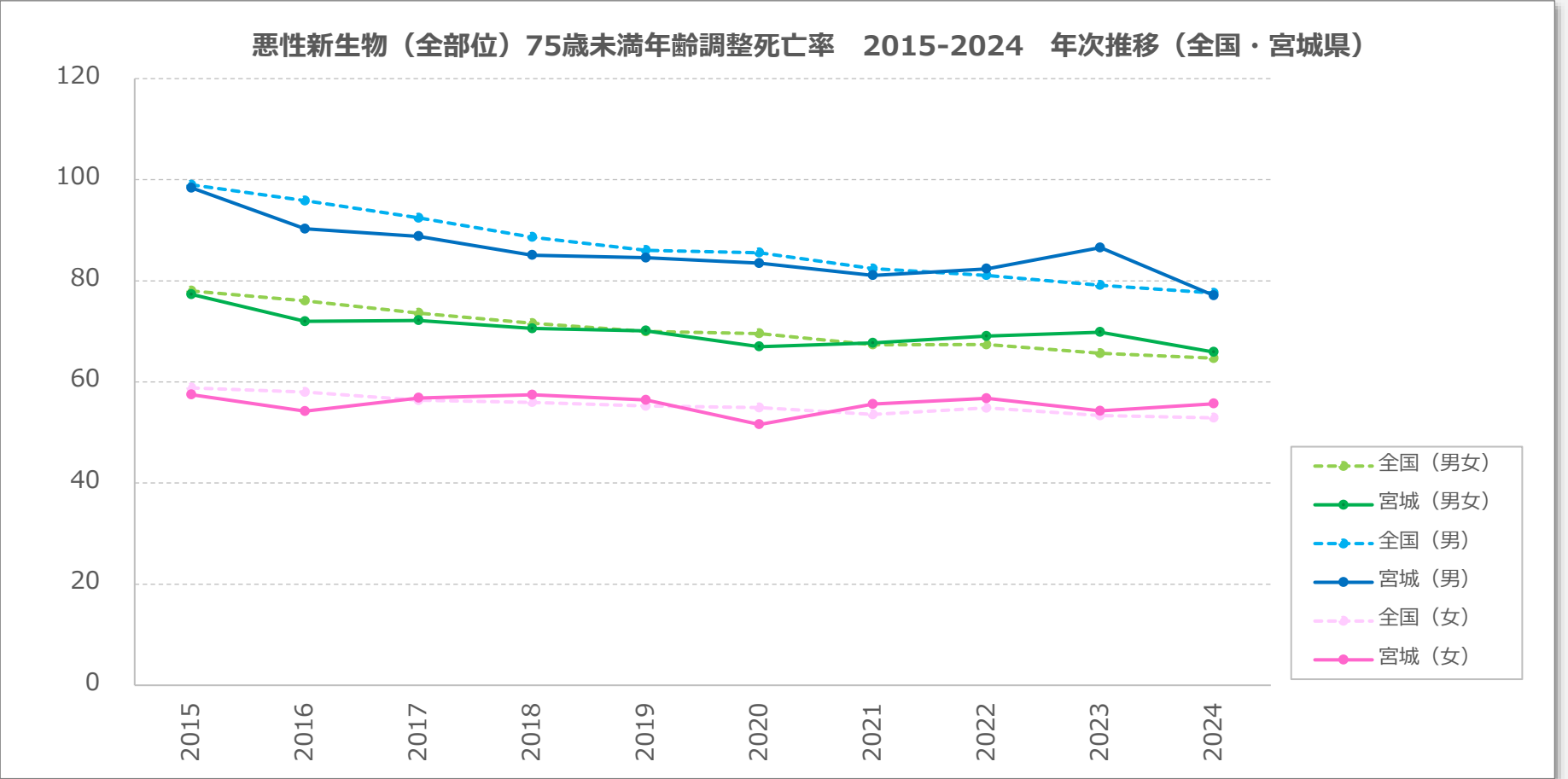
悪性新生物（全部位）75歳未満年齢調整死亡率 1995-2024 年次推移（男女計）



男女計	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
全国	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7	64.7
宮城県	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8	65.9

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
 （注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

全部位 年齢調整死亡率の推移（男女別）（2016-2024年）

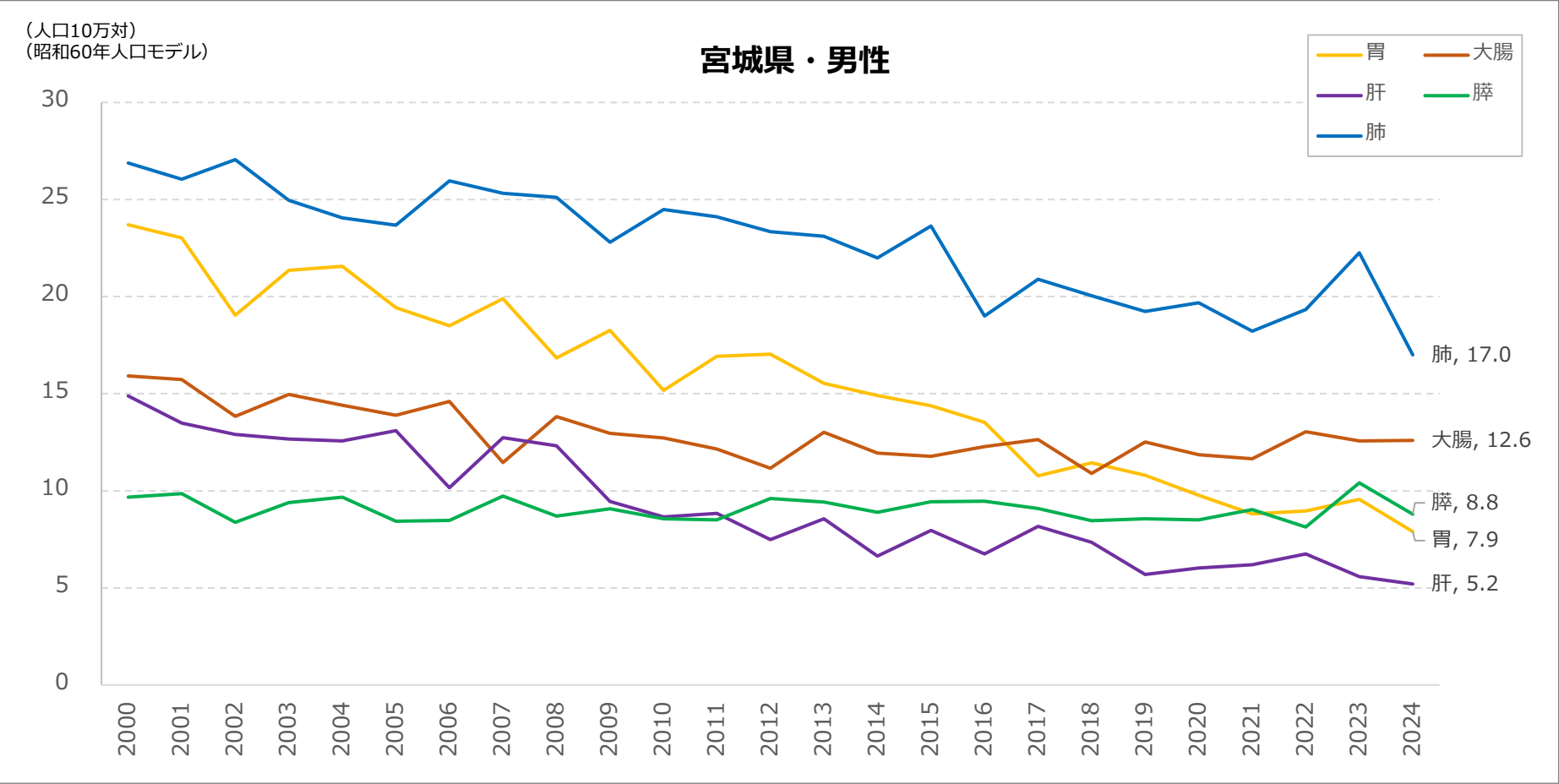


性別	都道府県	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
男女計	全国	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7	64.7
	宮城県	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8	65.9
男	全国	95.8	92.5	88.6	86.0	85.6	82.4	81.1	79.1	77.6
	宮城県	90.3	88.8	85.1	84.6	83.5	81.1	82.4	86.6	77.1
女	全国	58.0	56.4	56.0	55.2	54.9	53.6	54.9	53.3	52.9
	宮城県	54.2	56.8	57.4	56.4	51.6	55.6	56.8	54.3	55.7

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
（注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

主な部位の年齢調整死亡率
 部位別の推移
 男性（宮城県）

悪性新生物
 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）
 年次推移（2000-2024，宮城県，男性）

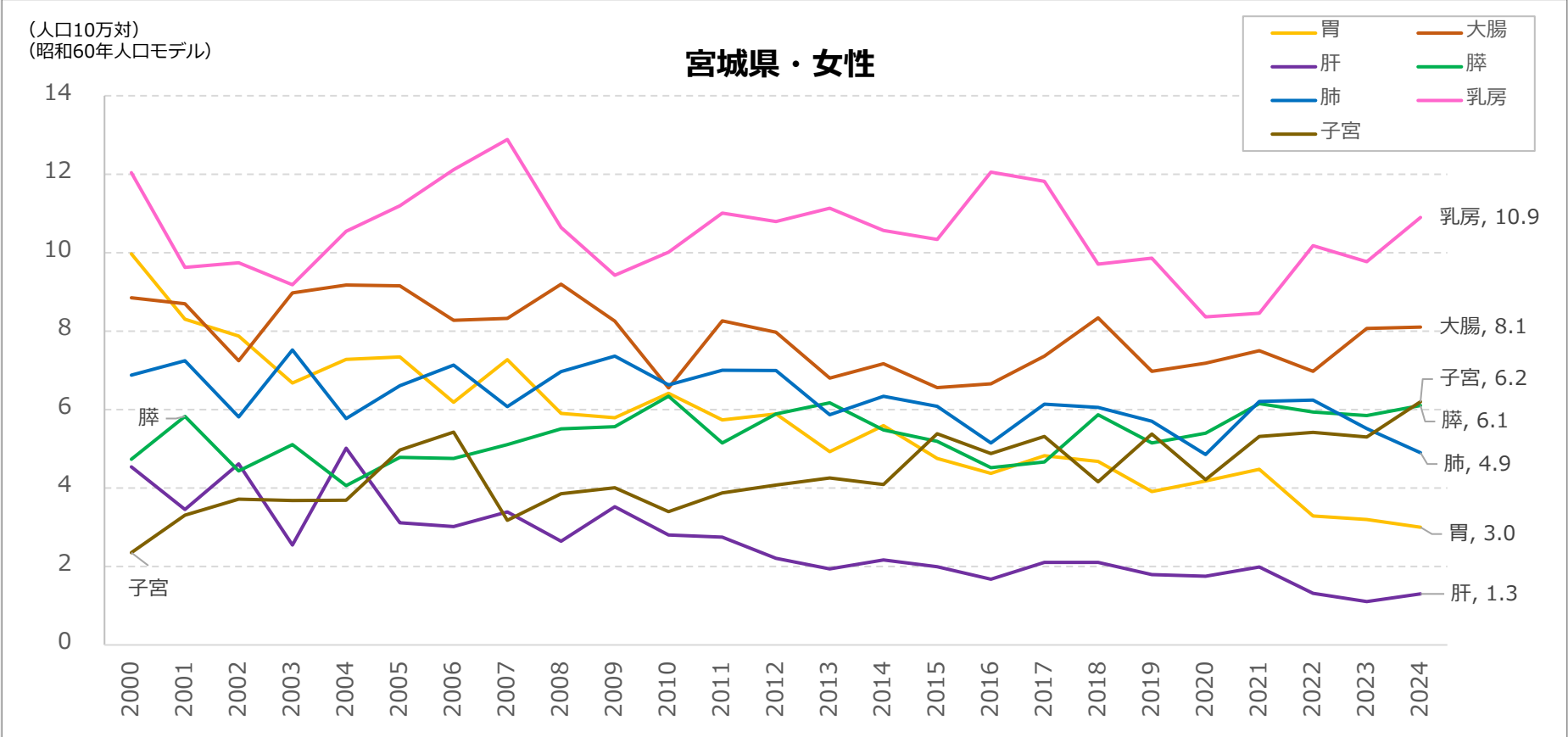


部位 (男性)	宮城県						全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2024 (R6)
胃	10.8	9.8	8.8	9.0	9.6	7.8	7.9
大腸	12.5	11.9	11.6	13.0	12.6	12.8	12.6
肝	5.7	6.0	6.2	6.8	5.6	4.6	5.2
膵	8.6	8.5	9.0	8.1	10.4	8.7	8.8
肺	19.2	19.7	18.2	19.3	22.3	17.0	17.0

出典
 国立がん研究センターがん情報サービス
 「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）
 都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
 75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

主な部位の年齢調整死亡率
 部位別の推移
 女性（宮城県）

悪性新生物
 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）
 年次推移（2000-2024, 宮城県, 女性）



部位 (男性)	宮城県						全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2024 (R6)
胃	3.9	4.2	4.5	3.3	3.2	3.0	3.2
大腸	7.0	7.2	7.5	7.0	8.1	8.1	7.2
肝	1.8	1.8	2.0	1.3	1.1	1.3	1.3
膵	5.1	5.4	6.2	5.9	5.8	6.1	5.6
肺	5.7	4.9	6.2	6.2	5.5	4.9	5.3
乳房	9.9	8.4	8.5	10.2	9.8	10.9	10.0
子宮	5.4	4.2	5.3	5.4	5.3	6.2	4.9

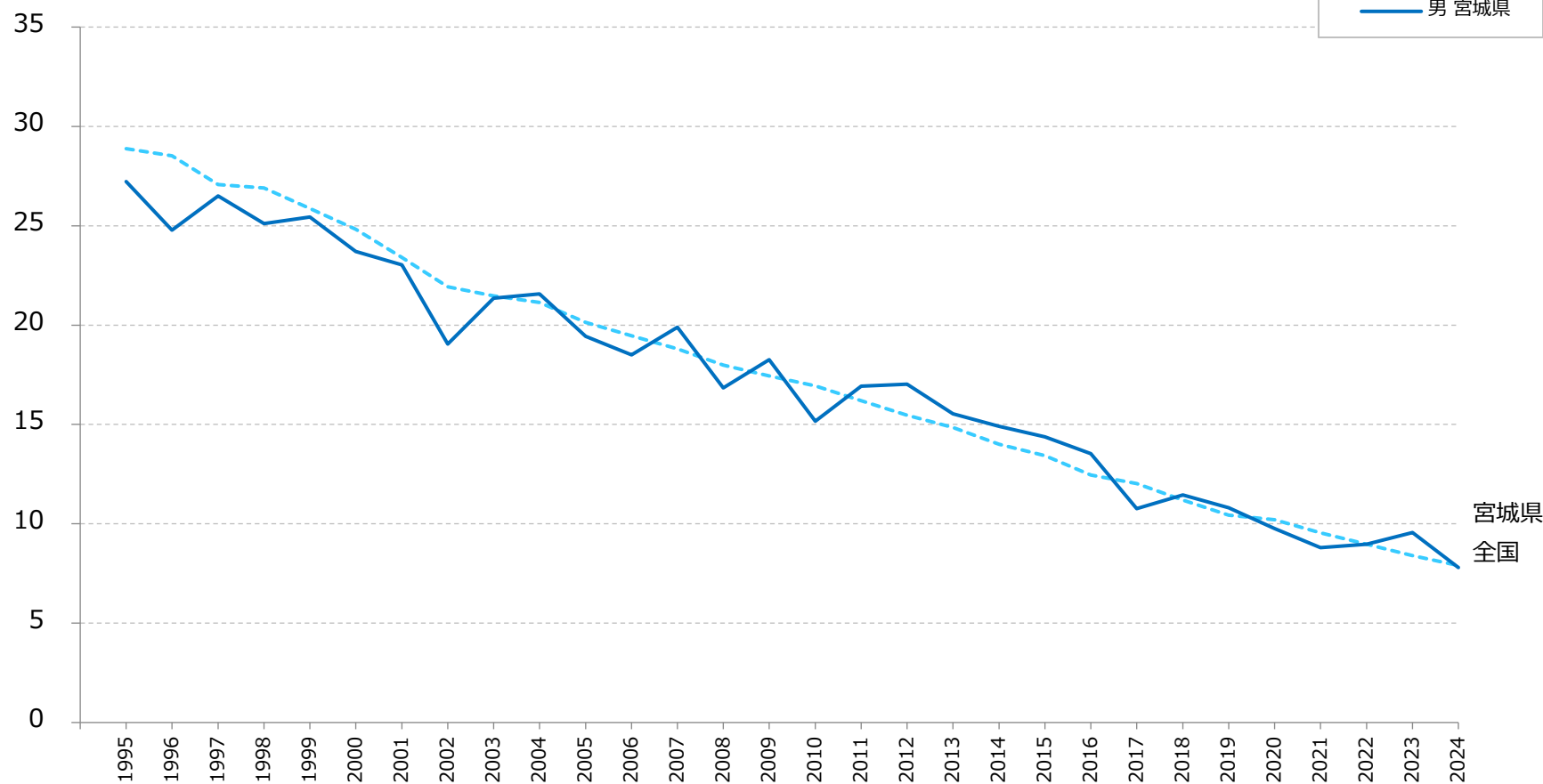
出典 国立がん研究センターがん情報サービス
 「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)
 都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
 75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対)

胃がん 年齢調整死亡率（男性） 年次推移（全国・宮城県）

75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2024, 男性）

75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)

胃がん 男性

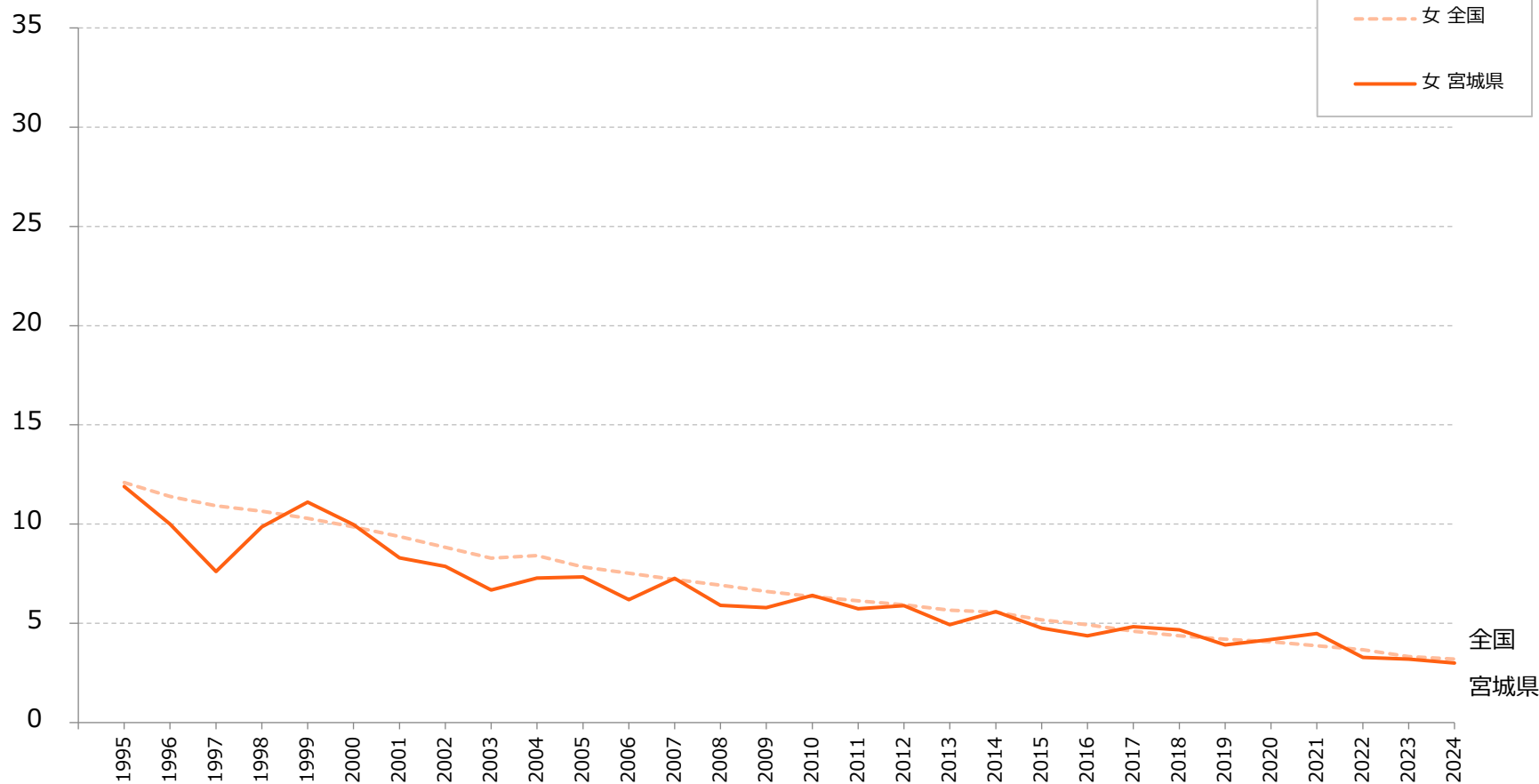


胃がん 年齢調整死亡率（女性） 年次推移（全国・宮城県）

75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2024, 女性）

75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)

胃がん 女性

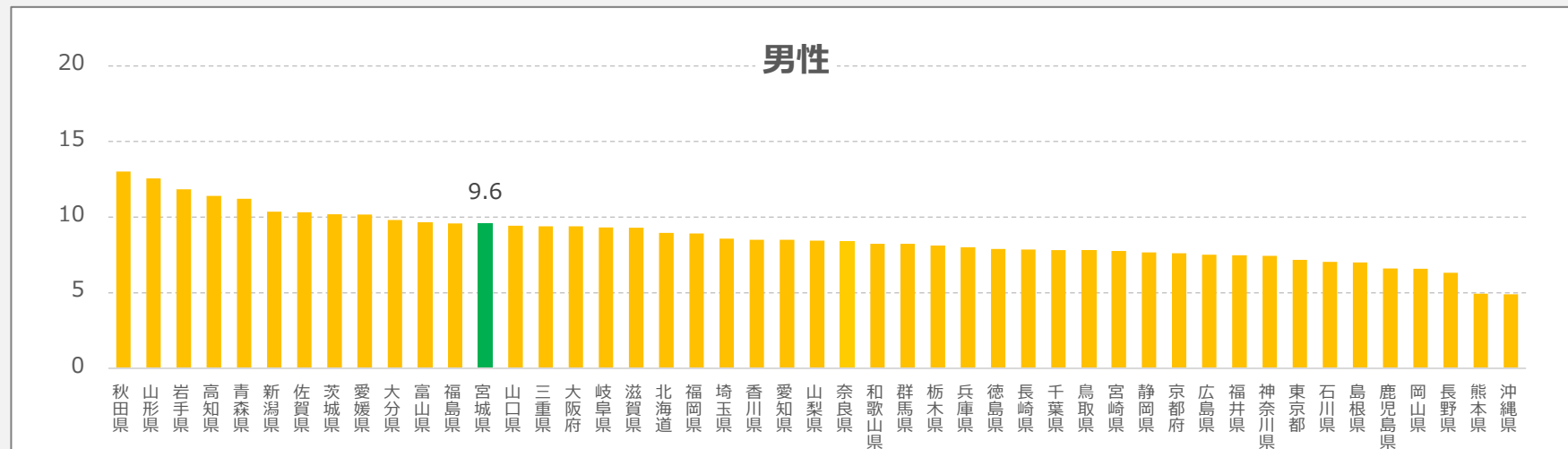


胃がん 年齢調整死亡率（男性） 都道府県別

2023（R5）年（胃がん75歳未満年齢調整死亡率，男）

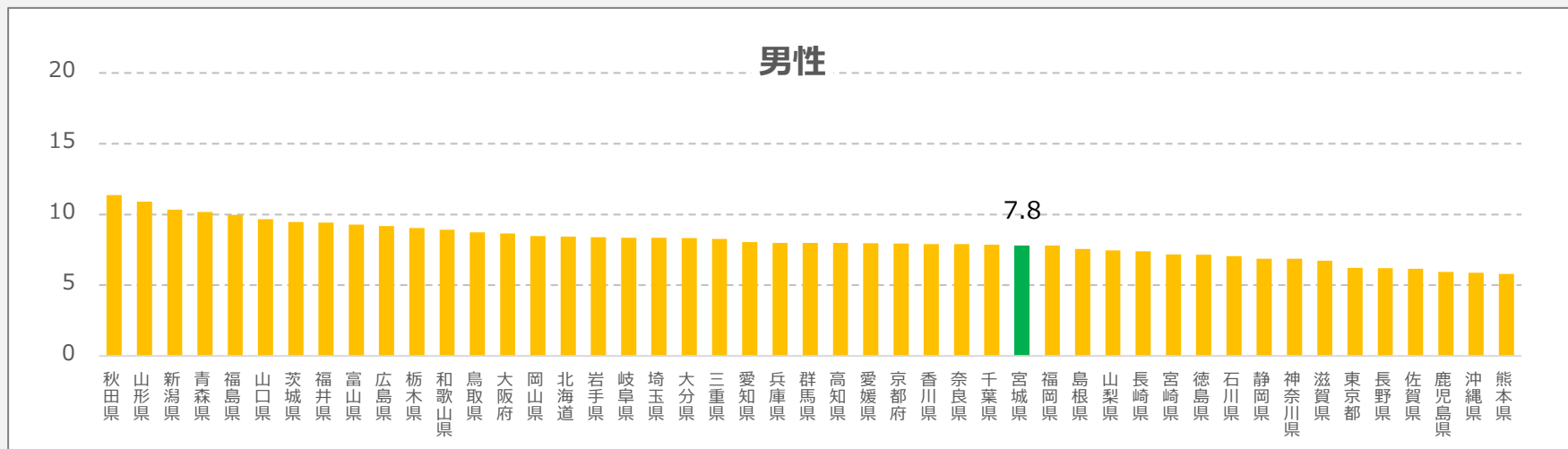
年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

2023
（R5）



2024（R6）年（胃がん75歳未満年齢調整死亡率，男）

2024
（R6）

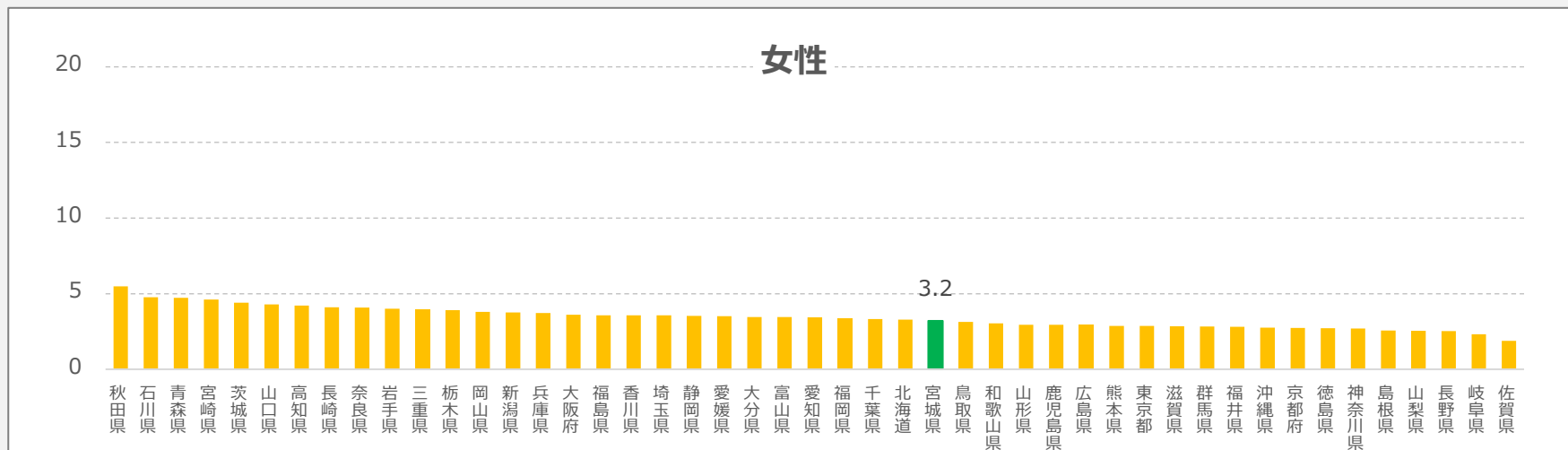


胃がん 年齢調整死亡率（女性） 都道府県別

2023（R5）年（胃がん75歳未満年齢調整死亡率，女）

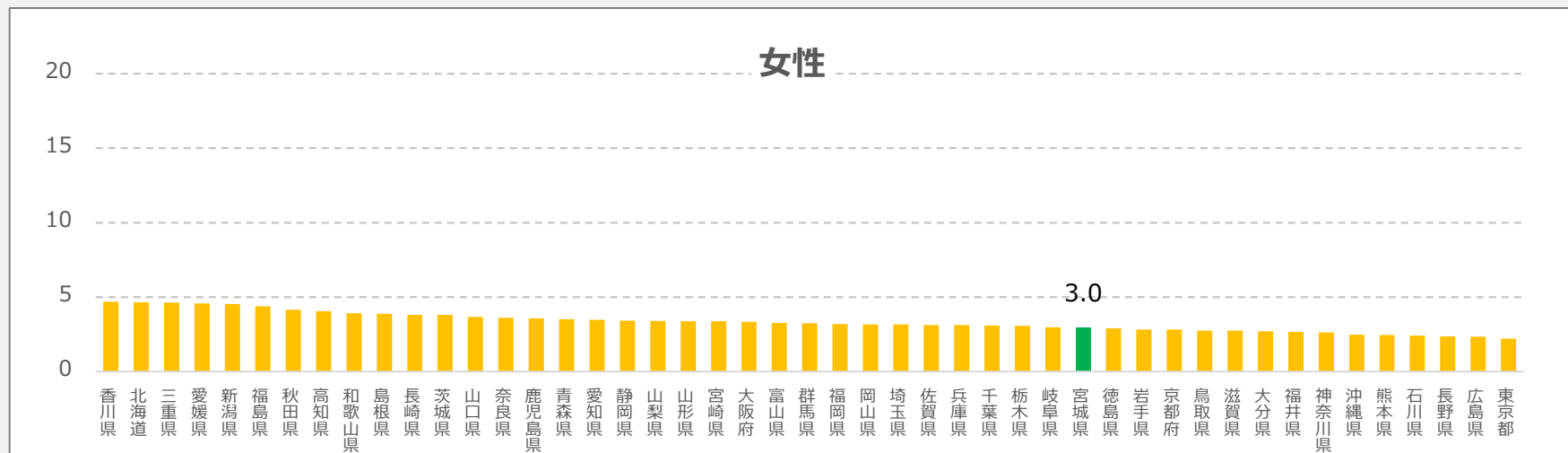
年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

2023
(R5)



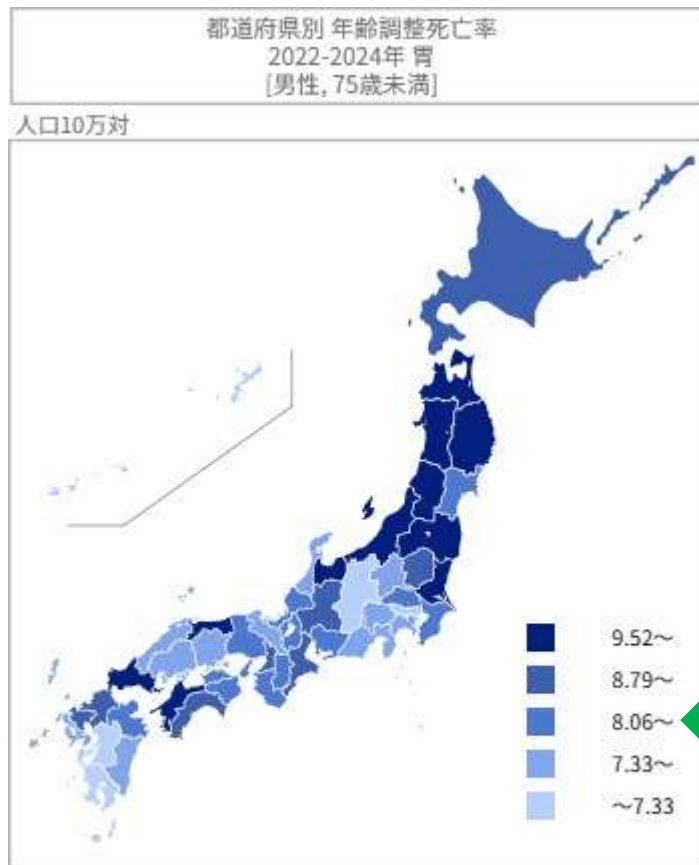
2024（R6）年（胃がん75歳未満年齢調整死亡率，女）

2024
(R6)

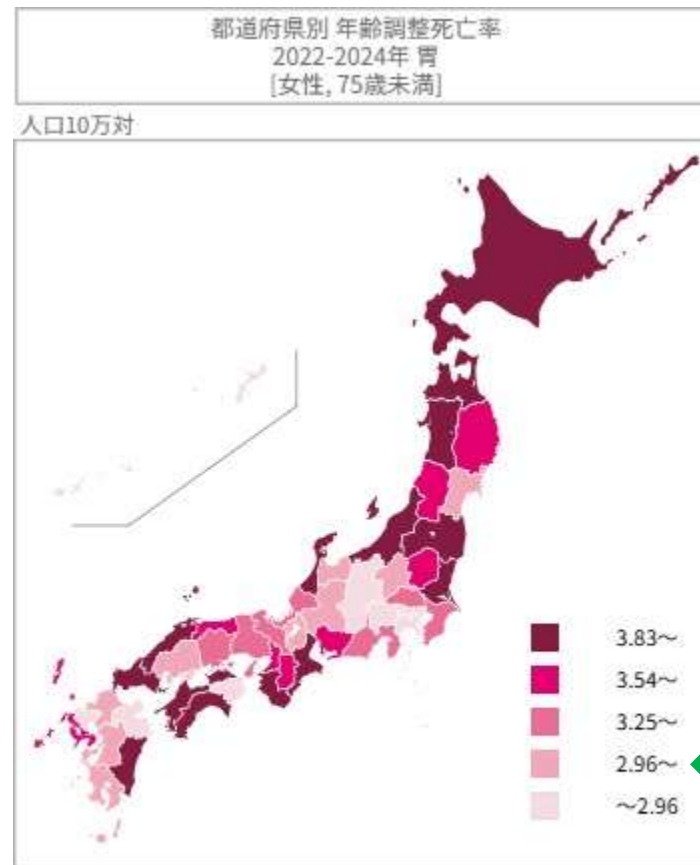


(参考) 胃がん 75歳未満年齢調整死亡率 全国マップ

3年平均 2022 (R4) -2024 (R6) 年



資料: 国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan



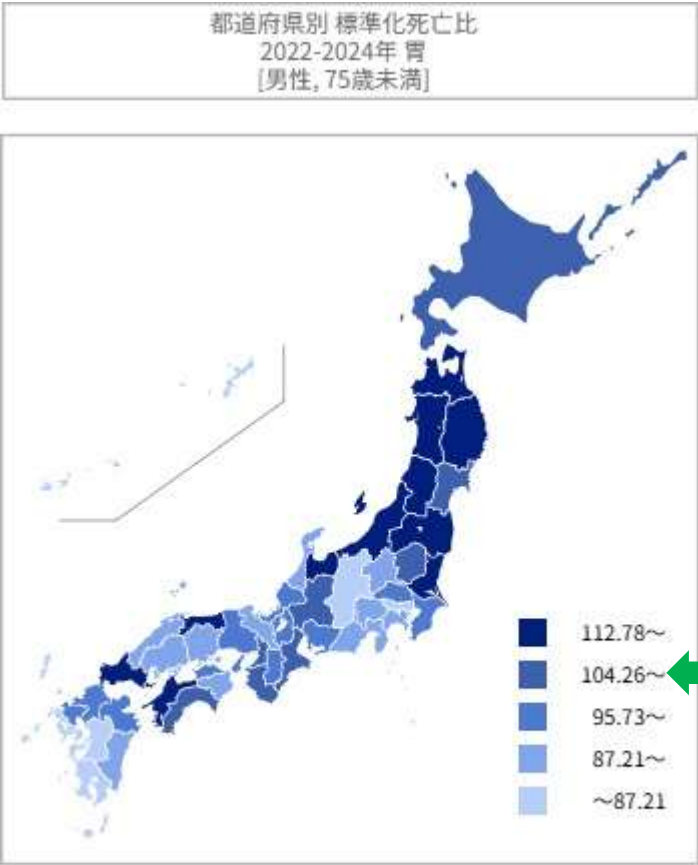
資料: 国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	年齢調整死亡率
男性	8.78
女性	3.15

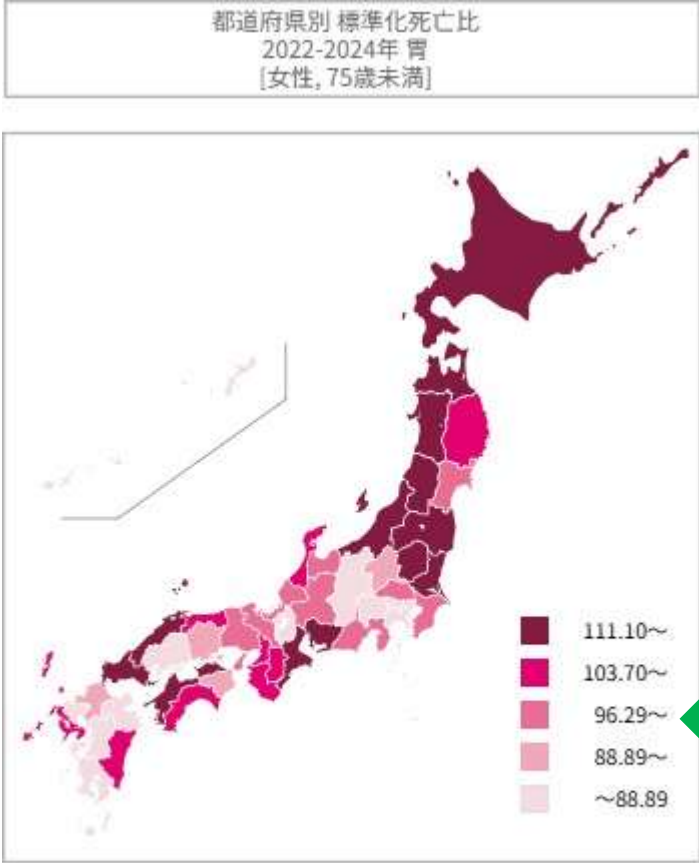
出典: 国立がん研究センターがん情報サービス
都道府県別75歳未満 標準化死亡比 全部位「グラフデータベース」

(参考) 胃がん 75歳未満標準化死亡比 全国マップ

3年平均 2022 (R4) -2024 (R6) 年



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	標準化死亡比
男性	108.15
女性	98.35

出典：国立がん研究センターがん情報サービス
都道府県別75歳未満 標準化死亡比 全部位「グラフデータベース」

標準化死亡比（standard mortality ratio (SMR)）とは
ある集団の死亡率が、基準となる集団と比べてどのくらい高いかを示す比。標準化死亡比が1より大きい都道府県は全国平均より死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均より死亡率が低いことを意味する。

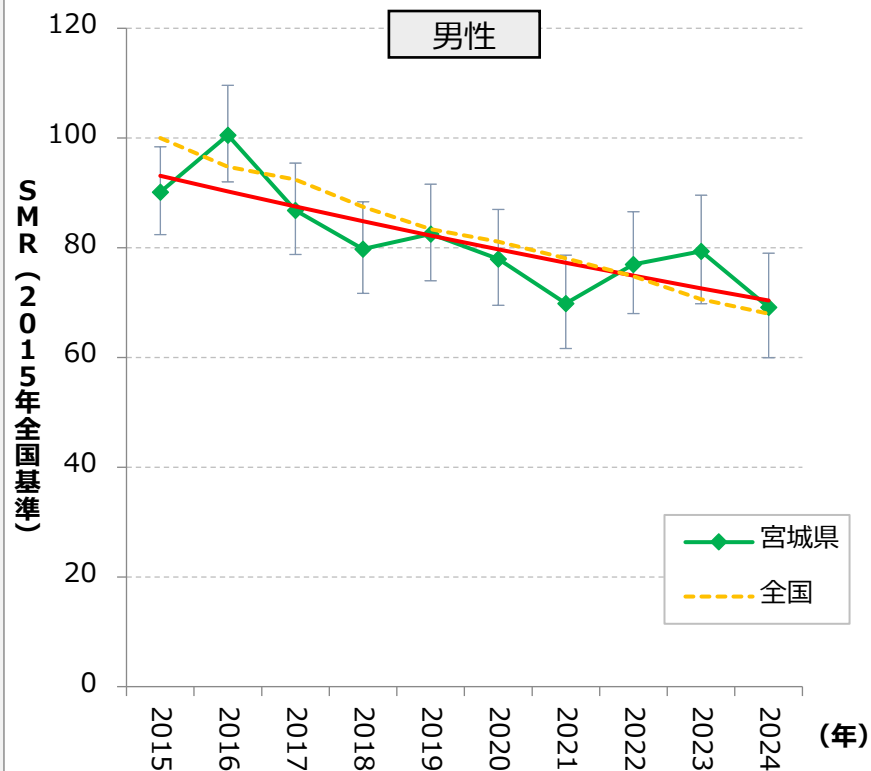
(参考) 胃がん 標準化死亡率 変化率 男性 (宮城県)

【胃の悪性新生物】

SMRの変化率: -26.7%/10年 (トレンド $p<0.001$)

年平均死亡数: 489.9人/年

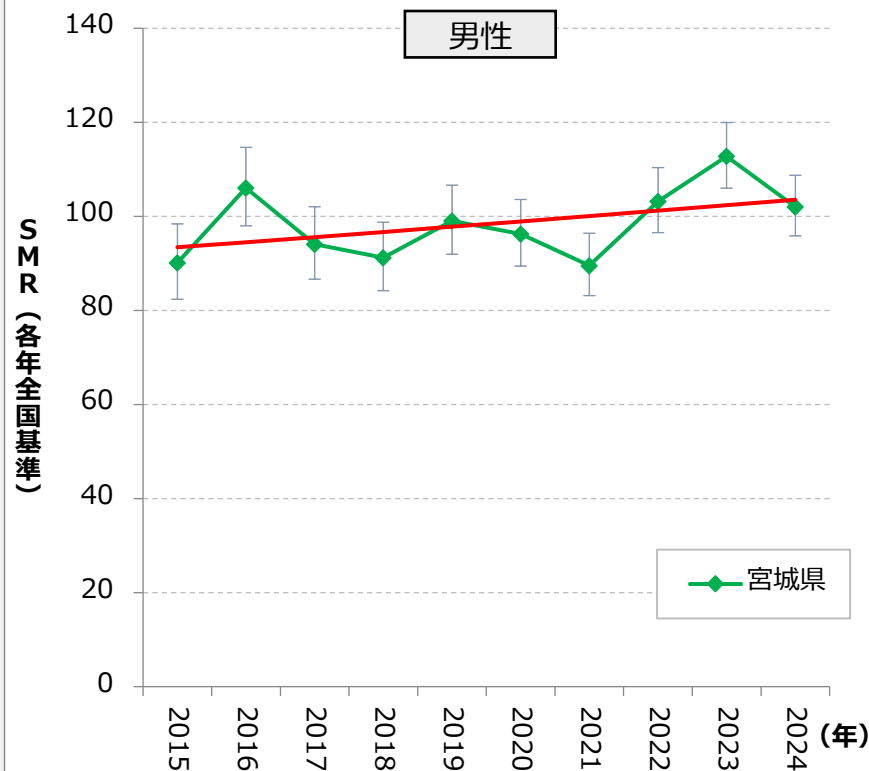
男性



2015年全国基準 (= 100)

【胃の悪性新生物】

SMRの変化率: +12.1%/10年 (トレンド $p=0.022$)



各年全国基準 (= 100)

出典: 地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

各年の人口動態統計死亡数及び住民基本台帳人口より計算。誤差線は95%信頼区間。

- ・ 2015年の全国基準=100とした場合: 各年の国・都道府県での死亡の起こりやすさを意味する。年齢調整したうえでの「死亡の起こりやすさの絶対量の変化」
- ・ 各年全国基準=100とした場合: 都道府県での死亡の起こりやすさを意味する。年齢調整したうえでの「その年の国に比べた死亡の起こりやすさの相対値」

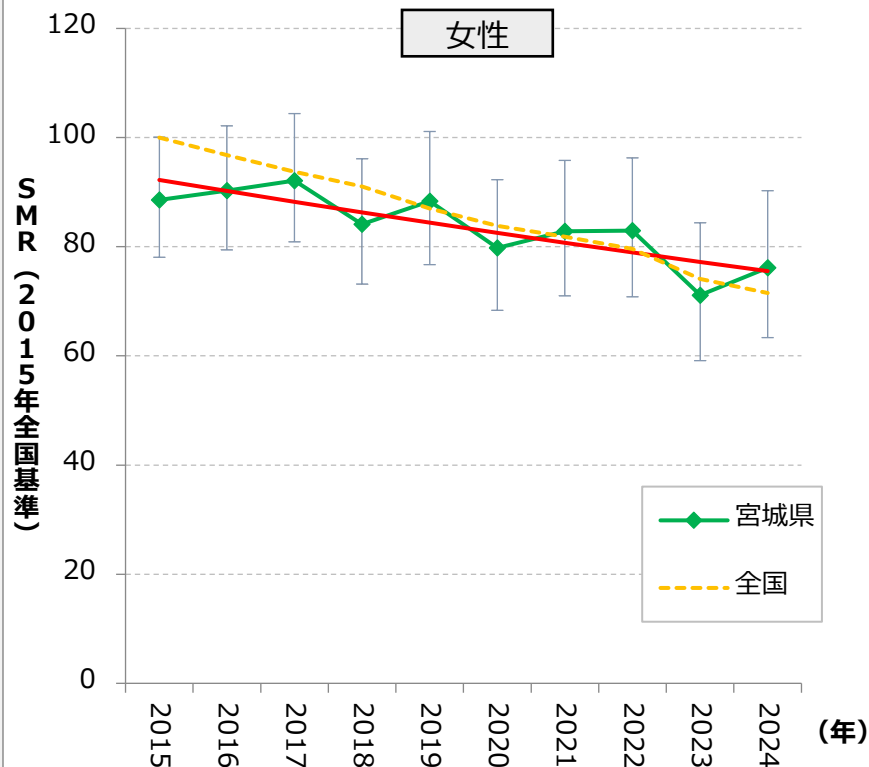
(参考) 胃がん 標準化死亡比 変化率 女性 (宮城県)

【胃の悪性新生物】

SMRの変化率: -19.9%/10年 (トレンド^{*}p=0.001)

年平均死亡数: 259.7人/年

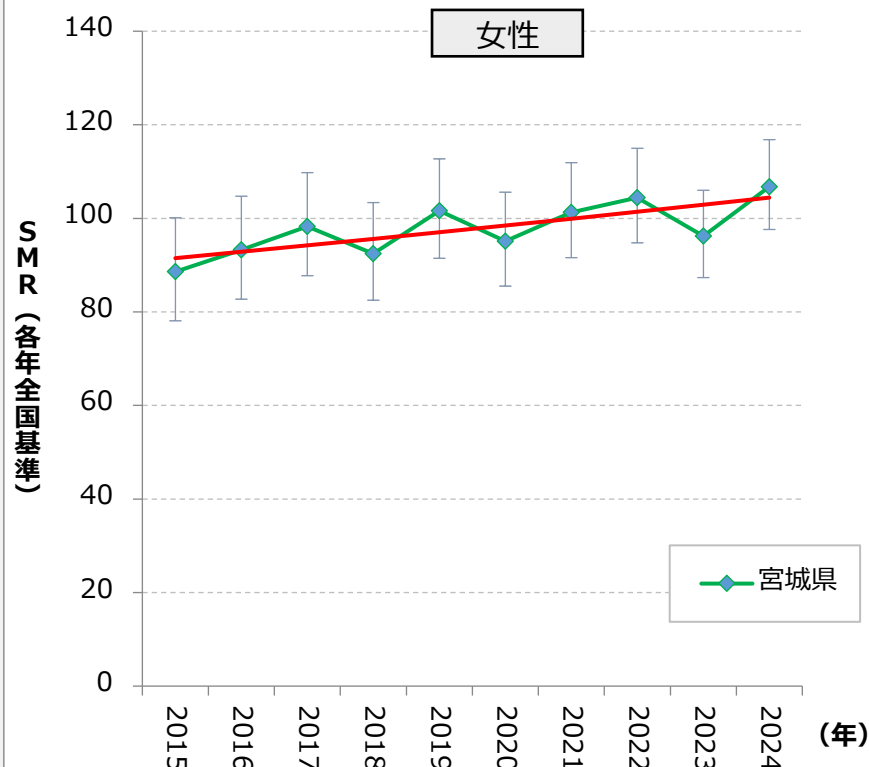
女性



2015年全国基準 (= 100)

【胃の悪性新生物】

SMRの変化率: +15.8%/10年 (トレンド^{*}p=0.032)



各年全国基準 (= 100)

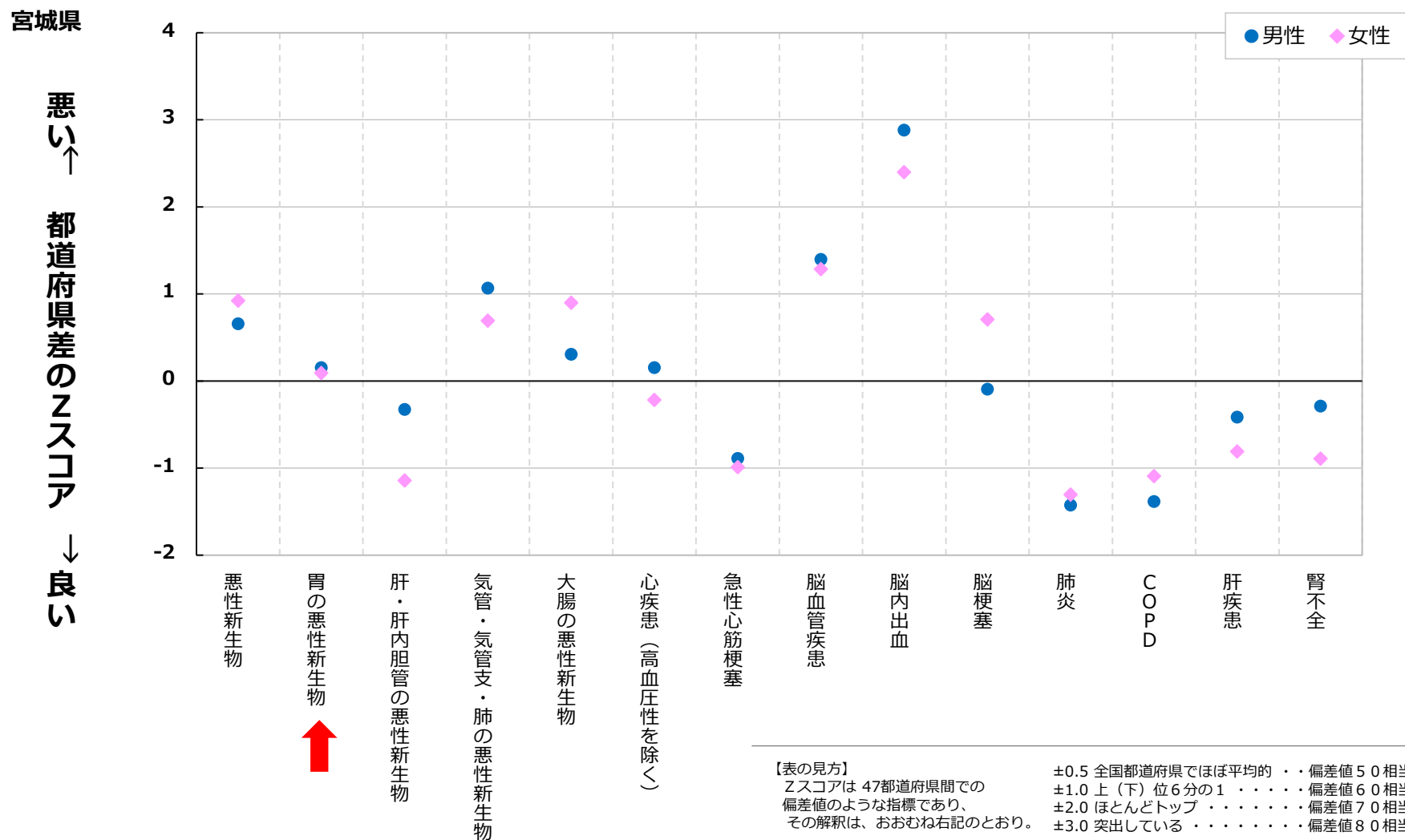
出典: 地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

各年の人口動態統計死亡数及び住民基本台帳人口より計算。誤差線は95%信頼区間。

- ・ 2015年の全国基準=100とした場合: 各年の国・都道府県での死亡の起こりやすさを意味する。年齢調整したうえでの「死亡の起こりやすさの絶対量の変化」
- ・ 各年全国基準=100とした場合: 都道府県での死亡の起こりやすさを意味する。年齢調整したうえでの「その年の国に比した死亡の起こりやすさの相対値」

(参考) 死因別標準化死亡比 (Zスコア) (宮城県)

2022 (R 4) 年 死因別標準化死亡比 (Zスコア)



出典：地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集
各種統計資料等からみた都道府県の健康状態の特徴要約「平均寿命、健康寿命、死因別年齢調整死亡率（令和4年）」
国立保健医療科学院生涯健康研究部

アウトカム指標のまとめ

(罹患数や死亡率への影響は、市町村が実施するがん検診によるものだけではないが)

- 罹患数は、横ばい又は減少傾向にあるが、近年は全国値よりやや高い値で推移している。
- がん検診で発見される割合が全国より高く、5年純生存率も全国より高い。
- 年齢調整死亡率は、ほぼ全国と同じ値で推移しているが、全国比較した標準化死亡比の変化率でみるとやや増加傾向にある。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします